

追加問題解答(先史時代)

【1】青山学院大学 文

次の文章を読み、空欄(1)～(10)に適切な語句を記入せよ。

最古の人類は、直立二足歩行し、石器を使用した猿人と言われる。1924年から南・東アフリカ各地で発見された(1 **アウストラロピテクス**)がその代表例である。これは約400万年前に出現したと考えられている。猿人について原人が出現するが、その代表例は、1891年に(2 **ジャワ**)島トリニールで発見された(2 **ジャワ**)原人、1927年に中国の(3 **北京**)郊外(4 **周口店**)で発見された(3 **北京**)原人である。彼らは、石を打ち欠いて作った(5 **打**)製石器を使用し、火を使い、動物の肉を食していたらしい。

約20万年前に旧人が出現する。その有名な例は、1856年にドイツの(6 **ネアンデルタール**)で発見された(6 **ネアンデルタール**)人である。彼らは穴を掘って死者を埋葬していた。その旧人に対して、われわれの直接の祖先である(7 **新**)人は、更新世末期に出現している。その代表例は、1868年に南フランス、ドルドーニュ地方で発見された(8 **クロマニヨン**)人、(3)原人が発見された洞穴の上にある洞穴から発見された(4)上洞人などである。(8 **クロマニヨン**)人は洞穴に住み、そこに絵画を描いている。狩猟生活をする人々が豊猟を祈って描いたものと解されている。1879年に北スペインで発見された(9 **アルタミラ**)の洞穴絵画が有名である。南フランスでは1940年に、色あざやかな(10 **ラスコー**)の洞穴絵画が少年たちによって発見されている。

【2】上智大学 法 外国語

以下の文章を読み、空欄(1～24)に、[語群]の選択肢(a～d)の中から1つ選びなさい。正解がない場合は、eをマークしなさい。

宇宙のビッグバンが今から137億年前なら、地球の誕生は46億年前、その地球上に人類が出現するのは今から(1 **c 500**)万年前ごろという、気の遠くなるような年月が必要だった。それは、地質年代でいうと、(2 **d 新生代**)の、(3 **c 第3紀**)の末期にあたる。人類の化石の出土は、これまでなぜか旧大陸の(4 **c アフリカ**)に集中している。そこが人類揺籃の地とされている所以である。(1 **c 500**)万年にわたる人類の歴史のうち、その9割は石器時代であり、約1万年前に農耕牧畜が開始される以前はほとんど採取・狩猟を生業とするものであった。

そしてその人類が文字を発明して自らの歴史を記録に残せるようになるまでは、またまた膨大な時間が必要だった。現段階で、最古の文字とされているのは、(5 **a 楔形文字**)で、前(6 **c 3100**)年頃に誕生したとされている。

文字によって現存する最古の宗教聖典のひとつ、(7 **b 『旧約聖書』**)によると、(8 **d ユーフラテス**)川上流で遊牧生活を送っていたひとりの族長に(9 **d ヤハウェ**)神の命令が下り、こうして(10 **b ヘブライ**)人は、前(11 **e**)世紀頃パレスティナ(**パレスチナ**)に移住した。彼らは一旦はそこに定着したものの、飢饉を避けるためその一部は(12 **b エジプト**)に移動した。そこで受けた圧政からの脱出を指導したのは、(13 **b モーセ**)で、それは前(14 **b 13**)世紀頃のことだった。脱出の途上で、彼らに神は(15 **c シナイ山**)で(16 **b 十戒**)を与えたという。

前(17 **c 1000**)年頃、(10 **b ヘブライ**)人は王国を立て、第二代王(18 **a ダヴィデ**)とその息子で第3代(19 **c ソロモン**)のとき繁栄したとされる。特に後者は、近隣の(20 **d フェニキア**)のティルス王の援助を得て、(21 **a イエルサレム**)に神殿を建立した。この第一神殿は、王国の南北分裂後の、前(22 **c 586**)年頃、侵入者のセム語族の(23 **d カルデア**)人によって破壊されたが、捕囚からの解放後に、ほぼ同じ場所に再建された。これを第二神殿という。それがまたもや破壊されたのは、(24 **c ローマ帝国**)によってであり、以来再建されることなく、今に至っている。それというのも、現在(21 **a イエルサレム**)のその区画は、利害の異なる3大宗教の共同ないし分割の管理対象となっていて、一宗教の神殿の再建は不可能な状況下にあるからである。

〔語群〕

- (1) a 1500 b 1000 c 500 d 100
(2) a 原生代 b 古生代 c 中生代 d 新生代
(3) a 更新世 b 完新世 c 第3紀 d 第4紀
(4) a 東アジア b ヨーロッパ c アフリカ d 西アジア
(5) a 楔形文字 b ヒエログリフ c 甲骨文字 d マヤ文字
(6) a 4000 b 3500 c 3100 d 1500
(7) a 『コーラン』 b 『旧約聖書』 c 『新約聖書』 d 『ギルガメシュ叙事詩』
(8) a チグリス(ティグリス) b インダス c ナイル d ユーフラテス
(9) a アフラ=マズダ b マルドゥク c アモン d ヤハウェ
(10) a ペリシテ b ヘブライ c カナーン d アラム
(11) a 19 b 17 c 13 d 11 e
(12) a シリア b エジプト c メソポタミア d フェニキア
(13) a ダヴィデ b モーセ c ソロモン d アブラハム
(14) a 12 b 13 c 14 d 15
(15) a イェルサレム b メッカ c シナイ山 d メディナ
(16) a 十二表法 b 十戒 c 四福音書 d 『死者の書』
(17) a 1200 b 1100 c 1000 d 900
(18) a ダヴィデ b モーセ c ソロモン d アブラハム
(19) a ダヴィデ b モーセ c ソロモン d アブラハム
(20) a エジプト b メソポタミア c シリア d フェニキア
(21) a イェルサレム b メッカ c シナイ山 d メディナ
(22) a 722 b 604 c 586 d 550
(23) a リディア b アッシリア c ペルシア d カルデア
(24) a ハスモン朝 b プトレマイオス朝 c ローマ帝国 d セレウコス朝

【3】中央大学 法

つぎの文章(A～D)をよく読んで、下記の設問に答えなさい。

A 直立二足歩行を特徴とする人類がアフリカにあらわれたのは、今から 400 万年から 500 万年ほど前と考えられており、(1 ラミダス) 猿人や、アウストラロピテクスなどが知られている。やがて新生代第 4 紀前半の(2 更新[洪積])世に入り、寒冷な氷期の中、ジャワ原人や北京原人に代表される原人が出現する。この時期、人類はきびしい生活環境にさらされたが、手を自由に使い、脳の発達もあったことから、簡単な(a)打製石器で狩猟・採集をおこなうことで適応していった。原人は氷期を生き抜いて、アフリカを出て、ヨーロッパ・南アジア・東南アジア・東アジアへ広がっていった。

約 20 万年前になると、(b)旧人があらわれた。彼らは用途に応じた様々な打製石器をつくった。約 4 万年前になると、現代人と同種に属する新人が出現した。新人はユーラシア・アフリカのほとんどの地域に住み、ある者は、当時陸つづきであったベーリング海峡を通り、アメリカ大陸へ移住していった。各地域の気候や風土などの環境に適応していく中で、その身体的形質に差が生じ、人種的に分化していった。また、文化的側面でも(c)言語・宗教・風俗習慣のちがいがあらわれ、現在にいたると考えられる。

B 約 1 万年前に(3 完新 [沖積])世に入ると、気候はしだいに温暖となり、現在とほとんどかわらない気候や地形となった。動植物が増えたことに対応し、採集・狩猟・漁労の技術はより高度なものとなった。石器も打製石器から(4 磨製)石器を常用するようになり、旧石器時代から新石器時代へと変化していった。新石器時代の特徴は、農耕・牧畜による食料生産の始まりである。これにより人々は定住し、人口が増え、

集団をつくって村落生活をするようになった。

約 7000 年前、メソポタミア地方では、灌漑農業がはじまった。農業生産力が増大することで、人口が増え、農具や武器をつくる者、家屋を建てる者、交易をおこなう者など、多くの職業が生まれ、分業と交換が実施されるようになった。こうして、貧富や身分の差ができ、支配階層があらわれた。さらに彼らを中心にして都市が生まれ、国家という組織が形成されていった。

設問 1 空欄(1~9)に入るもっとも適切な語句を答えなさい。

設問 2 下線部(a)について。打製石器の中でもっとも原始的な、自然石を打ち欠いただけの石器は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。**礫石器**

設問 3 下線部(b)について。下記のうち、旧人に関する記述として、誤っているものはどれか。1つ選んでマーク解答用紙にマークしなさい。

① 周口店上洞人の発見で、当時の生活が明らかになった。

② 火の使用が確認された。

「初めて火を使用した」とあれば誤文となるが、旧人も火を使用したと思うので解答となる可能性がある

③ 埋葬などの宗教的行為が確認されている。

④ 体への彩色、衣類の着用を始めた。

⑤ 現生人類とほぼ同じ大脳容積を持っていた。

設問 4 下線部(c)について。共通の言語からうまれた同系統の言語の一群を、語族と呼んで分類することがある。英語・ギリシア語・ペルシア語等を含む語族は、何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。

インド＝ヨーロッパ語族

【4】同志社大学

A～Jについては短文(a)及び(b)の正誤をそれぞれ判断し、(a)のみ正しい時は1、(b)のみ正しい時は2、(a)(b)ともに正しい時は3、(a)(b)ともに誤っている時は4を記入し、(あ)～(え)については旧人(旧人類)に属するものは1、原人に属するものは2、猿人に属するものは3、新人(現生人類)に属するものは4、を記入し、設問1～4についてはそれぞれ設問の指示に従って記入せよ。

A

(a) 最古の人類は約 400 万年前に現れた原人である。4

(b) 原人は磨製石器を使用した。

B

(a) 猿人が現れたのは更新世(洪積世)の中期(約 50 万年前)ころであった。4

(b) 猿人はアジアにも広がっており、火を使用したものもいた。

C

(a) 更新世(洪積世)の後期初めころ(約 20 万年前)に現れたのが旧人(旧人類)である。3

(b) 旧人(旧人類)は打製石器を道具として用いた。

D

(a) 更新世(洪積世)の末期(約 4 万～1 万年前)になると新人(現生人類)が出現する。3

(b) 新人(現生人類)には周口店上洞人などがいる。

E

(a) 死者の埋葬は新人(現生人類)に始まる。2

(b) 新人(現生人類)は石器の他に骨角器もさかんに使用した。

F 1

- (a) 完新世(沖積世)初期(約1万年前)のユーラシア北部ではオオカミを家畜化した犬を狩猟に使用するようになった。
- (b) 完新世(沖積世)初期(約1万年前)のユーラシア南部の草原では他の地域にさきがけてヤギや羊, 牛や豚を家畜化して飼養をおこない始めた。

G

- (a) 新石器時代に入ると洞窟絵画が描かれるようになる。 4
- (b) 新石器時代に使用された石臼や石皿は細石器である。

H

- (a) 麦の栽培は西アジアに始まる。1
- (b) シリアにあるジャルモは中石器時代最古の遺跡である。

I

- (a) オリエントの大河流域では運河や水路を利用する乾地農法が始まった。2
- (b) 西アジアの初期農牧文化はヨーロッパやインドに伝わった。

J

- (a) 中国の彩陶文化は新石器文化に属する。1
- (b) 黄河文明では水稲を栽培した。

- (あ) ネアンデルタール人 1 旧人 (い) クロマニヨン人 4 新人
- (う) アウストラロピテクス 3 猿人 (え) ホモ=ハビリス 2, 3 猿人, 原人

- 設問1 1879年北スペインで発見された洞窟絵画で有名な遺跡の名前を記せ。アルタミラ
- 設問2 1940年南フランスで発見された洞窟絵画で有名な遺跡の名前を記せ。ラスコー
- 設問3 インダス川中流にある代表的なインダス文明の都市遺跡を記せ。ハラッパー
- 設問4 南北両アメリカの古代文明の農耕の中心となった栽培植物は何か。トウモロコシ

【5】明治大学 農

次の文章(1~2)を読み, 下記の設問(1~10)に答えなさい。

1 人類は^(ア)猿人, 原人, 旧人, 新人へと進化した。新人はおよそ1万年前ごろまでにユーラシア, アフリカ, 南北アメリカのほとんどの地域に広がっていった。この頃に最後の氷河期が終わり, 地球上は温暖となった。それとともに旧石器時代が終わり, ^(イ)新石器時代が始まった。食料獲得の主要な方法も狩猟・漁労・採集から^(ウ)農耕・牧畜へと変わった。最古の農耕や牧畜はおよそ9000年前に西アジアで始まったと考えられている。さらに灌漑農業が始まると, 都市が発生し, 国家が形成された。金属器が出現し, 文字も作られた。西アジアからアフリカ北東部一帯に広がるオリエント世界はその代表的なものである。

ティグリス川とユーフラテス川の流域の南メソポタミアでは, 前3000年ごろに^(エ)シュメール人が最古の文明を築いた。シュメール人の都市国家は前24世紀にアッカド人に征服されたが, ウル第3王朝として再興された。しかし前19世紀頃には古バビロニア王国(バビロン第1王朝)が盛えることになった。

ナイル川流域においては, 前3000年ごろにエジプト最初の統一国家が登場した。王朝は交替を重ねたが, 都を(1)においた古王国(前27~前22世紀)が衰退すると, 都を(2)においた中王国(前21~前18世紀)が続いた。

問1 下線部(ア)に関連し, 誤りのあるものを下から一つ選び, 解答番号(1)の記号にマークしなさい。

A アウストラロピテクスやホモ=ハビリスは猿人で, 打製石器を用いるものもいた。

- B ジャワ原人や北京原人は原人で、火を使用した。
 C ネアンデルタール人やクロマニヨン人は旧人で、埋葬の風習があった。
 D 周口店上洞人やグリマルディ人は新人で、骨角器を使用した。

問 2 下線部(イ)に関連し、新石器時代の特徴とされる石器を何というか。その語句を解答番号(101)に記入しなさい。磨製石器

問 3 下線部(ウ)に関連し、農耕の開始の説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A インダス川の流域では稲を中心とした農耕が始まった。
 B 東南アジアではカボチャやトウモロコシを中心とした農耕が始まった。
 C 黄河の流域ではアワやキビなどを中心とした農耕が始まった。
 D アメリカ大陸ではタロイモを中心とした農耕が始まった。

タロイモはサトイモ科の多年草であり、原産は東南アジアである。サトイモ（里芋）の品種群と考えられ、ポリネシアや南太平洋の島々で広く栽培され、重要な食料となっている。現在では熱帯アフリカやアメリカでも栽培され、多数の品種が知られている。

問 4 下線部(エ)に関連し、シュメール人の説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(3)の記号にマークしなさい。

- A シュメール人はウルク、ウル、ラガシュを建設した。
 B シュメール人は太陰暦を発達させた。
 C シュメール人は楔形文字を作った。
 D シュメール人はハンムラビ法典を完成させた。

問 5 空欄(1)と(2)に入れる語の組合せとして最も適したものを下から一つ選び、解答番号(4)の記号にマークしなさい。

- (1) (2) A メンフィス テル＝エル＝アマルナ B テル＝エル＝アマルナ メンフィス
 C テーベ テル＝エル＝アマルナ D メンフィス テーベ

【6】立命館大学

次の文章を読んで空欄に最も適切な語句を記入し、下線部についてあとの問いに答えよ。

人類がチンパンジーなどと共通の祖先から分岐して独自の進化をはじめたのは、最近の研究成果によると約 700 万～500 万年前のことであるという。その契機となったのは、樹上生活からの離脱であった。チンパンジーなどの類人猿は現在でも主に樹上で生活し、地上ではナックル歩行(拳を地面につけて移動する)を行なっている。それに対してサヘラントロプス(700 万～600 万年前)やアルディピテクス(550 万～440 万年前)といった初期の人類(猿人)は、地上ではナックル歩行ではなく人類の特徴でもある A 直立二足 歩行を行っていた。やがて彼らは樹上から草原へ進出し、A 歩行に適応した身体の進化が加速した。

A 歩行に伴って起きた身体の変化で特筆すべきは脳の巨大化、及びそれに伴う知能の発達である。知能が発達した結果、猿人は道具を使用するようになった。道具の中でもっとも代表的なのは石を意図的に加工した石器である。石器を初めて使用した可能性の高い化石人類は、1924 年に初めて発見された B アウステラロピテクス である。約 200 万年前頃に生息していたと考えられる C ホモ＝ハビリス は B よりも脳容積が大きく、石器の使用もさらに本格化した。C が猿人なのか、次の段階の化石人類である D 原人 に属するのかは、現在でも議論が続いている。

[D]の段階になると、人類はアフリカ大陸の外に進出していくようになった。グルジアのドマニシ遺跡(約170万年前)や、中国の泥河湾遺跡(約166万年前)などはその初期の例であり、早い段階で世界各地に[D]が移住していたことがわかる。2003年に⁽¹⁾インドネシアのフローレス島で発見されたフローレス人は、身長が約1メートルまで矮小化するなど独自の進化を遂げつつ、約1万数千年前まで生存していたという。

[D]から、続く旧人や[E 新人]への橋渡しとなったのが、1907年にドイツで^{かがくこつ}下顎骨が発見された[F ハイデルベルク]人である。近年のDNA分析や化石資料の検証からは、約80万年以上前にアフリカで出現した[F]人の中でヨーロッパに進出した集団が、⁽²⁾氷河期の厳しい環境に次第に適応しつつ[G ネアンデルタール]人に進化したと考えられる。一方アフリカに残った[F]人の集団から進化したのが、クロマニオン人に代表される[E]である。彼らもまた約20万年前以降、アフリカ大陸の外に進出していくことになった。

それまで[G]人が広く居住していたヨーロッパにクロマニオン人が進出したのは、約4~5万年前だった。そしてクロマニオン人は急速に[G]人を圧倒していく。その一因となったのは道具の進化であった。漸進的な改良に留まったそれまでの石器と異なり、[E]の石器の進化のスピードは急激であった。初期の[E]は猿人以来の握斧(ハンド=アックス)などをも利用しており、G人の使用する石器と大きな違いはなかった。だがすぐに石刃に代表される剥片石器や、[H 骨角]器などを使用するようになっていく。[H 骨角]器は銛などのほか縫い針として利用されており、防寒具を縫製して極寒の地などへの進出を可能とさせた。

[E]の進出に伴って[D]や旧人は姿を消していく。しかし[G]人とクロマニオン人は一定時期共存していた。また[G]人や近縁のデニソワ人のゲノム分析によると、東ユーラシアに住む現代人にG人やデニソワ人のゲノムがわずかながら伝わっているという。これは、[E]と旧人が一定程度混血していたことを示唆する。またEは約4万5000年前にはインドネシア地域に拡散し、さらに⁽³⁾オーストラリアまで進出しているため、フローレス人と約3万年もの間、共存していた可能性がある。

氷河期が終了し、第4紀の後期である⁽⁴⁾完新世が始まる頃、人類の歴史は新しい段階に入ることになる。新石器時代の開始である。新石器時代の特徴は、狩猟・漁労や採集に基盤を置く[I 獲得]経済から生産経済への移行である。早くからそのプロセスが進んだ西アジア地域では、約1万年前に麦の栽培が開始された。また農耕の発展に伴い、穀物をつぶすための石臼や石杵などが作られるようになる。これらは新石器時代になって新たに作られるようになった[J 磨製]石器であった。農耕と同時期か、若干遅れて開始されたと考えられるのが[K 牧畜]である。例えばキプロス島では、1万2500年前に人々が移住した際にはイノシシを連れていっている。これは[K]を行なうためではないだろうが、その後の1万500年前の移住の際には羊や山羊を持ち込んでおり、[K]をも意図しつつ移住を企てたことがわかる。

[1] 1891年にオランダ人のデュボアがインドネシアで発見した化石人類を何というか。

ジャワ原人 [直立猿人]

[2] 氷河期と次の氷河期の間比較的温暖な時期のことを何というか。

間氷期

[3] デニソワ人のゲノムは、オーストラリアの先住民にも数パーセント伝わっている。オーストラリアの先住民のことを何と呼ぶか。

アボリジニー

[4] 完新世の前、第4紀の前期を何というか。

更新世 [洪積世]

早慶の過去問からの発展・応用(先史時代)

【1】

早稲田大学 文

次のA～Cの文を読んで、設問1～5に答えなさい。解答は所定欄に一つだけマークしなさい。

直立二足歩行を特徴とする人類は、今から450万年前に地球上に誕生した。150万年前に登場した原人は、打製石器を作り火や言語を使用し、20万年前に出現した旧人は、死者を埋葬し、剥片石器を使用した。

設問1 次の文章の中で誤っているものはどれか。

- イ 最初的人类である猿人は、アフリカで誕生した。
- ロ 周口店上洞人は、北京原人とも呼ばれている。
- ハ 旧人は、現代人とかわらない脳容積をもっている。
- ニ 旧人は、ネアンデルタール人がその代表である。

【2】

慶應義塾大学 文

人間と他の動物との差異は、言語や道具の使用とともに、①他者を埋葬することに代表されるような宗教的行為を行うという点にある。人類がhomo religiosus(宗教的人間)と言われる理由はここにある。約4万年前以降出現した新人は、牛、馬、鹿、猪などの動物の絵画を洞穴の壁面などに描いたが、そうした②洞穴美術は、生業である狩猟の成就を祈願するパフォーマンスであったと解釈される。狩猟行為を絵画として再現＝現前化することを通して、観念を現実の彼方に投影し平面に画像として表象する作業はまさに、呪術＝宗教的行為の起源を示している、と言える。

① 埋葬を最初に行ったとされる旧人を何というか。 [ネアンデルタール人]

② 旧石器時代末に描かれ、1940年に発見されたフランス南西部の洞穴絵画遺跡の名称は何か。

[ラスコー]

【3】

早稲田大学 人間科学

以下の問題文を読んで、各設問の答えを所定欄にマークしなさい。

A

人類の最初の道具は、いうまでもなく身体そのものであるが、その身体を用いて作った最古の人工物として、①石を打ち砕いただけの単純な石器がある。旧石器時代人はやがて打ちかいた石の破片を加工した剥片石器や、石の周りを打ちかいて成形した石核石器と呼ばれる一連の石器を生み出す。前者の石器例としては、主に獲物の解体や槍先に装着して狩猟に用いた三角形の□イ□、後者には握斧がある。こうした石器のほかに、動物の骨や角を加工した骨角器を用いて採集・漁労を行っていた時代の経済形態は、一般に獲得経済と呼ばれる。

中石器時代を経て②新石器時代に入ると、西アジアから東地中海地域を中心に、農耕や飼育に生活の基盤を置く生産経済型の定住社会が誕生し、農耕の発達に伴って石臼や石包丁なども登場する。やがてメソポタミア北部の③ジャルモを初めとする初期農耕集落が出現するが、その農法は肥料を施さず、主に雨水に頼って地力を消費する乾地農法だったため、生産性が低く、これらの集落が大規模な村落に発展することはなかった。こうした初期集落が都市へと向かうには、農耕に必要な水を人工的かつ安定的に供給して、農作物の増産を図る□ロ□の登場が不可欠だった。

金属器時代に入ると、④青銅器や鉄器が初めて歴史に登場する。そのうち、前者は前3500年頃からオリエントやインダスなどの文明社会で武器や祭器として重用されたが、農具としてはほとんど用いられることがなかった。一方、鉄器は前17世紀にアナトリアに王国を建設した□ハ□が武器として使用した。馬や戦車で勢力を拡大した彼らは、前12世紀初め、「海の民」の侵入によって滅亡を余儀なくされるが、鉄器自体は以後オリエント各地に広まり、さらにその伝播の波はヨーロッパやインド、中国にまで及び、本格的な鉄器時代が到来する。

1 問題文の空欄「イ」～「ハ」に入るもっとも適切な語を選びなさい。

イ a 石斧 b 石刃 c 尖頭器 d ハンド=アックス

握斧(あくふ)または握槌(にぎりづち)

尖頭器=槍の先に似て、先端がとがった旧石器時代の打製石器。突き刺したり切り裂くのに使用。日本では旧石器時代と縄文時代草創期の遺跡から発見される。ポイント。

ロ a 天水農法 b 粗放農法 c 略奪農法 d 灌漑農法 []

ハ a エラム人 b ヒッタイト人 c アッカド人 d ミタンニ人

[]

2 問題文中、下線を引いた箇所について、以下の問いに答えなさい。

① この石器は一般に何と呼ばれるか。

a 礫石器 b 中石器 c 細石器 d 投石器

② 以下にあげる要素のうち、新石器時代の特徴を示す組み合わせはどれか。

a 新人-洞窟壁画-磨製石器 b 更新世-投槍器-マンモス・ハンター

c 櫛目文土器-織物-生産経済 d 地母神-線文字-クロマニヨン人

侯齒状の施文具で文様の施された土器の総称。世界各地の各種時期の土器に認められるが、狭義には北歐から西シベリアにかけて分布する新石器時代の土器、また朝鮮半島の新石器時代の有文土器ないし幾何文土器と呼称されるものを指すのが普通である。

③ これらの集落が出現したと推定される年代は以下のどれか。

a 前1万3000年～前1万1000年 b 前1万1000年～前9000年

c 前8000年～前6000年 d 前5000年～前3000年

ジャルモ=イラク北東部、キルクーク東方のザーグロス山脈中にある、最初に発見された初期農耕村落の遺跡。20～30戸で150人の村落と推定されている。彼らはエンマ小麦、アインコルン小麦、大麦、豆類を栽培し、ヤギ、犬、豚を飼い、カタツムリを大量に食した。打製石器を木の柄にはめた鎌を用いて栽培植物を刈り取り、穀物はすり臼で製粉した。管玉・腕輪などの装身具、女性土偶、動物土偶も出土している。初期の炭素14法によって前5000年という年代がこの遺跡に与えられたため、メソポタミア先史時代の編年に大きな混乱を与えたが、現在では前6500年(炭素14年代)ころと一般に認められている。

④ 青銅器の合金素材として、もっとも相応しい組み合わせはどれか。

a 銅と錫 b 亜鉛と錫 c 錫と銀 d 銅と亜鉛

東アジアの青銅器が祭祀具として発達したのにひきかえ、ヨーロッパや西アジアの青銅器は実用品が多い。銅や青銅などの初期の金属は、石にかわって斧、手斧(ちような)、剣、短刀などの利器の素材として利用されたところから、銅器時代や青銅器時代を設定する根拠となった。青銅器時代の開始を、一般には前3000年前後に設定しているが、厳密にはこの年代の青銅器は知られていない。銅とスズの合金である青銅が、意図的に鑄造された事実が実証できるのは、今のところ前2000年をさかのぼらない。

【4】

早稲田大学 第一文学部

次の文章を読んで、空欄A～Eに入る最も適切な語句を、所定欄に書き入れなさい。

問題1 およそ1万年前に地球は温暖化して自然環境が変化したので、人類は地域の環境に適応するため狩猟・採集の獲得経済から、農耕・牧畜のA 生産 経済へと移行してゆき、B

新石器 時代がはじまった。

【5】

早稲田大学 第一文学部

次の文章を読んで、空欄に入る最も適切な言葉を漢字で書き入れなさい。

問題 1

アジアでは、更新世から後氷期をへて〔 A 完新 〕世になると、自然環境の変化に対応しながら地域ごとに農耕や牧畜の生活が営まれるようになる。人類は採集・狩猟の〔 B 獲得 〕経済から、農耕・牧畜の生産経済へとしだいに移行していった。中国では、黄河流域は麦、アワ、コーリャンなどを栽培する畑作農耕がおこなわれ、長江流域はもっぱら稲を水田で栽培する水稲作がおこなわれた。黄河流域の彩陶を用いる文化を河南省にある代表的な遺跡名をとって仰韶文化といい、同じように山東省にある代表的な遺跡名をとり、黒陶を用いる文化を〔 C 竜山 〕文化と呼んでいる。

問題 2

陝西省の渭水流域におこり、華北の黄河流域に長く続いた〔 D 周 〕は、春秋時代に首都を東の洛邑（現在の洛陽）に移してから勢力が衰えはじめた。しだいに分裂や戦乱が多くなり、戦国時代には戦国の七雄といわれる齊、楚、秦、燕、韓、〔 E 魏 〕、趙の七国が対立するようになった。やがて陝西省を根拠にした秦が、前 221 年に中国を統一した。

【6】

早稲田大学 第一文学部

およそ 1 万年前に長かった更新世の氷河期が終わり、地球は 1 温暖 化して自然環境が大きく変化すると、人類は地域ごとの多様な環境に適応して磨製石器を用いる 2 新石器 時代がはじまった。乾燥した西アジアでは、穀物の 3 麦 と動物のヤギ・ヒツジなどの組み合わせ、温暖多湿な中国南部では、稲とウシ・ブタなどの組み合わせによる有畜農業を開始した。ユーラシア大陸北方の草原地帯では、 4 遊牧(牧畜) がおもな生業となり、東北の 5 森林(タイガ・針葉樹林) 地帯では狩猟、採集を営む人々が生活した。

【7】

早稲田大学 文

次の文章を読んで設問に答えなさい。設問 1 は記述解答用紙の所定欄に記入し、設問 2～4 はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。

人類の起源については、神話や伝説などによって説明されてきたが、19 世紀以降、人類学や考古学の発展に伴い、その進化の過程が次第に明らかになってきた。最古の人類は 1 猿人 と呼ばれ、A 直立(二足) 歩行という点で他の霊長類とは一線を画し、石を打ちかいた簡単な石器を使用していた。続く 2 原人 段階では、握斧のような石器に代表される、より洗練された道具の製作と使用が認められ、火を使用していたことも一部で確認されている。その後、旧人があらわれるが、精神文化の発達なども指摘されている。旧人にとってかわったのが、私たち現生人類の直接の祖先に当たる 3 新人 であり、世界各地にその居住域を拡大していった。

設問 1 A に当てはまる語句を記しなさい。

設問 2 下線部 1 に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

イ アウストラロピテクスとは「南方の人」を意味している。南方の猿

ロ アフリカに起源をもち、さまざまな洞窟壁画を残した。

ハ ラミダス猿人はエチオピアで発見された。

ニ 脳容積はゴリラなどよりも大きく、高い知性を備えていた。

500～600 ccゴリラに近い

設問 3 下線部 2 の出現した時期はいつか。

イ 更新世 ロ 完新世 ハ 中新世 ニ 鮮新世

設問 4 下線部 3 に該当しないものはどれか。

イ ネアンデルタール人

ロ グリマルディ人

ハ クロマニオン人

演習追加問題(古代中国)

立教大学 法

【1】

次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

中華文明は異なる文明が融合して形成されたと考えられている。なかでも ①黄河文明と長江文明に由来するものが多い。黄河文明は中原の諸国が引き継いだ。長江文明の系譜を引くものに楚がある。楚は『②春秋』にちなんで名づけられた春秋時代から『戦国策』にちなんで名づけられた戦国時代にかけて、一貫して強国であった。黄河文明は『詩経』を生み出した。『詩経』は、漢代に儒学が(イ董仲舒)の提案によって国家の学問とされると、その經典の 1 つに加えられている。長江文明は楚の王族(ロ屈原)の詩歌を中心とする『楚辞』を生んだ。『楚辞』に用いられた詩歌の形式は、漢代から南北朝にかけて流行した。特に「桃花源記」の作者である ③陶潜とならんで、山水詩の祖とされる(ハ謝靈運)の作品が名高く、その多くは(ニ昭明太子)が編纂した『文選』に収められている。『詩経』に収められた「伐木」には、「木を伐る音が響くと、鳥が鳴き騒ぎながら深い谷より飛び立ち、高い木に移る」という一節がある。ここに自然を開拓する強い意志を持った黄河文明の特質を見ることができる。『楚辞』の「湘夫人」では、「女神の湘夫人がおわす部屋は湖面に張り出して築き(中略)、香ばしいサンショウの実を敷きつめて奥座敷をこしらえる」とある。自然を尊重する長江文明の傾向を、感じ取ることができる。④戦国時代には多様な思想家が登場し、論争が行われた。楚出身の許行は、君主も民も平等に農耕すべきだと主張し、自給自足の生活を目指した。その思想は農家と呼ばれる。許行の思想に対して黄河文明側の思想家は、「むかし、堯のときは草木が繁茂し、禽獣が繁殖し、穀物は実らなかつた。⑤堯はこれを憂い、舜を後継者として採用して治めさせた。舜は伯益という名の配下に命じて、草木を焼き払い、禽獣を追い払った」と述べ、中国古代の帝王が、開発を進めたのだという。ところが「南蛮から来たモズのような言葉を話す人(許行を指す)が、先王(堯や舜を指す)の道は間違っているとしている。(中略)私は鳥が谷を飛び出して高い木に移ることは知っているが、高い木から下りて谷に入るという話は聞いたことがない」と述べている。この一節は、『詩経』に由来する。

黄河文明を継承した秦に抵抗するものは、楚とのつながりを強調した。「⑥王侯将相いづくんぞ種あらんや」という言葉で知られる(ホ陳勝)は反乱を起こすと楚の復興を唱え、秦を滅ぼした項羽も、楚の將軍を務めた家柄の出身で、西楚の霸王を称した。『⑦史記』にある四面楚歌の故事は、漢の軍隊のなかにも楚出身者が多くいたことを示している。漢代には皇后の宮殿を「椒房」と呼び、サンショウを壁に塗り込めたという。このサンショウの使い方は、『楚辞』の女神の神殿と同じである。漢の文化は、黄河文明の開発主義と長江文明の自然主義とを、融合させたものであったと考えられる。

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる人名をしるせ。

B. 文中の下線部 1)～7)にそれぞれ対応する次の問 1～7 に答えよ。

1. この文明に属する新石器時代の遺跡はどれか、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 河姆渡遺跡 b. **姜寨遺跡**

姜寨遺跡は陝西省の姜寨村にある新石器時代仰韶文化の集落遺跡であり、遺跡は驪山山麓の臨河の東岸台地に位置し、東西 310m、南北 180m の範囲にわたる。半坡遺跡とともに中原における最大規模の保存の良い集落遺跡であり、この地域の仰韶文化の細かな編年が可能となった重要な遺跡である。

c. 三星堆遺跡

d. 良渚遺跡

良渚(りょうしよ)遺跡は浙江省杭州市北西にある江南新石器文化後・末期の遺跡であり、1936 年に調査され、良渚文化の名のもととなった。黒陶と磨製石器が共伴して出土した。良渚文化は青蓮崗文化に後続し、浙江省北部、江蘇省南部の太湖周辺や銭該江下流域に分布する。炭素 14 法による年代測定では山東竜山文化の黒陶より古い前 3300～前 2250 年の年代が推測されている。

2. この史書の原文は、戦国から前漢にかけて製作された「伝」と呼ばれる3つの注釈書によって伝えられている。清末に康有為が、改革者としての孔子の意見が示されているとして重視した「伝」の名をしるせ。

公羊伝

3. この詩人とほぼ同じころに生きたとされるインドの詩人・戯曲家で、『シャクンタラー』などの作品を残した人物の名をしるせ。

カーリダーサ

4. これらのうち次の i・ii の文言を残した思想家の名を、それぞれに対応する下記の a~d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

i. 以兼相交相利之法易之(お互いを隔てなく愛し合い、お互いを利する方法が天下の利益に適っている)。

a. 呉子 b. 莊子 c. 墨子 d. 老子

墨家は戦国時代初期の人と思われる墨翟を祖とする一派の称であり、兼愛交利(無差別の愛と相互扶助)を説き、礼楽を無用の消費としてしりぞけ、節儉勤勞の重んずべきことを主張。当時儒家と対立する勢力を保持していたが、前漢の中ごろまでにほとんど消滅した。

ii. 人之性悪、其善者偽也(人の本来の性質は悪であり、それが善である者は、人為の結果、そうなのである)。

a. 韓非 b. 荀子 c. 鄒衍 d. 孟子

荀子は趙の人であり、50歳にして初めて齊に遊学し、襄王に仕え祭酒となる。楚に移り春申君により蘭陵の令となったが、春申君の没後、任地に隠棲した。

5. 支配者の血統が替わる「易姓革命」のうち、堯から舜への移行のような武力を伴わない王朝交替の形式を何と呼ぶか、その名をしるせ。

禅譲

6. この言葉は戦国時代の世情が復活した様相を表している。この世情を1行で説明せよ。

生まれや家柄を重視しない実力主義の風潮

7. この史書が著された時期よりも半世紀あまり前、ローマで『歴史』を著し、そのなかで君主政から暴君政を経て民主政にいたり衆愚政から再び君主政に推移するという政体循環史観をとらえたギリシア人の歴史家の名をしるせ。

ポリビオス

【2】

首都大学東京

次の文章を読んで、以下の問い(1~5)に答えなさい。

秦のあとを継いで成立した漢は、⁽¹⁾郡県制強行という秦の失政を教訓として、新たな地方統治制度に

a 郡国制を採用した。しかし漢は諸侯王への圧力を次第に強化してその権力を取り上げ、やがて

b 呉楚七国の乱の鎮圧を契機に郡県制が事実上復活した。こうして武帝の頃までには、皇帝の専制的権力を中心とする中央集権的な国家体制が成立した。

武帝はその権力を駆使して対外遠征を繰り返し、⁽²⁾領土を大きく広げたが、同時に、財政難に陥るなど困難にも直面した。武帝は専売制などで財政再建を目指すとともに、⁽³⁾ c 郷挙里選によって優秀な人材の登用に努めた。

武帝の死後、皇帝側近の d 宦官や e 外戚の権力争いが繰り返されたが、やがて e 外戚の王莽が皇帝を廃位して f 新を建てた。⁽⁴⁾王莽の政策は社会の実情に合わないものであったため、g 赤眉の乱など反乱が各地でおきた。その結果、 f 新は間もなく倒れ、漢王朝の一族の h 劉秀が洛陽に都を置いて漢を復活させた(後漢)。

h 劉秀は各地の豪族の支持を得て皇帝中心の政治を進めたが、2世紀ごろになると、豪族が中央政界に進出して d 宦官と対立するようになり、政治が混乱した。中央の混乱は地方の荒廃を招き、農民の間で

i や j i, j 太平道, 五斗米道(順不同)などの宗教結社が広まった。そうした中で黄巾の乱が起きると、後漢は全国を統治する能力を失い、220年に滅亡した。

問1 空欄 a～j に適切な語句を入れなさい。

問2 下線部(1)について、秦の郡県制と漢の a とを比較し、漢が a を採用した理由を75字以内で説明しなさい。

秦は郡県制の採用によって、官僚制に基づく中央集権体制を築こうとしたが、急激な変革が反発を生んだことから、郡県制と並んで一部封建制も取り入れた。

問3 下線部(2)について、武帝による領土拡大の様相を以下の語句をすべて用いて70字以内で説明しなさい。使用した語句には下線を引くこと。

[語句]

敦煌郡 日南郡 楽浪郡

張騫派遣後西域に進出し、敦煌郡など河西4郡を置いた。また衛氏朝鮮を滅ぼして楽浪郡など4郡を置き、南越を滅ぼして日南郡など9郡を置いた。

問4 下線部(3)について、c による官吏登用の方法と、それが漢代の政治におよぼした影響を60字以内で説明しなさい。

地方長官が優秀な人材を中央政府に推薦する制度だが、結果的に豪族の子弟が推薦され、豪族が官界へ進出することとなった。

問5 下線部(4)について、王莽の政策の特徴を50字以内で説明しなさい。

周代の政治制度を復活させようとして、土地国有化や商業抑制などの非現実的政策により世の中を混乱させた。

早慶の過去問からの発展・応用(古代中国文明)

【1】

早稲田大学 文

中国の思想史に関するA～Cの文を読んで、各設問に答えなさい。設問1, 2, 3, 5, 7はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークしなさい。設問4, 6は記述解答用紙の所定欄に記しなさい。

A 春秋・戦国時代、旧い社会秩序が弛緩・崩壊してゆく中で、人々は新しい社会秩序をもとめ、ここに中国史上類をみないさまざまな思想家・学派が登場した。その学問の一大中心が齊のいわゆる「稷下の学」で、その中に諸子百家の多くの人の名がみえる。

設問1 以下の思想家と学派の関係に関する文の中で、不適切なものはどれか。

ア 墨家は家族道徳を社会秩序の基本におく儒家に対して、兼愛を説いた。

イ 名家の公孫竜は「白馬は馬にあらず」と論じ、名(言葉)と実(実体)の関係を明らかにしようとした。

ウ 縦横家の蘇秦は六国が同盟して秦に対抗する連衡策を説いた。

エ 陰陽家の鄒衍は五行説によって王朝交替の順序を理論づけた。

設問2 齊の領域として、適切なものはどれか。

ア 黄河中流域 **イ 黄河下流域** ウ 長江中流域 エ 長江下流域

B 儒家は春秋末の孔子により創始され、戦国時代に、孟子や荀子らによって発展したが、秦のとき弾圧に遭った。前漢の武帝のとき、董仲舒は孔子の教えだけを尊ぶことを主張し、儒学が官学となつたとされてきたが、近年では反論も提起されている。その後、経典の解釈学が盛んとなり、唐代にその集大成である、『五経正義』が編纂された。

設問3 下線部 a の二人の人物に関して、不適切なものはどれか。

- ア 孟子は性善説を唱え、王道政治を説いた。
- イ 孟子の言行は『孟子』に記録され、四書の一つとなった。
- ウ 荀子は性悪説を唱え、礼を重視した。
- エ 荀子の弟子に法家の商鞅と韓非がいる。

商鞅は戦国時代の法家で衛鞅ともいう。衛の出身で秦の孝公に仕え、商君に封じられる。2回にわたる改革で郡県制の実施、隣保制と連座制の強化、大家族制の分解、土地制度の改革、戦功による爵位の授与など一連の法治主義政策を断行し、秦の発展の基礎をつくった。

設問4 下線部 b を含む秦の思想統制を目的とする弾圧を何というか。漢字四字で記しなさい。

焚書坑儒

設問5 下線部 c の編纂者は誰か。 太宗の命

- ア 鄭玄
- イ 孔穎達
- ウ 韓愈
- エ 柳宗元

『五経正義』とは唐代における儒教の『経書』5種の官撰注釈書であり、唐の太宗の命により孔穎達ら学者の手で編纂された。六朝の多様な所説を統一し、科挙受験者のために解釈の基準を示した。

C 道家の老子と荘子の思想は、儒家や墨家の人為主義を否定し、「道」と「無為自然」を説く。とくに『老子』は、近年、戦国時代のテキストが発見されて、その思想の成立過程が注目されている。道家の思想は魏晋時代に「老荘思想」として流行し、哲学的な議論の(あ)の中に取り入れられ、仏教受容の媒介ともなった。

設問6 空欄(あ)の最も適切な語句を、漢字二字で記しなさい。清談

設問7 下線部 d に関し、魏晋南北朝時代の状況を述べた文で、不適切なものはどれか。

- ア 西域僧の鳩摩羅什は、後秦に迎えられ、長安で多数の仏典を漢訳した。
- イ 西域僧の仏図澄は、後趙で重用され、布教と共に多くの漢人僧を育成した。
- ウ 東晋の法顕は、戒律の仏典を求めて、ヴァルダナ朝支配下のインドに渡った。
- エ 雲崗石窟の仏像には、ガンダーラ様式、グプタ様式の影響がみられる。

雲崗石窟は山西省大同市西方 15km にある雲崗の武州川沿い砂岩の断崖にある。大同市に近いので大同石窟ともいう。東西 1km ほどで、石窟の総数は 42。二つの谷を挟んで東方、中央、西方の 3 石窟群に分かれる。石窟開削の起源は北魏の僧曇曜が文成帝に奏上して和平 1 (460) 年に「武州塞に山の岩壁を鑿(さく)して窟五所を開いた」のが始まりという。東方群は第 1 洞から第 4 洞までで、第 3 洞には遼時代の仏像が彫刻されている。中央群は第 5 洞から第 13 洞までで、第 7, 8 洞は古くガンダーラ仏像様式を受け継いだ彫法が特色で、その他の洞窟にもシヴァ神、本生譚などインドの影響を受けた仏像壁画がみられる。

【2】

早稲田大学 人間科

次の 1・2 の文章を読み、設問 X・Y に答えなさい。

1 黄河の中流域を勢力範囲とした①殷王朝の遺跡とされる殷墟からは、巨大な陵墓や多数の青銅器および文字などが発見された。これらの出土文物は殷王の強大な権力と財力を示しているとされる。渭水盆地におこり、前 11 世紀に殷を滅ぼして華北を支配した周は、都をおいた(1)の周辺を直轄支配するとともに、一族・功臣や地方の有力首長を諸侯として各地に封建し、その支配地を領有させた。前 8 世紀前半、②周が東方に遷都したころから、周王の権力はしだいに衰え、支配下の諸侯に独立的傾向が強くなり、やがて有力諸侯が周室の名をかりて号令を下すようになった。この時代は、(2)の著作とされる年代記にちなんで春秋時代と称される。そののち前 5 世紀になると多くの諸侯がたがいに抗争する時代となり、有力諸侯が他国の併合をすすめて③戦国の七雄とよばれる領域国家に発展した。このような大きな変動が生じた背景には、農業や商業の発展にともなう経済・文化の変動があ

るとされる。

2 楚の項羽との抗争に勝利した劉邦が漢を建国したのち、④ほぼ 60 年にわたる帝国の基礎固めの時代をへて、第 7 代皇帝に即位した武帝は(3)を大月氏に派遣して匈奴との戦いで攻勢に転じ、⑤河西回廊に加えてベトナムや朝鮮にまで直轄地を拡大した。しかし、長期にわたる戦役は中央集権的官僚制国家の威勢を輝かせたものの、やがて深刻な財政難を招くにいたった。そこで、武帝は均輸法や平準法を導入して物価の安定をはかるとともに、(4)を専売にして国家財政の再建をめざした。しかし、思うように経済事情は好転せず、その晩年には社会不安が増大することとなった。

一方、漢帝国による統一と安定および対外的な発展は漢民族の意識を高めて、歴史への関心を高揚させることとなった。そのなかで司馬遷は、匈奴遠征にむかった将軍李陵が捕虜になったことを弁護して武帝の逆鱗にふれ、宮刑に処せられたが、この屈辱によく耐えて(5)を完成させた。この書はのちに『史記』とよばれ、その紀伝体は中国正史の基準となった。

設問 X 文中の空欄(1)～(5)に入れるのに最も適切な語を a～e のなかから一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

(1)

a 鎬京 b 咸陽 c 太原 d 安邑 e 平城

(2)

a 孟子 b 荀子 c 孔子 d 老子 e 墨子

(3)

a 班超 b 蒙恬 c 衛青 d 甘英 e 張騫

(4)

a 塩・鉄・茶 b 帛・塩・鉄 c 絹・鉄・綿 d 塩・鉄・酒
e 塩・米・粟

(5)

a 『太史公書』 b 『詩経』 c 『資治通鑑』
d 『十八史略』 e 『戦国策』

『史記』は中国最初の正史であり、中国の歴史書の典型をなす紀伝体の史書。本紀 12 巻、列伝 70 巻から成る。著者の司馬遷が太史令であったため、最初『太史公書』と呼ばれた。黄帝から前漢の武帝までを扱っている通史。

設問 Y 文中の下線部①～⑤に関する設問について、最も適切な解答を(ア)～(オ)のなかから一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

① 殷墟・青銅器・文字の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) 殷墟は、河南省安陽市で発見された商代後期の遺跡である。
- (イ) 甲骨文字は、卜辞・殷墟文字ともいい、漢字の起源の一つである。
- (ウ) 甲骨文字は、おもに殷王が卜官に占わせた結果を刻した文字である。
- (エ) 殷代および周代の青銅器に記された文字を金文という。
- (オ) 殷墟から発掘された甲骨文字は、清の乾隆帝時代に解読された。

甲骨文字は王国維、羅振玉らの学者によって研究が進められた。王国維は清末の文学者、史学者であり、辛亥革命の際日本に亡命してからはしだいに考証学的な古代史学に進み、甲骨、金石文の研究などに没頭した。羅振玉も日清戦争の影響で、農学を中心とした国力振興を考え、日本や西欧の農書を翻訳し、翻訳者養成のため東文学社を建てた。20 世紀初頭の殷墟や敦煌から発現した新資料の価値をいち早く認識し、その収集と整理に努力してきた。

② その遷都の地の説明として誤りを含むものはどれか。洛邑、洛陽

- (ア) その地は、新末の混乱を收拾して天下を統一した後漢の光武帝が首都とした。
- (イ) 唐の高祖が長安に都を置くと、その地は東都と呼ばれるようになった。
- (ウ) その地は、曹操の子曹丕が禅譲によって即位したのち三国魏の都とされた。
- (エ) 北魏の孝文帝は、その地に遷都し、その南郊に龍門石窟を造営した。

平城→洛陽 漢化政策の一環として

(オ) その地は、唐を滅ぼして後梁を建国した節度使の朱全忠が首都を置いた。

開封は運河の要地であり、中国河南省中部の都市。黄河の南方平野にあり隴海（ろうかい）鉄道に沿う。戦国時代の魏の都（大梁）、五代の後梁の都（東都）、後晋・後漢・後周・宋の都（東京（とうけい））、金の都（汴京（べんけい）・南京）となる。後唐は五代の一国であり、突厥出身の李存勗が後梁を滅ぼして建てた国。都は洛陽である。その臣石敬瑭に滅ぼされた

③ 戦国の七雄の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) 齊は東方の大国で、その都の臨淄には諸国の思想家が集まった。
- (イ) 秦の孝公に仕えた商鞅は、変法を実施して富国強兵をめざした。
- (ウ) 晋を三分した家臣の一人が建国した趙は、邯鄲に都を置いた。
- (エ) 楚の政治家屈原の詩は、南方系の韻文をまとめた『楚辞』に見える。

(オ) 燕は北方の大国で、その討滅をもって秦王政の天下統一が完成した。

燕は前 323 年に七雄中最も遅く王号を称した。諸侯の連合軍を率いて齊を破ったのち秦と友好関係を結んだ時期が多かったが、勢力は弱く、戦国時代末に秦の始皇帝を暗殺しようとしたが失敗し、前 222 年秦に滅ぼされた。

④ その時代の政治および社会の説明として正しいものはどれか。

- (ア) 高祖が崩御すると、その皇后であった武氏とその一族が政権を奪って専横を極め、劉氏の政権は危機に陥った。

呂后は漢の高祖（劉邦）の皇后であり、才略があり、常に高祖に侍して画策していた。帝の崩後、権力をふるい、呂氏の乱の原因をなした。（～前 180）武氏出身の皇后は唐の則天武后

- (イ) 法家思想を重視して全国を 36 郡にわけ、その下に県を置いて郡・県いずれも中央から派遣した官僚が統治した。秦の始皇帝
- (ウ) 景帝が派遣した遠征軍が匈奴の冒頓単于に大敗すると、領土削減案に反対する諸侯が呉楚七国の乱をおこした。白登の戦いで大敗したのは劉邦高祖である。
- (エ) 県の下には郷・亭・里の郷村組織が置かれ、徳望ある年長者から互選された里老人が行政、徴税、教化を行った。明、里甲制 六諭の公布

(オ) 長安周辺の直轄地には郡県制を施行し、地方には皇帝の一族や功臣などを王・侯とする封建制を施行した。

⑤ その直轄地の説明として誤りを含むものはどれか。

- (ア) シルク＝ロード上に置かれた河西 4 郡は武威郡、張掖郡、酒泉郡、敦煌郡からなる。
- (イ) 秦末に趙佗が建国した南越は、南海貿易で繁栄したが、武帝に滅ぼされた。
- (ウ) 武帝が設置した南海 9 郡の一つである交趾郡の領域は、後世フランス領となった。

ハノイ 仏領インドシ連邦

(エ) 南海 9 郡の最南端に置かれた日南郡に大秦王安敦の使者が到着したのは、武帝の末年である。166 年後漢

(オ) 武帝は、衛満を始祖とする衛氏朝鮮を討滅して楽浪、真番、玄菟、臨屯の 4 郡をおいた。

中国史に関する以下のA～Dの文章を読み、設問1～9について解答を一つ選べ。

A 中国では『史記』以前の史書に関連する文献として、『春秋』や『国語』等があったが、前漢の司馬遷によって紀伝体による歴史叙述が創始されると、以後、紀伝体による史書の撰述が行われるようになった。『史記』以後の『漢書』・『後漢書』・『三国志』等々はみな私撰であるが、唐に至り勅命によって前王朝の正史が編纂されるようになった。

設問1 下線aの『春秋』と最も密接に関連するものを選びなさい。

- ① 通史 ② 断代史 ③ **編年体** ④ 紀事本末体

設問2 下線bに関して、清の乾隆末年に二十四の史書を選んでこれを正史としたが、この乾隆帝の文化事業の中に含まれるものはどれか。

- ① 『古今圖書集成』 ② **『四庫全書』** ③ 『四書大全』 ④ 『大義覺迷録』

大義覺迷録は清朝の雍正帝が、清朝の正統性を強調するため刊行頒布した書である。清初の朱子学者呂留良の説く華夷思想（漢民族はすぐれており、異民族は劣るという思想）の影響を受けた曾静が、排満のための挙兵をおこなった事件を契機とする。帝は清朝の正統を主張する論説に曾静らの訊問における問答や、転向するにいたった経過などの記述を加えている。

B 諸子百家の一つである陰陽家の鄒衍は、“陰陽五行説”を唱えたことで知られる。すなわち天地万物の根本を陰と陽の二元としてとらえ、森羅万象を木・火・土・金・水の五要素による働きによって推移すると考え、その五行循環に基いて、舜は土徳、夏は木徳、殷は金徳、周は火徳をもって王となったとする有名な王朝交替論を唱えた。この学説は秦漢以降に、王朝の正統性をめぐる議論に大きな影響を与えた。

設問3 下線cの諸子百家の関連事項の組み合わせの中で、誤っているものはどれか。

- ① 儒家／孝 ② 兵家／呉起 ③ 名家／白馬は馬に非ず
④ **道家／非攻 墨家＝平和論（非攻説）**

設問4 ギリシア人で古代ローマの歴史家であるポリビオスは、政体循環史観による歴史書を著したが、ギリシア時代およびローマ時代の歴史家と歴史書に関して、誤った記述はどれか。

- ① ペルシア戦争を主題とするヘロドトスの『歴史』は、物語風の歴史叙述の典型とされている。
② ペロポネソス戦争を主題とするトゥキディデスの『歴史』は、史料批判に基く歴史叙述とされている。
③ リウィウスは、建国からアウグストゥスに至るまでの『ローマ建国史』を著した。
④ **『年代記』を著したタキトゥスは、政治的に帝政の立場に立っている。**

元首政期におけるローマ人の墮落を共和派のタキトゥスは冷静な視点で批判していることに注意。

C 平和的に政権を譲り受ける王朝交替を“禪譲”といい、武力で奪取することを“放伐”という。それは天帝が地上の有徳者に命(地上の支配権)を託して統治させる、という天命思想に基くものである。暴政によって民意を失えば、命は他の有徳者に移り、新たな受命者が放伐によって暴君を倒し、新王朝が樹立される。これらを易姓革命という。

設問5 下線dに関して、中国史上、禪譲の最初の実例は、前漢にかわって新を樹立した王莽であるが、王莽の政治に関して誤っている記述はどれか。

- ① その政治は『周礼』等の儒家經典の影響が大きかった。
② **前7年に豪族の大土地所有を制限する限田法を發布した。**

限田法とは民間の大土地所有を制限しようというものであり、豪族の大土地所有を押え、小農民を保護しようとする農民保護政策の一環として唱えられた。前漢、武帝時代の董仲舒の思想にみられたが、哀帝の前7年には限田法を施行しようとした。実施には移されなかったが、王莽の土地政策のなかにその主旨が生かされた。

③ 籤緯思想(予言思想)を政治的に利用した。

④ 政治の混乱は赤眉の乱を引き起こし、これに乗じて豪族も各地で挙兵した。

設問 6 下線 e に関して、戦国諸子の中で易姓革命を典型的に唱えた者は誰か。

① 荘子 ② 孟子 ③ 韓非 ④ 蘇秦

設問 7 宋代以降、君主権が強大化し、禅譲形式は廃れて、異民族による征服と漢人王朝の放伐による王朝交替が行われる。このような政権交代に関する記述で誤っているものはどれか。

① 契丹は後晋の建国を助けた代償に燕雲十六州を獲得し、後晋を滅ぼして華北に支配領域を拡大し、国号を遼と定めた。

② 金は宋と結んで遼を滅ぼしたが、宋は同盟中に金と結んだ約束を守らなかったため、開封が攻め落とされ、金に滅ぼされた。

③ 大都に遷都して国号を元と定めたフビライは、臨安を占領し、南宋を滅ぼした。

④ 李自成が明を滅ぼすと、山海関を守備していた呉三桂は清に投降し、清軍を関内に導き入れた。ヌルハチの率いる清軍は、李自成の乱を平定して北京を占拠した。

李自成の反乱を平定して北京を占領したのは順治帝である。順治帝はホンタイジの第9子で、父帝の没後、ドルゴンらに推され、6歳で即位した。当時清朝は李自成の乱により滅亡した明朝を継ぐべく、中国本土への進出をうかがっていたが、北京入城とその後の中国全土の平定という重大な時期の政務は皇父摂政王の地位にあったドルゴンが腕をふるった。順治帝はドルゴン没後に親政を開始した。

D 辛亥革命が起こると、清朝は袁世凱を内閣総理大臣に任命し、革命の鎮圧を期待した。しかし裏で袁世凱は革命派と取引し、皇帝の退位・共和制の実現と引き換えに、自らが臨時大總統に就く協定を結んだ。そのため、宣統帝(溥儀)は退位をよぎなくされ、清朝の支配は終わり、同時に秦の始皇帝に始まる皇帝の支配の歴史も終わったのである。

設問 8 下線 f に関して、溥儀はその後、1934年に関東軍に擁立されて満州国皇帝に即くが、この同じ年に起こった歴史的出来事は何か。

① 中国共産党の長征 ② 西安事件 ③ 第二次国共合作

④ 柳条湖事件

蒋介石が日本の中国侵攻より共産党の弾圧を重視していたことを前提とした設問である。「安内攘外」

設問 9 清朝の宮城を紫禁城というが、最初にこれを築城した皇帝は誰か。

① 洪武帝 ② 永楽帝 ③ 順治帝 ④ 康熙帝

紫禁城は北京にある明、清代の宮殿であり、「紫禁」とは北斗星の北に位置する紫禁星が、天帝の居所とされることに由来する呼称である。中華民国の成立以後しだいに一般に開放されるようになり、現在は「昔の皇宮」の意で「故宮」と呼ばれている。紫禁城は明の永楽帝の時代の建設に起源をもつ。明末の李自成の乱でほとんど全焼し、現存のものは清代の再建が多いが、創建当初の規模を伝えている。

【4】

早稲田大学 社会科

次の文章を読み、問1～10について、選択肢の中から解答をそれぞれ1つ選べ。

春秋時代は古代中国の大変動が始まった時代である。当時の中国では、(A)殷王朝を滅ぼした後、長く華北を支配してきた周王朝の求心力が弱まり、各地の封建諸侯は自立化するようになった。周王朝の弱体化は進み、かわって(B)中原の諸侯や南方の新興勢力が覇者になろうとして抗争し、末期には大規模な長期戦争も勃発した。戦国時代は、(C)晋が内乱により三国に分裂したことを契機に始まったとされる。この時代に、周王朝の権威は完全に失墜し、諸侯は自ら「王」を名乗り、下克上の風潮とともに、武力抗争を繰り返し、(D)「戦国の七雄」と呼ばれる強国が弱小国を滅ぼして領土を拡大していった。この戦乱の時代は、前221年に(E)秦が周と他の6国を滅ぼして天下を統一するまで続いた。

春秋時代末期から戦国時代は、邑制国家から領土国家へ、さらに中央集権的な大帝国へと移行してい

く時期であった。血縁に基づく封建制は崩壊して、諸侯は新しい国家統一の原理を求め、またさまざまな富国強兵策を求めるようになった。それに応えるべく登場したのが^(F)諸子百家と呼ばれる思想家たちであった。下級の士や庶民の中からも知識を身につけた思想家が現れ、諸国をめぐって諸侯に自らの政策や理想を説いた。諸侯も彼らを食客として迎え入れ、ときには宰相や将軍として登用した。

諸子百家の多様な思想はその後の中国の政治思想、社会思想の源流であるといえる。中でも後世に最も大きな影響を与えたのは、^(G)孔子によって開かれた^(H)儒学である。漢以降の王朝の支持を受けた儒学は、中国の皇帝政治を支える正統的教義となった。儒学は、中国ばかりでなく、^(I)朝鮮、日本、東南アジアなどの諸地域にも伝わり影響を与えた。また道家の創始者とされる老子は、後漢末から宗教の形態を取り始めた^(J)道教において、その始祖とみなされるようになった。

問1 下線部(A)に関連して、殷および周についての記述のうち、最も適切なものはどれか。

- 現在の河南省鄭州で1928年に行われた発掘調査で殷墟が発見され、殷王朝の実在が確認された。鄭州＝二里岡遺跡（竜山文化、殷代中期および戦国時代の遺跡）は1952～54年にかけて発掘調査された。
- 周は黄河支流の渭水流域におこり、当初は殷に服属し、殷の文化を摂取しながら国力を増大させた。
- 周の武王は前1027年の牧野の戦いで殷の傑王の軍を破り、殷王朝を滅亡させた。
- 周では、王が世襲の諸侯に采邑→公邑と呼ばれる封土を与え、諸侯は王に貢納と軍役の義務を負った。
- 周は西方の異民族犬戎によって都の朝歌→鎬京を攻略されたため、前770年に東方の洛邑に遷都した。

問2 下線部(B)に関連して、春秋時代の政治状況に関する記述のうち、適切でないものはどれか。

- 有力諸侯は周王を尊び「尊王攘夷」を唱え、諸侯に会盟を呼びかけて、その盟主になることで覇権を握ろうとした。
- 宋の襄公は斉の桓公について覇者になろうとしたが、宋襄の仁で知られる泓水の戦いで楚軍に大敗した。
- 呉の闔閭（夫差の父）は兵法家の孫武などの力により勢力を拡大し楚を破ったが、越→呉の夫差の軍に破れた。
- 南方の楚・呉・越の君主は、中原の諸侯とは異なり、早くから王号を使用した。
- 斉の桓公は管仲を宰相に登用して富国強兵を進め、葵丘において会盟を開き覇者となった。

問3 下線部(C)に関連して、分裂した韓・魏・趙の三国が周王によって諸侯に封じられたのは何年のことか。

- 前458年
- 前453年
- 前408年
- 前403年
- 前400年

問4 下線部(D)に関連して、戦国七雄のひとつに数えられ、威王、宣王の時代に各地の学者を都に集めて優遇し、自由に討論させたことで知られる国はどれか。

- 韓
- 燕
- 魏
- 趙
- 齊（稷門＝稷下先生）

問5 下線部(E)に関連して、全国統一後の秦で行われたことに関する記述のうち、最も適切なものはどれか。

- 都を雍から咸陽に移した。
- 穆公の時代から秦領土内で実施していた郡県制を全国で実施した。
- 文字を隸書という書体に統一した。
- 将軍蒙恬を北方に派遣してオルドスの匈奴を撃退した。
- 半両銭という方形の銅銭を統一貨幣と定めた。

問6 下線部(F)に関連して、万物を陰陽二気の働きによって説く「陰陽説」と、「木・火・土・金・水」の五元素の関係・消長によって万物の変化を説く「五行説」を融合させたことで知られる思想家はどれか。

- a. 鄒衍 b. 申不害 c. 楊朱 d. 公孫竜 e. 慎到

問7 下線部(G)に関連して、孔子に関する記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 孔子は魯の曲阜の出身で、魯では自分の政治的な理想を実現できず、諸国を旅して諸侯に自説を説いて回った。
- b. 孔子(前551頃～前479)は七十子と呼ばれる才能ある門人を直接育成したが、その中から曾子(周代の思想家 前505～前436)、孟子(前372頃～前289頃)などの後継者が現れた。
- c. 孔子の言行は門人たちにより『論語』としてまとめられたが、儒学の経書のうちの四書のひとつとされたのは南宋の時代である。
- d. 孔子は父母に対する孝、兄や年長者に対する悌を根本とする仁を強調し、家族道德の実践により天下の秩序が保てるとした。
- e. 孔子は周の封建制、特に周公旦の治世を模範と考え、古来の礼を回復させ、政治と道德、倫理を結びつけようとした。

問8 下線部(H)に関連して、儒学の歴史についての記述のうち、適切でないもののみの組み合わせはどれか。

- ① 訓詁学の代表作のひとつである『五経正義』は、唐の太宗が、経書の解釈の統一のために、孔穎達、顔師古らの学者を集めて編纂させたもので、科挙試験のテキストとして用いられた。
- ② 宋学の開祖といわれる北宋の周敦頤は、仏教哲学や道家思想も取り入れて宇宙万物生成の原理や道德論を説いたが、彼の思想は南宋の程顥や程頤、朱熹に受け継がれ、朱子学として集大成された。
- ③ 前漢の武帝のとき、董仲舒の献策により五経博士が設置され儒学は官学となり、後漢の後半には、経書の字句解釈を目的とする訓詁学が許慎→馬融やその弟子の鄭玄によって集大成された。
- ④ 儒学の経書『春秋』の注釈書『公羊伝』を正統とし、いにしへの聖人の道を忠実に伝承せよと主張する公羊学が清の末期に盛んになり、康有為や梁啓超らの変法運動の思想的基盤となった。

春秋公羊伝は孔子は素王(位の無い王)として、統一王者の法を『春秋』に寓しているという立場から、いわゆる微言大義(一見なんでもない記述のなかに含まれている奥深く重要な意味、あるいは、微妙な表現のなかに隠されている政教に関する主張、のこと。)を明らかにするように努めている。前漢には、董仲舒、その他の学者によってこの伝が行われた。

- ⑤ 明代の後半には、心即理、致良知、知行合一を説く陽明学が庶民の間に普及し、また、童心説を唱え士大夫の精神的支柱である朱子学を非難した李贄などの陽明学左派の思想家も現われた。
- a. ①③⑤ b. ②③④ c. ③④⑤ d. ①④⑤ e. ①②⑤

問9 下線部(I)に関連して、朝鮮王朝の王で、儒学を奨励して仏教を抑圧し、訓民正音を制定したことも知られているのは誰か。

- a. 正祖 b. 成宗 c. 世祖 d. 太宗 e. 世宗

問10 下線部(J)に関連して、道教の歴史についての記述のうち、適切でないものはどれか。

- a. 道教の源流の一つとされる太平道は、後漢末に張角が創設した宗教結社で、長江流域の農民の間に勢力を拡大し、華南一帯で黄巾の乱を引き起こした。
- b. 北魏の太武帝の信任を得た寇謙之は、仏教の戒律などを取り入れ天師道を改革して新天師道を開き、道教の国教化を進める一方、廃仏を推進した。
- c. 五斗米道は2世紀後半に張陵と孫の張魯が指導し、陝西・四川に勢力を拡大した宗教結社で、呪術儀礼を重視し、後に張陵の子孫を天師とする正一教となった。

- d. 北宋の時代に王重陽が開いた全真教は、儒教・仏教を取り入れ、呪術の否定や厳しい戒律、禪宗風の修行法などを特徴とし、元朝の信任を得て勢力を広げた。
- e. 唐は、老子と唐皇室が同じ李姓であることから道教を手厚く保護し、玄宗の代には道士を試験によって官吏に登用する制度が設けられた。

演習テキスト 28p解答

問2

名称：易姓革命

内容：天子である王が悪政を行うと、天命が革まり、別の姓の有徳者が王朝を樹立する。その際、平和的な禪譲と武力による放伐のいずれかで王朝が交代する。(69字)

問3

義務：軍役・貢納 特徴：周の封建制は、西欧の個人的な契約関係と異なり、氏族的な血縁関係を中心とした。(38字)

問4

従来の石や木などの粗製農具にかわり、鉄製農具の使用や牛に犁を引かせる牛耕が普及した。これに伴い小家族での自立した農業経営が可能となり、氏族の統制がゆるみ実力主義の風潮が台頭した。(89字)

ポイント

問2

- ①天子が悪政を行うことが革命の契機
- ②天命が革まることの指摘
- ③別の姓の有徳者が王朝を樹立する
- ④平和的な禪譲と武力による放伐の指摘

問3

- ①周は氏族的な血縁関係を中心とすること
- ②西欧は個人的な契約関係によるもの

問4

- ①従来は石や木などの粗製農具であることを指摘
- ②鉄製農具（鋤鉄農具）の指摘
- ③牛に犁をひかせる牛耕（牛犁耕）の普及の指摘
- ④小家族での農業経営が可能となったことへの言及
- ⑤氏族の統制がゆるみ実力主義の風潮が台頭することへの言及

演習追加問題(魏晉南北朝～隋唐)

【1】同志社大学 法

次の文においてA〔 〕からT〔 〕については、〔 〕内の最も適切な語句・数字を選んで、その番号を記入しなさい。また(い)から(ほ)については、最も適切な語句を漢字で解答しなさい。

I. 曹操(父は後漢の有力な宦官曹騰の養子)のA〔1. 弟 2. 子 3. 甥〕の曹丕が、後漢の皇帝から皇帝位をゆずりうけて、B〔1. 華北 2. 華中 3. 華南〕で魏を建てると、

曹丕は曹操の長子。弟の曹植と父の跡目を争ってこれに勝ち、220年父の死とともに丞相となり、同年すでに有名無実の漢王室から禅譲を受けて皇帝となる。その後やはり皇帝を称する蜀の劉備、呉の孫権と抗争した。即位直前、魏の尚書陳群の議を入れて九品中世を制定した。

長江のC〔1. 上流 2. 中流 3. 下流〕域で(い孫権)が呉の国を建て、D〔1. 四川 2. 湖南 3. 江蘇〕で劉備が(ろ蜀)の国を建て、天下を三分することになった。この三国時代において魏は、やがて(ろ蜀)を滅ぼしたが、まもなく魏においてはE〔1. 大臣 2. 平民 3. 将軍〕の司馬炎が国を奪って、晋を建国した。

司馬炎は265年、父(司馬昭)の死にともない、晋王の相国(中国で宰相のこと・太政大臣、左大臣、右大臣の唐名)の地位を継承し、父祖以来の勢力地盤を利用して禅譲のかたちで魏の元帝から帝位をうばい、晋を建国した。

II. F〔1. 匈奴 2. 氐 3. 鮮卑〕の拓跋氏が建てた北魏では、建国後約G〔1. 10 2. 40 3. 90〕年後に即位した孝文帝は、均田制やH〔1. 郡県制 2. 郡国制 3. 三長制〕をしき、またI〔1. 龍門

2. 雲崗 3. 敦煌〕に近い平城から(は 洛陽)に都を移し、自民族の服装や言語をJ〔1. 改良 2. 制限 3. 禁止〕する漢化政策を打ち出した。しかしこれらの政策に反発するK〔1. 農民 2. 諸侯 3. 軍人〕の反乱をきっかけに、北魏は東西に分裂した。

六鎮の乱は孝文帝が洛陽に遷都してから、次第に冷遇されて賤民的存在と化し、中央派遣の鎮の長官に酷使されて恨みをいだくようになった軍人達の反乱であり、523年北魏軍が柔然討伐に敗退し、さらに飢饉に迫られて一斉に挙兵した。7年後鎮圧されたが、北魏衰亡の原因となった。この乱のなかから台頭した鮮卑族の将軍宇文泰らが次代の実権者となる。

III. 約L〔1. 200 2. 350 3. 450〕年余の魏晉南北朝時代において、仏教の普及にともない、M〔1. 華北 2. 華中 3. 華南〕では多くの石窟寺院がつけられた。N〔1. 呉 2. 東晋 3. 北魏〕の時代から造営された雲崗や龍門ではO〔1. 粘土像 2. 木像 3. 石像〕などによって、仏教の世界が表現された。この仏教の普及に刺激されて、このころ道教が成立した。道教は民間信仰とP〔1. 神仙思想 2. 墨家 3. 縦横家〕に道家の説を取り入れて生れた。

IV. 隋の文帝は、Q〔1. 北周 2. 陳 3. 晋〕を倒して南北を統一し、都をR〔1. 洛陽 2. 南京 3. 長安〕付近の大興城に定めた。隋は、S〔1. 秦 2. 漢 3. 南北朝〕の時代に行われた制度を取り入れ、T〔1. 租庸調制 2. 兩税法 3. 募兵制〕や府兵制などにより財政・軍事の基礎を固めようとした。隋はまた官吏任用制度において(に 九品中正 [九品官人法])を廃止し、科挙の制度をつくった。さらに文帝の子(ほ煬帝)の時に大運河が完成した。

【2】同志社大学 文 法

次の文章を読み、(a)～(o)には下の語群から最も適当な語句・数字を選び、その番号を記入しなさい(同一記号は同一語句・数字)。さらに下線部A～Eに関する問への答えを記入しなさい。

北周から出た楊堅は、581年に(3 2 a 隋)王朝を開いた。しかしA南朝最後の王朝である(2 9 b 陳)を滅ぼして南北を統一するには、なおしばらくの時間を要した。やがて(3 2 a 隋)は新たに首都、大興城を建設し、B後漢滅亡以降に各王朝で試みられた制度を採り入れて、中央集権化を

進めた。その途上で新たに生まれたのが、(17c 科挙)制度である。これは三国時代の(36d 魏)に始まった九品中正に代わるものである。この制度はその後、唐代にも受け継がれ、(2e10)世紀半ば過ぎに唐末・五代の混乱を終息させた(1f 北宋)王朝で確立することになる。そして(21g20)世紀初めに、最後の王朝である(22h 清)が倒れる直前まで、断絶もあったが、官吏登用の制度として用いられた。また(32a 隋)は、華北と江南を結ぶ交通の幹線として、大運河を開いた。これによって、江南の穀物は容易に運ばれることとなった。完成させたのは、楊堅の子で2代皇帝の(12i 煬帝)である。4世紀以来、朝鮮半島では(23j 高句麗)が北部を、新羅と(25k 百濟)が南部を支配して、三国が並立していた。(12i 煬帝)は(23j 高句麗)を討伐することを企てたが、激しい抵抗にあい、三度の遠征は失敗に終わった。こうした周辺諸国への外征や大運河を初めとするあいつぐ土木事業に対する不満が、全土で農民反乱を引き起こし、(32a 隋)は統一後わずか30年足らずで滅んだ。(32a 隋)に代わり、政権の座についたのは唐である。唐はいっそう中央集権化を進め、300年近い長い政権を保ったが、その制度の多くは(32a 隋)でも実施されていたものである。徴兵のためのc府兵制、土地制度としての(201 均田制)、穀物・絹布などの税や力役を課す租庸調制、また官吏登用法の(17c 科挙)制度などがそれである。

長期政権であった唐には、周辺諸国からの朝貢使節や商人、あるいは留学生たちが集まり、首都の(4m 長安)は国際都市となった。D 仏教はすでに紀元前後に伝えられ、国際文化の一つの象徴となっていたが、唐代には外国から別の宗教も伝わった。E ネストリウス派のキリスト教である(6n 景教)や、(18o 祆教)すなわちゾロアスター教などである。首都の(4m 長安)には、仏教寺院とともにそれらの寺院が建てられ、布教活動が行われた。

[語群]

- | | | | |
|---------|---------|------------|----------------|
| 1. 北宋 | 2. 10 | 3. 郡県 | 4. 長安 |
| 5. 呉 | 6. 景教 | 7. 洛陽 | 8. 周 |
| 9. 高麗 | 10. 白蓮教 | 11. 9 | 12. 煬帝 |
| 13. 明 | 14. 両税法 | 15. 5 | 16. 遼(契丹) |
| 17. 科挙 | 18. 祆教 | 19. 郷挙里選 | 20. 均田制 |
| 21. 20 | 22. 清 | 23. 高句麗 | 24. 回教(イスラーム教) |
| 25. 百濟 | 26. 19 | 27. 西夏 | 28. 律令 |
| 29. 陳 | 30. 渤海 | 31. 臨安(杭州) | 32. 隋 |
| 33. マニ教 | 34. 徽宗 | 35. 始皇帝 | 36. 魏 |

問A. 南朝の首都は現在のどこか。南京

問B. 後漢の初代の皇帝はだれか。光武帝 [劉秀]

問C. やがて府兵制がくずれて傭兵制度が実施された。この制度は何と呼ばれるか。募兵制

問D. 4世紀後半から5世紀前半に、仏典の翻訳に功績のあった亀茲(クチャ)出身の僧侶はだれか。鳩摩羅什 [クマーラジーヴァ]

問E. ネストリウス派は5世紀の公会議で異端とされ追放された。この公会議は何と呼ばれるか。エフェソス公会議

【3】 東京学芸大学

次の文章は、3～5世紀における漢民族と北方諸民族との関係について述べたものである。これを読んで、以下の問いに答えよ。

(a) 三国を統一し得た晋(西晋)も、それ以後の内政は不安定であった。290年に(b) 八王の乱がおこると、政治の混乱は度を加え、この機に乗じて(c) 五胡が華北に侵入した。そして永嘉の乱によって都の(1) 洛陽が奪われた。以後華北は、遊牧民が漢民族の農民を支配する五胡(d) 十六国時代となった。この分裂を統一

したのは北魏であり、5世紀半ば以降は^(e)遊牧民の漢化政策がすすめられ、都も(2) 当時 平城 (現 大同) から洛陽に遷された。^(f)均田制の実施もこの漢化政策が発展・普遍化したという性格をもっているのである。

問1 (1) と (2) に入るべき地名を漢字で記せ。(2) については当時と現在の両方の地名を記せ。

問2 下線部(a)について、晋の初代皇帝の本名と、晋が成立した経過について、あわせて30字(句読点を含む)以内で述べよ。魏の権臣司馬炎は魏の皇帝から譲位され、晋を建て武帝と称した。

問3 下線部(b)について、その内容と、それが五胡侵入の契機となった理由について、あわせて50字(句読点を含む)以内で述べよ。

武帝が一族を封じた王の中の有力な八王が、帝の死後反乱を起こし、周辺諸民族からも反乱兵を徴集したため。

問4 下線部(c)を2つの民族系統にわけ、5つのうち次に記入していない3つの民族名をそれぞれの系統のところに漢字で記せ。

系 統	民族名
モンゴル(またはトルコ)系	
羯 (羯は匈奴系とあるので) 匈奴 (を解答とするが匈奴の民族系統は不明)	
鮮卑 (トルコ系説, モンゴル系説, モンゴルとツングースとの混血説がある。)	
チベット系 氐 羌	

問5 下線部(d)について、漢民族の建てた3国と北魏をのぞく12国はいずれも短命な国であったが、これら12国の政権に共通する特徴について50字(句読点を含む)以内で述べよ。

遊牧民族の五胡が漢民族の農民を武力のみで支配したため、多くの農民は南方に逃れ、支配は永続しなかった。

問6 下線部(e)について、この政策の具体的内容を3点あげよ(本文中にある均田制の実施と洛陽遷都は除く)。

- 1 儒教を広め、政治の基本理念としようとした。
- 2 胡族の氏名を漢字で表記させようとした。
- 3 遊牧民を南方に移住させ、農耕民化しようとした。(など)

問7 下線部(f)について、これと、唐代においてより整備された均田制との相違点を3点あげよ。

- 1 北魏は妻にも給田したが、唐では原則として丁男のみに給田。
- 2 北魏では耕牛や奴婢にも給田したが、唐ではなし。
- 3 北魏では露田、桑田、麻田のように作物を指定する田を給したが、唐では指定なし。(など)

【4】 学習院大学 文

次の主題について、与えられたキーワードをすべて用い、200字以内で歴史的に論述しなさい。なおキーワードには下線を付しなさい。句読点は1マスに1つずつ、数字は1マスに2字まで入れなさい。

A トルコ系騎馬遊牧民と中国王朝との政治的関係 キーワード：突厥・ウイグル・唐

6世紀、中央アジアのトルコ系騎馬遊牧民の突厥は、モンゴル高原に勢力を拡大したのち(同世紀末に)東西に分裂した。東突厥は、中国を再統一した隋と対立、隋末の混乱期には唐建国を援助した。しかし7世紀後半、東突厥は唐の高宗の攻撃を受けこれに服属、(西突厥は高宗により滅亡)8世紀半ば、同じトルコ系のウイグルに滅ぼされた。モンゴル高原を支配したウイグルは、唐で安史の乱が起こるとその鎮圧に協力したが、その後は絹馬貿易などをめぐりしばしば唐を圧迫した。

早慶の過去問からの発展・応用(魏晉南北朝～隋唐)

【1】 早稲田大学 法学部

以下の隋唐史に関する文を読み、それぞれの設問に対して解答を一つ選べ。

A

魏晉南北朝の分裂状態を收拾したのは楊堅(文帝)である。彼は隋を建国し、589年に南北を統一した。文帝は中央集権の確立につとめ、諸制度を整備した。中でも学科試験による官吏任用制度は門閥貴族の高級官職独占を防止し、皇帝権力の強化をめざすものであった。煬帝は文帝の諸事業を継承し、大運河を完成させ、江南と華北を結びつけて、南北統一事業を推進した。

設問1 下線aの「江南」に関して、誤った記述はどれか。

- ① 孫権は劉備と連合し、赤壁で曹操軍を破り、江南に勢力を確立した。
- ② 東晋の成立後、五胡十六国の混乱が続く華北から江南へ移住が急増した。
- ③ 宋代では長江下流域で墾田等が造成され、集約的な稲作が行われた。
- ④ “湖広熟すれば天下足る”とは、宋代に長江下流域の米生産が中国農業の中心となったことを示す言葉である。

B

隋の高句麗遠征が失敗すると、李淵が隋末の混乱に乗じて挙兵し、唐を建国した。李世民(太宗)の治世は“貞観の治”として知られ、隋の制度を受け継ぎ、諸制度が整備された。唐は中央政府に三省六部を中心とする官制をしき、地方には州県制をしいた。成年男子には土地を支給し、税や兵役を課した。

設問2 下線bの太宗李世民的対外活動に関するものはどれか。

- ① 突厥が東西に分裂すると、東突厥と結んで西突厥を圧迫し、両者の離間策につとめた。
- ② 東突厥を滅ぼし(征服し羈縻政策下におく)、吐蕃を服属させ、西域諸国を従えた。
吐蕃はソンツェン＝ガンボによって国家としての制度が整い、その没後まもなく千戸編成による軍事国家組織が整えられた。まず吐谷渾を併合し、その旧権益の継承をめぐる唐と対立、戦線を西域、雲南に拡大した。8世紀初めの小康状態を経て、河西回廊地帯に攻撃を再開し、安史の乱に乗じて763年10月長安を一時占拠、782年唐側からの提議で和平が成立した。しかし唐側が報酬を渋ったため、再び攻撃を開始し、786年敦煌を落した。唐蕃会盟碑は唐と吐蕃間で行われた会盟(和平協定)を記念し、823年に国境と両都に建てられたとされる石碑である。唐、吐蕃関係の推移や会盟の経緯、国境画定、平和の誓約、参会者の官職、姓名などが漢文、チベット文両語で刻まれている。
- ③ 百済・高句麗を滅ぼし、西突厥・ヴェトナムを討って唐の最大領域を実現した。高宗時代
- ④ アラブ軍とタラス河畔で戦い、敗れた。玄宗時代

設問3 下線cの中央官制について誤っているものはどれか。

- ① 門下省は詔勅や奏文を審議する機関。
- ② 中書省は詔勅を立案起草する機関。
- ③ 尚書省は詔勅を実施する機関。
- ④ 六部は門下省に属する機関。

C

高宗の末年、皇后の武氏が実権を握り、高宗の死後自ら即位して周を建国した。この時代は政治の担い手が貴族から科挙官僚へ転換してゆく大きな転機となった。後に中宗が復位して唐は復活したが、中宗は皇后に毒殺され、政治は混乱した。8世紀初めに即位した玄宗は、政治の引き締め努力したが、均田制・租庸調制・府兵制の崩壊を食い止めることはできなかった。

設問4 下線dの玄宗時代における芸術家に関する説明で、誤っているものはどれか。

- ① 詩人の李白→白居易は、玄宗と楊貴妃の悲恋をうたった「長恨歌」が有名である。

- ② 詩人の杜甫は、一生不遇で、社会の現実をうたった作品が多い。
- ③ 画家の呉道玄は、線の太さで量感・立体感を表す新技法を生み出した。
- ④ 書家の顔真卿は、王羲之以来の書風を一新し、楷書・草書に新書風を開いた。

設問5 下線 e の唐の均田制に関して誤った記述はどれか。

- ① 口分田は世襲が認められた。 ② 永業田は世襲が認められた。
- ③ 妻や奴婢には給田されなかった。 ④ 高級官吏に与えられる官人永業田があった。

D

安史の乱が起こると、唐はウイグルの援助を得て鎮圧した。この戦乱を通じて、節度使の地方支配はいっそう強化され、さらにウイグルや吐蕃の侵入も重なり、唐が直接統治する領土は縮小した。徳宗は楊炎の献策により、① 両税法を実施し、国家の再建に努力した。黄巢の乱が起こると、反乱は全国に拡大し、反乱軍の武将から寝返って唐から節度使の地位を与えられた朱全忠が帝位につき、② 唐は滅亡した。

設問6 下線 f の両税法も含む中国歴代王朝の税制に関して、誤っているものはどれか。

- ① 唐の租庸調制は、均田制に対応した税制で、租は田地の税、庸は労役、調は絹・マワタなどその土地の産物を課した。
- ② 両税法では、夏と秋の二回に分け、戸籍に登録された土地所有者の財産に応じて課税した。
- ③ 一条鞭法は土地税と人頭税などを一括して銀で納めるもので、まず江南で施行され、後に全国に波及した。
- ④ 地丁銀制は人頭税の中に土地税を繰り込み、一括して銀で納めるものである。

設問7 下線 g の唐末から五代にかけての東アジア世界の動向を述べた文中で、誤っているものはどれか。

- ① 遼河上流域に起こった契丹では、耶律阿保機が遼を建国し、渤海国を滅ぼして東北地方東部を支配下に入れた。
- ② 朝鮮半島では新羅にかわって王建が高麗を建国し、都を慶州→開城とした。
- ③ 雲南では南詔から大理国へ政権が交代した。
- ④ ヴェトナムでは李氏が大理国を建て、ハノイを都とした。

E

唐代では仏教が盛んで、則天武后時代に最盛期を迎えた。① 唐初では玄奘や義浄がインドへ求法の旅に出て、多くの仏典を中国にもたらし、それを漢訳して中国仏教の発展に寄与した。インドからも僧がやってきて中国仏教界に活気を与えた。一方、イスラーム帝国の勃興と東西交通の発達によって、西方からゾロアスター教、マニ教、② ネストリウス派のキリスト教などの外来宗教が伝来した。

設問8 下線 h の求法僧やインド僧に関して正しいものはどれか(唐代に限らない)。

- ① 東晋の法顕は、往路は陸路でインドに渡り、海路で帰国し、『仏国記』を著した。
- ② 玄奘はグプタ朝のインドに渡り、その旅行記が『大唐西域記』である。
- ③ 義浄は海路でインドに渡り、帰路、スマトラ島のシャイレンドラ朝で『南海寄帰内法伝』を著した。
- ④ 仏図澄は建康に迎えられ、布教につとめ、六朝仏教の発展に寄与した。

仏図澄は五胡十六国時代の僧で 78 歳のとき洛陽に行き、布教に尽力。後趙の王に信奉されて顧問となり、軍政にも参画し、北方民族を仏教文化と神異霊験によって教化した。後趙王石勒、石虎を教化し、それまで許されなかった漢人の出家を許すように努力した。門下に道安ら東晋時代を代表する僧がいる。

設問9 下線 i のネストリウス派のキリスト教に関して誤っているものはどれか。

- ① キリスト教の一派で、エフェソス公会議で異端とされた。
- ② ササン朝を中心に東方へ伝播し、唐代、イラン人によって伝えられた。

③ 唐代、各地に清真寺が建てられた。

清真寺とは中国におけるイスラーム寺院の呼称であり、礼拝寺ともいう。中国のイスラーム寺院は唐朝に初めて建立されたが、現存する最古のものは広州の懐聖寺や泉州の清浄寺など宋・元代のものもあるが、多くは明以後に建立された。外観は多く仏教寺院に類似しているが、内部は偶像のない大広間となっている。清真教とは中国におけるイスラーム教の呼称であり、回教、回々教、その教徒は回々、回教人、東干、漢国などと呼ばれていたが、元の順宗のときに勅許を得て、清真教と呼ばれるようになった。

④ 唐の徳宗のとき、大秦景教流行中国碑が建立された。

【2】 早稲田大学 法学部

以下の文を読み、それぞれの設問に対して解答を一つ選べ。

新末の反乱、およびそれに乗じて起こった豪族の蜂起などによる混乱を収め、劉秀は漢を再興した。これが後漢の光武帝である。aその後数代を経て幼少の皇帝が続くと、外戚と宦官が政権を争って政治が乱れた。地方では豪族が農民を圧迫し、各地で反乱が絶えなかった。かくて、b黄巾の乱が起こると、後漢は事実上崩壊し、豪族は互いに地方政権を建てて争った。こうした中で三国分立の新形勢を切り拓いたのは、これらの豪族勢力を結集した人々であった。曹操は後漢最後の献帝を擁立して華北の大部分を平定し、子の曹丕は献帝の禅譲を承けて、c魏を建国した。劉備は諸葛亮を軍師に招き、蜀を建国した。孫権はd江南をおさえて呉を建国した。三国中で最も強盛だった魏は、蜀を滅ぼした。しかし、権臣の司馬炎は禅譲の名の下に魏を奪い、晋を建国した(西晋)。西晋の武帝は呉を滅ぼして三国時代に終止符を打ち、一時的に中国を統一した。しかし、八王の乱が起こり、諸王が周辺諸民族の兵力を導入したため、彼らの中原進出を誘発した。その先駆をなす匈奴は西晋を滅ぼし、つかの間の統一の後、中国は再び分裂時代に戻った。e建康に派遣されていた司馬睿は、華北から退避した貴族や江南の土着豪族らに擁立され、晋を再建した(東晋)。晋の南渡後、華北は諸民族が漢人と入り乱れて政権を建て、興亡を繰り返した。西晋の滅亡から鮮卑の北魏による華北統一までの135年間を五胡十六国時代と呼ぶ。華北統一を果たした前秦は、南北統一をめざして南下したが、淝水の戦いで東晋に破れ、崩壊した。f華北の混乱は、北魏によって收拾された。江南では東晋の武将がこれを奪って宋を建国し、こうして南北で王朝がそれぞれ交替しながら相対立する南北朝時代となった。北魏の孝文帝は、徹底した漢化政策を実施して華北を統治した。彼の死後、北魏は東西に分裂した。さらに西魏は北周に、東魏は北斉に交替し、北周が北斉を滅ぼして華北を再統一し、その統一はg隋に国家を奪われるまで続いた。南朝では宋以後、短命な諸王朝が交替したが、h隋は589年に陳を征服し、かくて黄巾の乱以来のi中国の大分裂時代は終わった。

設問1 下線 a の第四代和帝のとき、西域経営で活躍した人物は誰か。

- ① 班超 ② 張騫 ③ 班固 ④ 衛満

設問2 下線 b の黄巾の乱が起こった年はどれか。

- ① 25年 ② 184年 ③ 220年 ④ 290年

設問3 下線 c の魏の都の洛陽に関して、誤っているものはどれか。

- ① 周の東遷で東周の首都となった洛邑は現在の洛陽である。 ② 後漢の首都である。
③ 西晋の首都である。 ④ 隋の首都=大興城である。

設問4 下線 d の江南に関して、誤った記述はどれか。

- ① この一帯がはじめて中国文化圏に入ったのは春秋時代からである。
② 晋の南渡以来、人々が南下し、江南と華北の人口比はほぼ同等となった。
③ “南船北馬”とは、江南と華北の地理的相違を交通手段によって表現したものである。
④ 隋の大運河は華北と江南を結ぶ大動脈として利用されたが、唐では海路が主流だった。

江南=茶、綿花、稲作の栽培増加し、唐代でも運河の利用大(転運使=開元の頃、初設)

設問5 下線 e の建康(建業)に都した六つの王朝の文化(六朝文化)に関して、誤った記述はどれか。

- ① 中国の伝統文化は江南において保持され、発展した。
- ② 正史『三国志』は魏を、漢を継ぐ正統とする立場で書いている。

『三国志』は三国時代の史実を記した正史であり、晋の陳寿撰である。魏書 30 卷、蜀書 15 卷、呉書 20 卷の全 65 卷。この書はもともと陳寿が私撰したもので、官撰の国史ではなかった。それだけに著者の史観や史才が制約を受けることなく発揮されている。陳寿の死後正史とされた。宋の朱熹の『資治通鑑綱目』はそれを不満として蜀を正統と定めた。

- ③ 儒教では訓詁学が尊ばれた。

清談=老荘思想に基づく哲学論議。儒教が衰え、世俗を超越した個人主義・虚無主義な論議が流行。

- ④ 清談家としていわゆる竹林の七賢が有名である。

設問6 下線 f の北魏に関して、誤っているものはどれか。

- ① 北魏は太武帝によって建国された。

鮮卑族の拓跋珪が建国。(都を平城に設置) 3代太武帝が439年華北統一

- ② 太武帝は三武一宗の法難に数えられる仏教弾圧を行った。
- ③ 寇謙之が確立した新天師道は、北魏の国教となった。
- ④ 北魏では地理書の『水経注』や現存する中国最古の農書の『齊民要術』などが著された。

設問7 下線 g の隋に関して、誤った記述はどれか。

- ① 北周の外戚楊堅は禅譲の手続きを経て隋を建国した。これが隋の文帝である。
- ② 文帝は魏に始まる九品中正を廃止し、学科試験による官吏任用制度を採用し、殿試の制度を導入した。 殿試は宋代(士大夫階級の形成)
- ③ 煬帝の三回にわたる高句麗遠征はすべて失敗した。
- ④ 府兵制は西魏・北周を経て隋で整備された兵農一致の軍事制度である。

設問8 下線 h の年代より後の出来事はどれか。

- ① 邪馬台国の卑弥呼が魏に朝貢する。
卑弥呼は、239年6月に、難升米らを帯方郡に派遣し、さらに魏の朝廷に朝貢することを願い出させた
- ② インドにヴァルダナ朝が起こる。ハルシャ=ヴァルダナ王(在位 605or606~646or647年。
- ③ 西アジアにササン朝ペルシア(224~651)が起こる。
- ④ 西ローマ帝国(395~476)が滅亡する。

設問9 下線 i の中国の分裂に関して、誤った記述はどれか。

- ① 春秋・戦国時代は最初の分裂時代であったが、同時に社会・経済の面での大きな転換期でもあり、鉄製農具・青銅貨幣などが登場し、各地に大都市がおこった。
- ② 戦国の七雄とは、秦・楚・燕・斉・韓・魏・趙である。
- ③ 五代とは後梁・後唐・後晋・後漢・後周である。
- ④ 後梁の石敬瑭は契丹の援助を受けて建国し、そのため契丹に臣礼をとり、燕雲十六州を割譲した。

	後梁 (907~923)	朱全忠	開封 (汴京)	運河の要地
突厥 出身 王朝	後唐 (923~936)	李存勖	洛陽	
	後晋 (936~946)	石敬瑭	開封	※燕 (北京) 雲 (大同) 十六州 [契丹の支配領域] 問題
	後漢 (947~950)	劉知遠	開封	
	後周 (951~960)	郭威	開封	[∴955年、2代世宗は最後の仏教弾圧を実施]

【3】 慶應義塾大学 文学部

次の文章は、漢代から唐代にかけての道教と仏教の展開について述べたものである。

これを読んで(A)から(J)までの空欄に最も適切な語句を記入しなさい。また、下線部①～⑤に関する設問に答えなさい。なお解答は数字をのぞき、すべて漢字で表記しなさい。

道教は、中国古代に流行した神秘思想である(A 神仙)思想などの民間信仰が混ざりあってできたものである。(A 神仙)思想が秦の始皇帝や漢の武帝に強い影響を与え、彼らを不老不死の追求に走らせたことは、古くから人々に知られた事実であろう。これに対し仏教は、言うまでもなく中国の外部から流入した宗教である。仏教の伝来ルートとしては、漢の武帝の匈奴討伐によって開かれた、いわゆるシルク・ロードが、その初期には主要な道筋であったが、のちにはインドからマレー半島、ベトナムを經由して、中国の南部の広州や、長江下流域の揚州に到達する南海ルートも、大きな役割を果たすようになった。

道教が組織化され、仏教が中国に受容されたのはともに後漢の時代と考えられる。道教の組織は、後漢後期の不安定な社会情勢の中で次々と反乱を起こしたが、なかでも(B 張陵)が四川省で結成した五斗米道による反乱や、(C 張角)が創始した太平道が(D 184)年に起こした黄巾の乱は王朝の屋台骨をゆるがせた。なお、五斗米道は病気の呪術的な治癒をこととし、その代償に米五斗を出させたことにその名の由来がある。他方、太平道の名前は(C 張角)が信奉した経典である『太平清領書』によっている。

さて、このような時代、仏教は道教の神秘思想にもたれかかる形で広がっていったものの、魏晉南北朝時代にはいると、次第にその独自の形を整えはじめた。これには後趙につかえた(E 仏図澄)や、中国人僧侶である①慧遠とも交遊のあった(F 鳩摩羅什)らの外国人僧侶による仏典の翻訳などが、あずかって力があつた。また慧遠は中国南方の廬山で極楽往生を説いたが、仏教と道教の二道は山岳と密接な関係を持ち、道教にあっては東晋の(G 眞洪)が『抱朴子』のなかで、山中での修業の重要性を説き、

『抱朴子』は晋の道士葛洪の著書名であり、葛洪は「道教は本、儒教は末」という儒、道二教併用の思想を持ち、仙人の實在、仙薬のつくり方、修道法、道教の教理などを論じ、道教の教義を組織化したものとされ、一方、儒教の立場からの世事、人事に関する評論を著した。

さらに実際に嵩山で修業した(H 寇謙之)は新天師道をひらいた。『魏書』によると、嵩山で修行にはげむ彼のもとに老子が竜にまたがって降臨して教えを受け、それによって彼は、新天師道をひらくことを決意したといわれている。

寇謙之は北魏の道士であり、新天師道の創始者。新天師道は、国家の公認を得た最初の道教教団である。嵩山で修行中、415年に太上老君という天神から、原始道教(天師道)改革のお告げと『雲中音誦新科之誡』を授かる。424年に仙人李譜文から『録図真經』と布教のお告げを受け、それに従って、嵩山を出て国都に行き、即位した太武帝に道書を献上し、その尊信を受けた。442年に新天師道は国教的地位を獲得した。

なお中国には古くから、中国の東西南北と中央の五つの地点に、神聖な山岳を配してこれを尊ぶ習慣があつた。なかでも嵩山は中国の中央に位置する中岳として人々の崇拝を集めていたから、ここが道教の聖地となったのも、まことに自然ななりゆきと言えよう。

南北朝時代には仏教の隆盛にもなって、各地で仏寺や石窟がさかんに造営された。ただし興味深いのは、江南ではわずかな例外をのぞいて、石窟寺院は営まれなかったことである。そこでここでは中国北部の例をみてみよう。たとえば北魏では太武帝の治世に大規模な②廢仏政策がとられたものの、それもやがて終息した。文成帝が僧侶の曇曜に命じ、都の(I 平城)から15キロメートルのところに掘削させた雲崗石窟はとくに有名である。ただしこの石窟の造営は、(J 孝文帝)が採用した積極的な漢化政策のあおりを受けて、都が洛陽に移った時点で終わりを告げた。雲崗石窟の最終的な規模は大小

四十窟あまりであり、仏像にはガンダーラ・グプタ様式の影響が濃厚ににじみ出ているとされている。

続く隋唐時代には、仏道二教は国家宗教的な体裁をとりながら、一部の時期を除いて共存共栄の関係を維持し続けた。まず道教であるが、唐代には国教化されるにいたった。さきに新天師道のところでみたように、老子は道教の始祖として、道教のなかで重要な地位を占めており、さらに③唐の皇帝の姓が老子の姓と一致していたため、唐の皇帝は老子の子孫とみなされた。このような事情があつて、道教は国家宗教にまで祭りあげられたのである。他方、仏教の興隆にあたっては、④玄奘や⑤義浄といった僧侶がインドに旅立ち、『大菩薩藏経』や『顕揚聖教論』といった大量の経典を持ち帰ったことが、大きな貢献として特筆されるべきであろう。このようにして仏教と道教は、中国人の生活に深く根をおろしてゆき、現在にいたるもなお、多くの人々の崇拝の対象となっているのである。

設問

- (1) 下線部①について、彼が信者とともに結成した結社の名前は何か。 **白蓮社**
中国、東晋の僧慧遠が、402年、みずから創建した廬山の東林寺において、僧俗知識人の同志123人とともに、阿弥陀浄土への往生を誓願した念仏結社であり、寺のかたわらの池に白い蓮を植えたので〈白蓮社〉とよばれたという。この結社は、後世に深い影響を与え、宋代以後、各地に念仏結社が組織され、朝鮮や日本にもこの結社の風が伝えられ、京都鹿ヶ谷の法然院はその一つである。
- (2) 下線部②について、これを含め、前近代の王朝でとられた廃仏政策を総称して何と呼ぶか。
三武一宗の法難
- (3) 下線部③について、この姓は何か。 **李(姓)**
- (4) 下線部④について、彼がのこした旅行記の名前は何か。 『**大唐西域記**』
- (5) 下線部⑤について、彼がのこした四巻からなる旅行記の名前は何か。 『**南海寄帰内法伝**』

【4】 早稲田大学 文化構想

以下の文章を読んで、設問 1～6 に答えなさい。

隋末の乱に乗じて、山西の太原を拠点としていた李淵は長安を占領し、618年帝位につき、長安を都と定め、国名を唐と号した。次子の李世民はその兄と弟を殺してあとを嗣ぎ、全国を統一し、a 律令制を整え、唐朝の基礎を固めた。その治世は(あ 貞観の治)と称えられている。太宗から高宗の時代に、b 突厥、西域諸国、百濟、高句麗などを討って領土を拡大し、唐は世界的な大帝国へと発展した。

高宗の末頃から均田制の動揺がはじまり、高宗の皇后武氏(則天武后)は高宗の死後、中小官僚・新興地主などの支持を背景に政権を奪い、帝位について国名を周と号した。その後、武後の老衰によって中宗が復位し、唐が復活したが、その中宗も皇后の韋後に殺された。李隆基(後の玄宗)はクーデタによって韋后を倒し、混乱に終止符を打った。c 玄宗の治世の前半は(い 開元の治)と称えられ、唐の支配体制が再建された。

しかし玄宗末年になると安史の乱が起こり、節度使を内地に置いて各地の防衛にあたらせたが、節度使は強大な地方政権となり、しばしば反乱を起こした。こうして均田制の崩壊は決定的となり、塩の専売や両税法が施行された。これらの財政措置の結果、憲宗期の中興もみられたが、中央では宦官の専権や官僚の党争がつづき、地方では農民の没落が進み、d 黄巢の乱が起こると唐はその混乱の中で滅亡した。

設問 1 空欄(あ)に入る最も適切な語句を記入しなさい。

設問 2 空欄(い)に入る最も適切な語句を記入しなさい。

設問 3 下線部 a に関連する記述の中で、誤っているものを一つ選べ。

ア 律は刑法、令は行政に関する規定、格は施行細則、式は追加規定である。

律は笞，杖，徒，流，死の5刑を中心とする刑法，令は官制，行政法規を主体とする行政法，格は詔勅のなかで永制として定着すべきものを法典化したもので，律令に対し改訂，追加法の役割をにない，式は主として令の細則である。

イ 三省は中書省・門下省・尚書省をさし，六部は吏・戸・礼・兵・刑・工の各部をさす。

ウ 官吏任用には隋が始めた科挙を継承し，科目には秀才・明経・進士などがあつた。

エ 均田制では一定年齢の男子に口分田と永業田を給し，税として租庸調を課した。

設問4 下線部bに関連する記述の中で，誤っているものを一つ選べ。

ア 6世紀中頃，突厥は鮮卑→柔然を滅ぼし，北方アジアに大帝国を樹立した。

イ 6世紀末，突厥は内紛で東西に分裂した。

ウ 東突厥は太宗のとき唐に服属し，その後再興したが，ウイグルに滅ぼされた。

エ 西突厥は高宗のとき唐軍に討たれ，7世紀末に滅亡した。

設問5 下線部cの時代に始まる制度を一つ選べ。

ア 府兵制

イ 州県制

ウ 殿試

エ 募兵制

設問6 下線部dの反乱に参加し，唐に降った後，唐を倒した人物が樹立した国家を選べ。

ア 後唐

イ 後梁

ウ 後周

エ 後晋

【5】 早稲田大学 国際教養

以下の文章を読み，各設問に答えなさい。

中国では，魏晋南北朝の分裂時代をへて，6世紀末に隋によって統一政権が樹立された。しかし，その急速な¹統一政策は，²各地の反乱を招き，隋は三十数年で崩壊して唐が成立した。唐は³高祖・太宗期に国内統一を達成し，中央の⁴三省六部を中心に中央集権体制を完成させた。続く⁵高宗期にはさらに対外的優位を進展させ，⁶仏教文化が花開き，仏教は則天武后によって保護された。しかし，武后・韋后一族によるいわゆる⁷武韋の禍によって朝廷の政治は混乱し，玄宗が即位して建て直しがはかられた。玄宗の時代には一時的に安定期を迎えたが，8世紀中葉に⁸タラス河畔の戦いに破れて唐は中央アジアにおける支配力を失い，そのうえ⁹安史の乱が勃発するに至り，唐の求心力は急速に衰えた。なんとか滅亡を免れた唐政権であったが，その後は節度使が国内に割拠する地方分権的な藩鎮体制によって維持される形勢となった。王朝初期からの租庸調制は運営できず，かわって国家歳入確保のために¹⁰両税法が施行された。9世紀半ばには会昌の廢仏がおこって仏教は弾圧され，宗教対立による社会的混乱を招いた。以後は中国各地で発生した反乱を鎮圧できず，やがて¹¹黄巢の乱によって唐は決定的な打撃を受け，10世紀初頭に¹²後梁に政権を奪われ，中国は五代十国時代を迎えた。

問1 下線1に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 文帝は新都大興城の建設に着手した。

イ 大運河は文帝時代に永濟渠が，煬帝時代に江南河が開通した。

ウ 文帝は後の科挙に受け継がれる官吏登用制度を始めた。

エ 煬帝は複数回にわたって高句麗遠征を行った。

問2 下線2の隋末の乱は山東地方からおこったが，次の反乱のうち長江以南の地域からおきたものを一つ選びなさい。

ア 黄巾の乱 イ 赤眉の乱 ウ 李自成の乱 (陝西地方に大飢饉が起ると飢民は暴動勃発)

エ 太平天国の乱

問3 下線3に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 高祖は山西の太原で挙兵し，長安に入城して唐を建国した。

イ 太宗は，玄武門の変で兄弟を殺害して即位した。

ウ 唐では太宗時代に初めて河西節度使が設置された。

節度使は710年初めて西北地区(河西節度使)に設置され，8世紀前半には，辺境に10節度使が

出現し、安史の乱で内地にも列置されるようになるとともに民政も掌握し、以来2世紀にわたって存続した。玄宗即位の2年前である。

エ 太宗は東突厥を服属させ、唐の支配力はモンゴル高原に及んだ。

問4 下線4に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 中書省は皇帝の詔勅の立案起草を担当した。

イ 門下省は中書省起草の詔勅を審議した。

ウ 尚書省は御史台を管轄し、貴族勢力の拠点となった。

エ 六部は行政を担当し、明・清などの王朝に受け継がれた。

問5 下線5の時代のできごとに含まれないものを次のうちより一つ選びなさい。

ア 百済の滅亡 イ 安東都護府の設置 ウ **日本の遣唐使派遣開始**

エ 西突厥への軍事攻撃

遣唐使は国際情勢や大陸文化を学ぶために、十数回にわたって日本から唐へ派遣された公式使節であり、大使・副使らふつう5, 6百人が数隻の船に分乗して、2, 3年がかりで往復した。630年犬上御田鍬が派遣されたのが最初である。唐末の戦乱のため、894年菅原道真の提議により廃止された。

問6 下線6に関連して、7世紀に海路でインドに渡り、『南海寄帰内法伝』を書いた僧侶の名を記述解答用紙に漢字で記入しなさい。 **義浄**

問7 下線7に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 則天武后は中国史上唯一の女性皇帝とされる。

イ 則天武后は門閥貴族の支持を背景に実権を握った。

ウ 則天武后は国号を周と改称した。

エ 韋后は夫の中宗を毒殺したが、後の玄宗に倒された。

問8 下線8の戦いで唐軍を破ったイスラーム王朝を一つ選びなさい。

ア **アッバース朝** イ ウマイヤ朝 ウ ティムール朝 エ ブワイフ朝

問9 下線9に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 反乱の首謀者安禄山はソグド系の血を引くとされる。

イ 乱に乗じてチベット系の吐谷渾→吐蕃が一時長安を攻略した。

吐谷渾は4世紀初め頃、鮮卑の一部が西方へ移り青海地方に拠って土着の羌（チベット系）を支配した国。663年吐蕃に滅ぼされた。

ウ 玄宗は、混乱を逃れ、四川に避難した。

エ ウイグルは反乱鎮圧のための援軍を唐に送った。

問10 下線10の税制を献策した宰相の名を記述解答用紙に漢字で記入しなさい。 **楊炎**

問11 下線11に関連する記述として誤りを含むものを一つ選びなさい。

ア 黄巢は塩の密売商人であったとされる。

イ 黄巢は王仙芝の乱に呼応して挙兵した。

ウ 黄巢は開封で即位して国号を大齊と称した。

エ 黄巢は中国各地を移動し、反乱は広範囲に及んだ。

黄巢は流亡農民や浮浪者まで吸収して略奪活動を展開、江南から華南にまで大移動を行い、880年には洛陽、長安の両都を陥れ、みずから政権を立て国を大齊、年号を金統と称し、降伏した唐の官吏をも用いて支配を固めようとした。しかし経済的基盤を欠き、唐朝の動員したトルコ系の李克用らの討伐軍によって打ち破られ、883年には長安から東方へ退却し、山東の泰山付近で敗死。のちに唐朝を滅ぼし五代の後梁を建てた朱温（→朱全忠）も黄巢集団に属した経歴をもつように、この乱は下剋上の気風を昂揚させ、古代的な唐朝を崩壊させる重要な契機となった。

問12 下線12を建国した武将の名を記述解答用紙に漢字で記入しなさい。 **朱全忠**

【6】 早稲田大学 教育

中国の気候風土は、ユーラシアの乾燥地帯に属する華北と、モンスーン帯に属する江南とに分けられ、華北では粟を中心とする畑作農耕が生活文化の基盤となり、一方江南では稲作が基盤となった。この風土の違いのために、中国史はしばしば南北で分立する傾向を示す。五胡諸国と東晋およびそれに続く南北朝の時代、また金と南宋が並立した時代は、その典型である。このうち、江南の歴史・文化に関する以下の設問 A, B に答えなさい。

設問 A 次の問い(1)～(10)に答えなさい。解答は a～d の中から選べ。

- (1) 東晋より帝位を禅譲され、南朝 4 王朝の最初の皇帝となったのは誰か。
a 劉淵 b 劉秀 c 劉邦 **d 劉裕**
 - (2) 南朝 4 王朝の正しい時代順はどれか。
a 梁→齊→陳→宋 **b 宋→齊→梁→陳** c 陳→梁→齊→宋 d 齊→陳→宋→梁
 - (3) 南朝は、長江中流域から下流域にかけての地域を主たる支配領土とした。次のうち、南朝と北朝の抗争上の要衝となった長江中流域の都市はどれか。
a 雲州 b 益州 **c 荊州** d 蘇州
- 荊州は湖北省中部の都市で沙市区と荊州区からなる。長江水運・南北交通の要地。
- (4) 「竹林の七賢」は、竹の植生から江南の伝承とされる。次のうち、竹林の七賢に含まれない者は誰か。
a 王戎 b 嵇康 c 阮籍 **d 張角**

竹林の七賢は中国、3 世紀後半に河南省の竹林に集って遊んだ阮籍、王戎、山濤、向秀、嵇康、劉伶、阮咸の 7 人から成るグループをさす。彼らは、老荘道家の思想の影響を受けて、礼教を軽視し、世俗に背を向けて、竹林で気ままな生活をおくったと伝えられる。虚無厭世家のグループともいわれ、清談の象徴的人物とみなされている。しかし、そのような見方は、西晋の滅亡の原因を道家思想に転嫁しようとしたときに生れた虚構の伝説である。実際には、七賢の大部分は高級官僚としての定職にあったのであり、グループとして竹林に遊んだという史実は見出せないし、竹の林は北中国には存在しない。しかし、後世になると、世俗のわずらわしさから逃れて生きた賢者のグループとして、中国人の生き方の一つの理想像となった。

- (5) 次の東晋・南朝の文化に関する説明のうち、誤りを含むものを選べ。
a **謝靈運は、山里の理想郷を思い求め、「桃花源記」を著した。**
b 梁の昭明太子は、優れた詩文を集めて『文選』を編纂した。
c 顧愷之は、女官の模範的生活を「女史箴図」に描いた。
d 文人の間では、対句と押韻を用いた典雅な文体が流行した。

桃花源記は中国、東晋末～宋初の詩人 陶淵明 の散文作品。武陵（湖南省）の漁夫が舟に乗って道に迷い、桃の林のなかを行くうちに異境に達したが、それは秦の頃、戦乱の世を逃れてきて、外界との接触を絶っている人々の村であったという。「桃源境」という語の由来ともなり、古代ユートピア思想の一典型として、後代に大きな影響を与えた。もと『桃花源詩』という五言詩につけられた記であるが、陶淵明の著とされていた志怪小説集『搜神後記』にも収められており、この時代の散文文学の傑作の一つ。

- (6) 北宋滅亡後、南に逃れて南宋を建て、初代皇帝となったのは誰か。
a 徽宗 b 欽宗 **c 高宗** d 哲宗
- (7) 次の南宋期の江南経済に関する説明のうち、誤りを含むものを選べ。
a 湿地帯を堤防で囲んで干拓する围田や圩田が発達した。
b 占城稻が伝来し、水田地帯に広く普及した。
c 長江下流域の稲作生産量が上がり、中国農業の中心となった。
d 大荘園が経営されたので、政府は占田法・課田法を發布して土地所有を制限した。

(8) 南宋は、南朝とは違って中国南岸の海港都市にまで支配力を及ぼした。次の南宋期の海上貿易に関する説明のうち、誤りを含むものを選べ。

a 景德鎮で生産される良質の陶磁器は、海外にも輸出された。

b 南シナ海・インド洋海域諸国からは、象牙・玳瑁・沈香などが輸入された。

c アラブ商人は、ジャンクを駆使してインド洋貿易を行った。

ジャンク船は中国型帆船。中国の沿岸、河川、湖沼に広くみられる貨客用運送船。船内は多数の水密隔壁で縦横に仕切られており、船首から船尾に貫く縦通材のないのが特色。

d 明州(寧波)は南海貿易だけでなく、日宋貿易の拠点としても繁栄した。

(9) 雲南で栄え、宋とも貿易したが、後にモンゴル軍によって征服された国はどれか。

a 大理 b 南詔 c 靺鞨 d 林邑

(10) 南宋では院体画・文人画の絵画芸術が栄えた。次のうち、南宋期の画家でない者はどれか。

a 夏珪 b 蘇軾 c 馬遠 d 梁楷

蘇軾は北宋の詩人・文章家。唐宋八家の一人。父の洵、弟の轍とともに三蘇と呼ばれる。王安石と合わず地方官を歴任、のち礼部尚書に至る。新法党に陥れられて瓊州・惠州に左遷される。

設問 B 次の問い(i), (ii)の解答を、記述解答用紙の所定欄に全て漢字で記入しなさい。

(i) 南朝 4 王朝の都は、いずれも現在の南京に置かれた。当時のこの都市の名称を記せ。 建康

(ii) 黄河と長江の間を東流し、華北の畑作地帯と江南の稲作地帯との境界をなし、金と南宋の和議においても両国の国境とされた河川の名を記せ。 淮河

ギリシア史

【1】 学習院大学 文

次の主題について、与えられたキーワードをすべて用い、200字以内で歴史的に論述しなさい。なおキーワードには下線を付しなさい。句読点は1マスに1つずつ、数字は1マスに2字まで入れなさい。

アテネの民主政の変容 キーワード： ペロポネソス戦争・デマゴーゴス・ペリクレス

ペルシア戦争後アテネでは、無産市民の政治的発言権が高まり、成年男子市民全てが参加できる民会が最高議決機関となった。前5世紀半ばには、ペリクレスの指導下、市民の平等な政治参加を原則とする古代民主政が完成した。しかし同世紀後半、ペリクレスが死に、スパルタとのペロポネソス戦争の戦局が悪化するなか、デマゴーゴスの扇動で市民の利害対立が激化、民会が政治的決定機関として有効に機能せず、衆愚政治の状況に陥った。

【2】 津田塾大学 学芸

次の文を読み、設問に答えなさい。

国際オリンピック大会は、スポーツの交流を通じて平和な世界の構築を目指す祭典であるが、世界中の国や地域が参加するがゆえに、それぞれの利害が衝突する場でもあった。

オリンピックの起源は古代ギリシアに遡る。A ペロポネソス半島の北西部、ゼウス神殿で知られるB オリンピアで4年ごとに行われていた祭典がそれである。伝説によればC デルフォイの地でアポロンが下した神託に由来するため、祭典の一定期間は武器を持って主催国に入ることが禁じられた。(あ)古代ギリシアは小国分立状態におかれていたが、ギリシア人は自分たちをD ヘレネス、異民族をE バルバロイと呼んで区別し、共通の言語や神話、競技祭を通じて、同一民族としての意識をもち続けた。若者たちは身体を鍛え上げ、競技祭でその技量を披露した。競技者の技と肉体は芸術の格好の題材となり、『競技祝勝歌』を残した抒情詩人F ピンダロスをはじめとして、多くの芸術家にインスピレーションを与えた。しかし、このようにギリシア文化の発展に寄与した競技祭も、ローマ帝政末期に異教の祭典として中止を余儀なくされる。

ピンダロスはギリシア最大の抒情詩人。名門の家に生れ、アテネに学び、各地の貴族や僭主に招かれて、注文に応じて合唱隊歌を作った。ペルシア戦役には故郷テーベの方針にならって中立を守ったが、戦後運動競技が再び盛んになると、昂揚する思想と大胆な比喩と崇高な言葉によって優勝者をたたえる彼のエピニキオン(古代ギリシアの合唱隊歌の一種)は争って求められた。作品集 17 巻はあらゆる種類の合唱隊歌から成っていたが、完全に現存するのはオリンピア、ピュティア、イストミア、ネメアの四大祭典競技の勝利者をたたえる『競技祝勝歌』44 歌のみ。ほかに多くの断片が伝わる。

近代オリンピックは、フランス人G クーベルタンの提唱によって始まり、1896年にアテネで第1回大会が開催された。

クーベルタンは近代オリンピックの創始者として知られるフランスの教育家。貴族の家に生まれ、のちイギリスでイギリスの教育におけるスポーツの重要性に共鳴し、その理念を母国に移入しようと志した。ドイツの考古学者 E.クルチウスの古代オリンピア遺跡(オリュンピア)の発掘に触発され、オリュンピア競技会復活の構想を立てた。1892年パリ会議で復活構想を公表するが賛同を得られず、1894年には周到な準備のうえ再度各国に招請状を出し、ソルボンヌ大学で9カ国の代表者によるパリ会議を開催した。同会議において、オリンピック復活を決議し、国際オリンピック委員会 IOC を組織した。1896年第1回オリンピック競技大会をアテネで開催。IOC 初代会長の座はギリシア人のディミトリウス・ビケラスに譲ったが、1896年から1925年まで第2代会長を務めてオリンピックの発展と運動の推進に一生を捧げた。

古代ギリシアの競技祭が、当時の理想主義や国際主義を具現する平和の祭典として復興したのである。ただし、女性競技者の参加は限られ、(い)ペルシア戦争中のH マラソンの戦いにおける故事にちなむ

とされる競技も、近代オリンピックの開催にあたって考案されたものだという。そもそも競技祭が復興された背景には、第二帝政の崩壊を招いた **I プロイセン=フランス [普仏]** 戦争後のフランスにおける愛国心の高揚や、青少年を鍛錬するためにスポーツを奨励する機運があった。

その後も、オリンピックは政治に翻弄され利用されてきた。例えば、1936年のベルリン大会ではナチスすなわち **J 国民社会主義 [国家社会主義]** 労働者党が、**B オリンピア** で点火された聖火がギリシアを出てドイツに至るという聖火リレーを考案し、自分たちこそ古代ギリシアの後継者であるというイメージを演出して、アーリア人の優越性を宣伝した。第二次世界大戦後も、⁽⁵⁾1972年のミュンヘン大会では、パレスチナの武装組織によるイスラエル選手団の襲撃事件が起き、1980年のモスクワ大会では、前年のソ連による **K アフガニスタン** への侵攻を理由にアメリカ合衆国や日本など西側諸国がボイコットをし、その報復としてソ連など東側諸国は1984年のロサンゼルス大会をボイコットした。

アフガニスタン侵攻とは1970年代の東西冷戦下、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦(ブレジネフ体制)の二大国を巻き込んだアフガニスタンにおける内戦で起こった。1978年4月に親ソ連派の軍部によるクーデターで、タラキーを議長とする革命評議会が実権を掌握。タラキー政権は、ソ連と友好善隣条約を締結し、土地改革などの急進的な政策を推進したが、強引な社会改革はイスラーム指導者や有力部族の反感を買った。1979年タラキーの追い落とし工作は成功したが、同1979年12月ソ連の軍事介入によるクーデターが発生して新政権が誕生した。これに対してアメリカをはじめとする西側諸国、特に隣国のパキスタンは強く反発したが、1985年ソ連におけるゴルバチョフの登場とそれに続く東西和解の動きのなかで、1986年にムハンマド=ナジブラが革命評議会議長に就任し、1988年4月にはスイスのジュネーブでアフガニスタンと平和協定が結ばれ、これに従って約10万人のソ連軍が1989年2月に撤退を完了した

問1 空欄 **A** ~ **K** に最も適切と思われる語を入れなさい。

問2 下線部(あ)について、

(1) 政治的には完全に自立し、1000以上あったとされる古代ギリシアの都市国家を何とといいますか。

ポリス

(2) (1)の宗教的・軍事的な中心として、守護神がまつられるとともに、非常時には城塞の機能を果たした丘を何とといいますか。 **アクロポリス**

(3) (1)の政治的・経済的な中心として、交易・集会・裁判などが行われた公共広場を何とといいますか。

アゴラ

問3 下線部(い)について、

(1) この戦争を主題に『歴史』を著し、その体系的な歴史叙述によって歴史の父と呼ばれる歴史家は誰ですか。 **ヘロドトス**

(2) サラミスの海戦でギリシア艦隊を指揮してペルシア艦隊を破った、アテネの政治家は誰ですか。

テミстокレス

(3) この戦争を機に結成されたデロス同盟について、簡潔に説明しなさい。

ペルシア軍の再来に備えて、アテネを中心に結成した軍事同盟

問4 下線部(う)について、

(1) このようなテロ行為の背景にある1967年の第3次中東戦争において、イスラエルが占領した半島と高原の名をそれぞれ答えなさい。 **シナイ半島、ゴラン高原**

第3次中東戦争とは1967年6月5~10日の6日間、イスラエルがエジプト、ヨルダン、シリアとの間で行なった戦争。六日戦争ともいう。67年に入るとシリア軍とイスラエル軍との間に衝突事件が頻発したためシリアはエジプトと共同防衛条約を締結、67年5月にはエジプトがシナイからの国連緊急軍の撤退を求めるとともに、イスラエルに対しアカバ湾封鎖を断行した。イスラエル空軍は6月5日、エジプト、シリア、ヨルダンに奇襲攻撃をしかけ、3国の空軍力を壊滅させると同時に、地上部隊も電撃作戦で3国を攻略、国連の停戦決議によって戦闘が停止されるまでの6日間に東エルサレムを含むヨルダン川西岸地区、ガザ地区、シナイ

半島, ゴラン高原を占領した。これによりイスラエルはパレスチナ全土に支配を及ぼすことになったばかりでなく, エジプト領, シリア領をも占領し, 他方, 敗北を喫したアラブ側はイスラエルに対する政策を基本的に見直さざるをえなくなった。

(2) 翌 1973 年の第 4 次中東戦争に際してアラブ産油国が実施した石油戦略について, その内容を簡潔に説明しなさい。親イスラエル国への原油輸出停止・制限, および原油価格の引き上げ

第4次中東戦争は 1973 年 10 月にイスラエルとアラブ諸国との間で戦われ, エジプト, シリア両軍がスエズ運河方面とゴラン高原方面で同時にイスラエルに攻撃をしかけて開始された。戦いの途中からイスラエルが盛返し, 特にシリアとの戦線では 67 年戦争の占領地をさらに拡大した。またエジプトとの戦線では, イスラエル軍の一部がスエズ運河の西岸にまで攻め込んだものの, シナイの一部をエジプト軍が取戻した形で 10 月に停戦が実施された。アラブの産油諸国が石油戦略を発動し, イスラエルに同情的な国に石油禁輸措置をとる方針を示し, ほぼ同時に石油輸出国機構 OPEC が原油価格を約 4 倍も上げたために, いわゆる石油危機がもたらされ, パレスチナ問題への世界の関心を集めることに成功した。戦後処理のために 国連安保理決議が採択され, 73 年 12 月には中東和平ジュネーブ会議が開かれ, その後アメリカのキッシンジャー国務長官の斡旋により, イスラエルとエジプト, イスラエルとシリアとの間にそれぞれ兵力引離し協定が結ばれた。

(3) 外交路線を親アメリカ政策に転換し, アメリカの仲介でイスラエルと平和条約を結ぶも, これを不満とするイスラーム原理主義者らによって暗殺された, エジプトの大統領は誰ですか。サダト

サダト大統領は 73 年の第 4 次中東戦争でスエズ運河渡河作戦に成功, イスラエル軍に大きな損害を与えたことから声望を博し, ナセルが進めてきた社会主義路線から経済の自由化と親米路線に変更した。77 年にエルサレムを訪問し, 78 年 9 月のキャンプデービッド合意により, イスラエルのベギン首相とともにノーベル平和賞を受賞した。79 年 3 月イスラエルとの平和条約を成立させたが, 事実上パレスチナ問題を棚上げにしたままイスラエルと和解したことから, アラブ世界で非難を浴び, 81 年第 4 次中東戦争記念パレード観閲中にイスラーム急進グループにより銃殺された。

【3】 青山学院大学 経済

地中海沿岸の古代都市に関する以下の文章を読んで, 下記の設問に答えなさい。解答用紙は(その 1)を使用すること。

[A] クレタ島のクノッソスは(ア)によって発掘され, 迷宮のような構造と生き生きとした壁画の数々によって有名である。ミノア文明と名付けられたその文明の謎を解き明かすべき線文字 A は未だ解読されていない。それに対してミケーネ期の線文字 B は(イ)によって解読されている。

[B] (ウ)にあるシラクサは前五世紀から四世紀にかけてディオニュシオス父子の下に繁栄し, 哲学者プラトンなども度々訪れている。その後, (a)ポエニ戦争の際にローマに攻められるが, 浮体の原理の発見者としても有名な物理学者(エ)は様々な武器を考案してローマ軍を悩ました。

[C] (b)小アジアの西部沿岸に位置するこの都市は, 古くは(c)哲学者ヘラクレイトスの出身地としても有名であるが, (オ)年には皇帝(カ)の命により開かれた公会議においてネストリウス派が異端とされた。

[D] このエジプトの海港都市アレクサンドリアには, 大規模な研究機関であるムセイオンが設けられ, 当時エジプトを支配していた(キ)の庇護の下, ホメロスを初めとする古典テキストの編纂や自然科学の研究が行われた。このムセイオンと関係の深い学者の中でも, 地球の周囲の長さを算出した(ク)や地球の自転と公転を見出した(ケ)や幾何学の(コ)などが有名である。

[E] (d)ペロポネソス半島の付け根に位置するこの都市は, その名が柱頭の様式の一つにも冠されている。前(サ)年には, カイロネイアの戦いに勝利したばかりのマケドニアが, 覇権の確立を目指して同地でヘラス同盟とも呼ばれる全ギリシア的な同盟を結成した。

問 1 空欄(ア)に入れるのもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① シュリーマン ② ヴェントリス ③ **エヴァンズ** ④ シャンポリオン

問 2 空欄(イ)に入れるのもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① シュリーマン ② **ヴェントリス** ③ エヴァンズ ④ シャンポリオン

問 3 空欄(ウ)に入れるのもっとも適切な地名を一つ選べ。

- ① コルシカ島 ② キプロス島 ③ デロス島 ④ **シチリア島**

問 4 空欄(オ)に入れるのもっとも適切な数字を一つ選べ。

- ① 380 ② 392 ③ **431** ④ 451

問 5 空欄(カ)に入れるのもっとも適切な皇帝名を一つ選べ。

- ① **テオドシウス 2 世** ② ユリアヌス ③ ディオクレティアヌス
④ コンスタンティヌス

東ローマ皇帝テオドシウス 2 世(在位 408~450) は父アルカディウス帝の死後 7 歳で帝位についた。学問、宗教の研究を好み穏和であったが、その治世は外部からの侵入に悩まされ、アフリカでは ヴァンダル族、ドナウではフン族のアッティラの劫略を受けた。また彼がコンスタンティノープル総大司教に任命したネストリウスが異端問題を起し、431 年エフェソス公会議で追放された。

問 6 空欄(キ)に入れるのもっとも適切な王朝名を一つ選べ。

- ① アンティゴノス朝 ② セレウコス朝 ③ **プトレマイオス朝** ④ アケメネス朝

問 7 空欄(サ)に入れるのもっとも適切な数字を一つ選べ。

- ① 378 ② **338** ③ 333 ④ 323

問 8 空欄(エ)に入れるのもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラトステネス ③ ピタゴラス
④ **アルキメデス** ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリスタルコス

アルキメデスは古代ギリシアの数学者、発明家である。入浴中に浮力に関する「アルキメデスの原理」を発見してこの原理を発見して「私に立つ場所を与えるなら、地球をも動かそう」と言ったという話などはあまりにも有名である。軍事技術においても優れ、第 2 次ポエニ戦争では考案した反射鏡や起重機を使ってローマ軍を苦しめ、シラクサはローマ軍の攻撃に 3 年間もちこたえることができたという。しかし、シラクサが陥落したとき、ローマ兵によって殺害された。

問 9 空欄(ク)に入れるのもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② **エラトステネス** ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリスタルコス

エラトステネスはギリシアの天文学者、地理学者、詩人。前 255 年頃アレクサンドリアの図書館長をしていたといわれる。天空上の太陽の見かけの運動面に対する地軸の傾きを計算する。南エジプトのシエネ(現アスワン)とアレクサンドリアにおける夏至の日の太陽高度差と両地点間の距離から地球の周囲の長さをかなり正確に算出した。

問 10 空欄(ケ)に入れるのもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラトステネス ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ エウクレイデス ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ **アリスタルコス**

アリスタルコスは古代ギリシアの天文学者であり、ピタゴラス派の説いた地球の回転説を支持し、地球の自転および太陽のまわりの公転を説いたといわれ、そのためにストア派の学者から神の冒瀆者と非難された。月食

のときに月に映る地球の形から、月の大きさは地球の約 3 分の 1 と考え、また半月の際の太陽と月の位置関係から、地球から月および太陽までの距離の比は 1:18~20 であることを求めた（実際は 1:400 程度）。ほかに 1 年の長さの正確な決定も行なった。彼の地動説は当時ほとんど支持されなかったが、後世 N.コペルニクスによって注目された。

問 11 空欄(コ)に入れるのもっとも適切な人名を一つ選べ。

- ① エピクロス ② エラステネス ③ ピタゴラス
④ アルキメデス ⑤ **エウクレイデス** ⑥ アリストテレス
⑦ デモクリトス ⑧ アリスタルコス

エウクレイデス(ユークリッド)は紀元前 300 年頃のギリシアの数学者であり、ユークリッドはギリシア名エウクレイデスの英語読みの名。13 巻から成る『原本』の著者として有名であるが、『原本』はユークリッドの独創によって書かれたものではなく、先人たちのすぐれた業績を柱にし、ユークリッド自身の考えに従って全体を配列し、新しい証明を工夫して編集されたと考えられる。

問 12 下線部(a)の戦争は何回行われたか、もっとも適切な数字を一つ選べ。

- ① 1 ② 2 ③ **3** ④ 4

問 13 下線部(b)に入れるのもっとも適切な都市名を一つ選べ。

- ① **エフェソス** ② ニケーア ③ ミレトス ④ カルケドン

エフェソスの公会議は 431 年 6 月 22 日~7 月 17 日にエフェソスで開かれた第 3 回公会議である。キリストにおける神性、人性の位格的結合とマリアは神の母であるか否かをめぐって、ネストリウスを中心とするアンチオキア派とアレクサンドリア派が対立。勢力関係が二転三転したのち、ネストリウスへの異端宣告が採択され、キリストの位格は一つであること、マリアは神の母たることが認められた。なお、アウグスティヌスも招聘されたが、親書を受取る前にヒッポで没した。

問 14 下線部(c)ヘラクレイトスの思想としてもっとも適切な文章を一つ選べ。

- ① 万物の根源は水である。 ② 万物の根源は数である。
③ **万物は流転している。** ④ 万物は原子(アトム)からできている。

ヘラクレイトスは古代ギリシアの哲学者であり、エフェソス出身。万物流転説や火を原理としたことで知られ、著作としては『自然について』が伝えられるが現存しない。「知とは、みずからにではなくてロゴス(理法)に聞いて万物の一なることを認めることである」との言葉には彼の哲学が集約されている。

問 15 下線部(d)の都市名としてもっとも適切なものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ① アテネ ② スパルタ ③ テーベ ④ **コリント(ス)**

コリントス連盟(同盟)は前 338 年カイロネイアでのギリシア連合軍に対する勝利の翌年、マケドニア王フィリッポス 2 世の主宰するコリントス会議で結成したスパルタを除く全ギリシアの同盟である。ギリシア諸市相互間の平和、自由と自治、現体制の維持などを目指し、ここにギリシアの統一と平和が実現されたのであるが、次いで決議されたペルシア征討では、統帥権をフィリッポスが握り、マケドニアのギリシア支配に都合よくできた同盟にすぎなかった。前 301 年解消。

【4】 青山学院大学 法

次の文章を読み、下の問い(問 1~15)に答えなさい。 古代ギリシアにおいては、文学作品の多くが戦争をテーマとしている。作家自身が市民として従軍している例も多い。ホメロス作の最古の叙事詩(a)は、トロイア戦争での英雄たちの活躍を描き、(c)はその英雄の一人が戦後イタカに帰国するまでの冒険を描いたものだった。詩の中ではゼウスやアポロンをはじめ多くの神々が人間と共に活躍している。そのような神話とは区別される歴史を書き、「歴史の父」と呼ばれるのが、ハリカルナソス出身の(d)である。そのテーマは、ペルシア戦争であった。(f)が送ったペルシア軍をアテネ重装歩兵が破った前 490 年の(g)、レオニダス以下 300 名のスパルタの戦士が全滅した(h)、そ

して前 480 年のサラミスの海戦などが描かれている。ギリシア艦隊を率いたのは(i)だが、この英雄は後にオストラシズムにより追放されてしまう。また、この海戦は、『ペルシアの人々』という悲劇の題材にもなっている。その作者、三大悲劇詩人の一人(j)自身もペルシア戦争に従軍し、特に(g)に参加したことを、詩人であることよりも誇りにしていた。

アテネの歴史家(k)はペロポネソス戦争をテーマとしている。彼自身、将軍に選出されたが作戦に失敗し、アテネから追放された人物であった。その『歴史』の第二巻には、戦没者の国葬にさいして、アテネ全盛期の指導者(l)が行なった演説が記されている。これは民主政の理想を語ったものとして名高い。『オイディプス』などで有名な三大悲劇詩人の一人(m)も、この(l)と親交があり将軍に選出されている。やはり、何よりもアテネ市民なのである。しかし、疫病が流行して(l)という すぐれた指導者を失なうと、アテネは敗北への道を歩み始める。劇作品にも反戦的なものが出てくる。特に有名なのは、アテネ最大の喜劇作家(o)の『女の平和』であろう。前 404 年、アテネが降伏してペロポネソス戦争は終わった。

問 1 (a)に入る作品名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マハーバーラタ
- ② オデュッセイア
- ③ **イリアス**
- ④ 神統記

『イリアス』は『オデュッセイア』と並ぶギリシアの二大叙事詩である。ギリシア軍によるトロイヤ包囲戦 10 年目の一事件を扱う。主題は「アキレウスの怒り」とその悲劇的結末である。ギリシア軍の総大将アガ멤ノンと勇将アキレウスが捕虜の娘をめぐる反目し、アキレウスが引揚げたために、ギリシア軍はオデュッセウスらの活躍にもかかわらず苦戦を強いられる。アキレウスの親友パトロクロスはたまりかねてアキレウスの武具を借りて敵を追うが、敵将ヘクトルに倒され、アキレウスが立上がって一騎討ちの結果、ヘクトルを打ち取り、自らも死を迎えた。

問 2 下線 b のトロイア戦争の实在を信じて発掘した、19 世紀のドイツの考古学者の名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① **シュリーマン**
- ② エヴァンズ
- ③ グローテフェント
- ④ ヴェントリス

問 3 (c)に入る作品名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マハーバーラタ
- ② **オデュッセイア**
- ③ イリアス
- ④ 神統記

『オデュッセイア』はオデュッセウスが帰国の途中、海の神のたたりで船を地中海の各地に押し流され、数々の苦難と冒険ののちに、パイアケス人の王アルキノオスの援助で 10 年にわたる放浪を終えて 20 年ぶりに故郷のイタカに帰り、息子テレマコスに会って留守の間のことを聞き、妻ペネロペイアに求婚する無頼漢どもが自分の財産を食いつぶしているのを知ると、浮浪者に変装して乗込み、求婚者どもを退治して、貞淑な妻に再会するというストーリーである。

問 4 (d)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① トウキディデス
- ② リウィウス
- ③ ポリビオス
- ④ **ヘロドトス**

問 5 下線 e のペルシア戦争は、イオニア植民市の反乱が原因で始まった。この反乱の中心となった都市はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① クノッソス
- ② **ミレトス**
- ③ マッサリア
- ④ シラクサ

問 6 (f)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① キュロス 2 世
- ② カンビュセス 2 世
- ③ **ダレイオス 1 世**
- ④ シャープール 1 世

問 7 (g)に入る戦いはどれか。①～④から一つ選べ。

- ① **マラトンの戦い**
- ② テルモピュレーの戦い

- ③ プラタイアの戦い ④ レウクトラの戦い

問 8 (h)に入る戦いはどれか。①～④から一つ選べ。

- ① マラ톤の戦い ② テルモピュレーの戦い
③ プラタイアの戦い ④ レウクトラの戦い

問 9 (i)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① ペリクレス ② クレイステネス ③ ペイシストラトス ④ テミストクレス

問 10 (j)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① アイスキュロス ② ソフォクレス
③ エウリピデス ④ アリストファネス

アイスキュロスはペルシア戦争の際に重装兵としてマラ톤の決戦に参加した。ギリシア悲劇中唯一現存の歴史劇『ペルシアの人々』はサラミス海戦（前 480）の体験に基づく。若い頃から劇作家として演劇競技に出場し、前 484 年の初優勝以来優勝は 13 回。『救いを求める女たち』・『縛られたプロメテウス』・『アガ멤ノン』などが有名である。

問 11 (k)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① トウキディデス ② リウィウス ③ ポリビオス ④ ヘロドトス

問 12 (l)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① ペリクレス ② クレイステネス ③ ペイシストラトス ④ テミストクレス

ペリクレスは前 462 年頃にエフィアルテスとともに「アレオパゴス会議」から実権を奪い、評議会、民衆法廷、民会に実権を与えた。エフィアルテスの暗殺後、民主派の指導者として、アルコン就任資格を農民に拡大し、下級の役人への日当の支給、貧民への観劇料の支給などにより民衆の支持を得て民主化を徹底した。前 451 年に両親ともアテネ市民であることを市民権の要件とする市民権法を成立させ、ポリスの法的完成を実現させた。後年彼みずからが嫡出子を失い、外人女アスパシアとの子を市民とするよう民会で頼むという悲劇を演じた。前 462～454 年にペリクレスによる民主政の基礎が築かれた。外交ではペルシアとカリアスの和約を結び、前 446 年にはスパルタおよびその同盟都市と不可侵条約（30 年条約）を結ぶなど平和の維持に努め、一方、前 454 年にデロス同盟の基金をアテネに移し、アテネの帝国化を進めた。前 443 年政敵トウキディデス追放後はその弁論を武器に連年ストラテゴス（将軍職）についた。彼の指導のもとでアテネが繁栄をきわめ、その富のなかからアクロポリスのパルテノン神殿をはじめ、諸神殿建造が建設された。前 431 年にペロポネソス戦争が勃発し、まもなく疫病がアテネを襲い、軍隊の 3 分の 1 が戦争と病気で倒れ、ペリクレス自身も疫病にかり没した。

問 13 (m)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① アイスキュロス ② ソフォクレス ③ エウリピデス ④ アリストファネス

ソフォクレスは俳優を 2 人から 3 人にふやし、背景に絵を使い、3 部作形式をやめて 1 編ずつ独立させ、主役の性格と演技を重視するなど、悲劇に大改革を加えた劇作家である。前 468 年以来、競演で 18～24 回優勝した。政治にも積極的に関与して将軍に選ばれたほか、たびたび要職についた。現存作品は『アンチゴネ』・『オイディプス王』などである。

問 14 下線 n に関連して、(l)病死後のアテネの政治形態は、一般に何と呼ばれているか。①～④から一つ選べ。

- ① 財産政治 ② 僭主政治 ③ 神権政治 ④ 衆愚政治

問 15 (o)に入る人名はどれか。①～④から一つ選べ。

- ① アイスキュロス ② ソフォクレス ③ エウリピデス ④ アリストファネス

アリストファネスはペロポネソス戦争の時期に活躍し、喜劇を通じて反戦論を唱え、政治、文化、教育など国家社会の問題を取上げて批判し、個人風刺とパロディー風な表現を自由に行なった。『リュシストラテ（女の平和）』、『女の議会』が有名である。

【5】 明治大学 法

次の文章を読み、下記の問に答えなさい。

エーゲ海沿岸地域では、前 2000 年頃から前 1200 年頃にかけてオリエントの先進文明の影響を受けた [ア] 青銅器文明 が栄えた。その後、暗黒時代と呼ばれる混乱期を経て、ギリシアでは、前 8 世紀頃から各地で人々が特定の村落地域に定住し、村落は政治面、軍事面で統合され、ポリスと呼ばれる独立した都市国家が成立した。ポリス成立期は、貴族による騎兵が戦争の主役であり、政治形態も貴族だけが参加する貴族政であった。その後、重装歩兵部隊が軍隊の主力となるにつれ、 [イ] 商工業の発達により富裕となった平民も参戦できるようになり、彼らは参政権を主張して貴族と対立し、貴族政が動揺した。

ポリスの中で政治的、文化的に最も重要な役割を果たしたのは、アテネであった。前 7 世紀には、立法者 [ウ] ①ドラコン によって慣習法が成文化された。前 6 世紀初頭、ソロンは、貴族と平民との間の調停者として改革を断行した。すなわち、これまでの負債を帳消しにして、身体を抵当とする金銭の貸借を禁止することで、市民が [エ] ②債務奴隷 になることを防いだ。また財産額に応じて市民を 4 等級に分け、等級に応じて参政権や兵役義務を定めた。また政治制度の面では 400 名からなる評議会を設置した。その後、ペイストラトスが、民衆の支持を背景にして前 561 年に非合法的に独裁権を握り [オ] ③僭主 となった。彼は、貧しい農民たちに土地を分配して中小農民を保護し、自立的市民への成長を助け、またアテネの美化や文化事業も積極的に行い、市民の愛国心と誇りを高めようとした。しかし、彼の死後、彼の 2 人の息子は暴君となった。その後も貴族と民衆の争いは絶えず、民衆派の指導者クレステネスが前 508 年に改革を断行し、民主政の基礎を確立した。そこでは、貴族がよりどころとしていた血縁に基づく 4 部族制から、居住地区(デーモス)を基盤とする 10 部族制とし、この新しい部族から各 50 名ずつを選出した五百人評議会を設け、また各部族から 1 名ずつの将軍を選出させるなど、この 10 部族制を行政や軍事の単位とした。また、 [カ] ③僭主 となる危険のある人物の名を市民が投票し、その数が一定数を超えた場合、10 年間国外へ退去させられる制度、いわゆる [キ] ④オストラシズム [陶片追放] を創設した。

その頃、小アジア沿岸のギリシア人植民市は、アケメネス朝ペルシアの領土となり、兵役や貢税の義務を課されていた。前 500 年のイオニアの反乱の際に、アテネが援軍を送ったことから、ペルシアはその報復としてギリシア本土を討とうとし、ギリシア諸ポリスとの間に [ク] ペルシア戦争が始まった。戦争は、重装歩兵や海軍の軍艦の漕ぎ手を構成する市民の活躍で、ギリシアが勝利した。戦後もペルシアの襲来に備える必要から、アテネは [コ] ⑤デロス 同盟を作って加盟ポリスから艦船、兵員または軍資金を提供させ、指導的な役割を果たした。そして将軍ペリクレスの時代には、アテネは海軍国として発展し、内部では [ケ] 民主政が完成された。ほとんどすべての官職が市民に開放され、大多数の役人は抽選で選出された。裁判の陪審員も市民から抽選で選ばれた。

しかし、アテネが前 431 年からのペロポネソス戦争においてスパルタに敗北したことから、 [セ] ⑤デロス 同盟も解体して、アテネの繁栄は終わった。この戦争は、多数のポリスを巻き込んだため、ギリシア全般に及ぶ農地の荒廃、中小農民の没落が著しく、しかも戦後も慢性的にポリス間で戦争状態が続き、ギリシアのポリスは衰退していった。そして、前 338 年、北方の新興国マケドニアの前にギリシア連合軍は敗れ、マケドニアを中心とする全ギリシアの同盟の下、 [ソ] マケドニアに支配されることとなった。

問 1 文中の空欄①～⑤のそれぞれにもっとも適切と思われる語句を記入しなさい。

問 2 文中の下線部 [ア]～[ウ]に関して、下記の間 (ア)～(ウ) に答えなさい。

- (ア) 下線部 [ア]に関して、トロイアの遺跡を発掘するなど、ミケーネ文明の存在を証明したドイツの考古学者は誰か。 シュリーマン
- (イ) 下線部 [イ]に関して、商工業や貿易が発展し貧富の差が生じた原因には貨幣経済の発達がある。初めて鑄造貨幣が造られた小アジアの王国は何か。 リディア

(ウ) 下線部[ウ]に関して、広くオリエント諸国を旅行して、地理や諸民族の風俗や歴史を調査し、広大な視野に立ってペルシア戦争の歴史を書き、「歴史の父」と呼ばれている人物は誰か。**ヘロドトス**
ヘロドトスは前5世紀のギリシアの歴史家であり、小アジアのハリカルナッソスの出身である。若い頃国を追われ、エジプトやリビア、シリア、バビロニア、トラキアなどの各地を歴訪し、アテネでソフォクレスとペリクレスと出会った。

(エ) 下線部[エ]に関して、現代民主政が代議制であるのに対して、ギリシアの民主政の特徴は直接民主政にある。自由民中の全成年男性で構成される政治の最高機関は何と呼ばれるか。**民会**

(オ) 下線部[オ]に関して、アレクサンドロス大王の東方遠征以降の約300年間は、ヘレニズム時代と呼ばれる。この時代に、ポリス中心の考え方に代わって、ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とする思想が知識人の間に普及したが、その考え方とは何か。**コスモポリタニズム [世界市民主義]**

コスモポリタニズムとは語源的にはギリシア語の kosmos (宇宙, 世界) と polit s (市民) との合成語で、人類全体を一つの世界の市民とみなす立場をいう。日本では「世界市民主義」あるいは「世界主義」ともいう。

神の前における人類の平等を説いたキリスト教が急速に伝播したのも、この理念が普及していたことが少なからず影響を与えたと考えられる。近世のヒューマニズムの人類共同体の理念もこの一例であり、平等、自由を掲げたフランス革命もこの理念と結びついていた。

【6】古代ギリシアの代表的なポリスであるアテネ(アテナイ)は、紀元前6世紀末からの約1世紀間に独自の民主政を築き、発展させ、さらにその混乱をも経験した。このアテネ民主政の歴史的展開について、その要点を300字以内で説明せよ。句読点も字数に含めよ。説明に当たっては、以下の2つの語句を適切な箇所です必ず一度は用い、用いた語句には下線を付け。

民会

衆愚政治

[京都大学]

前6世紀末、クレステネスの改革により、血縁に基づく4部族制が地縁共同体に基礎を置く10部族制に改められ、五百人評議会が設置された。さらに僭主の出現を防ぐため陶片追放の制度も創設されて民主政の基礎が築かれた。その後、ペルシア戦争が起こると、三段櫂船の漕ぎ手として活躍した無産市民の発言力が強まり、前5世紀半ば頃ペリクレスの指導のもとで民主政が完成した。この結果、市民は貧富の別なく参政権を持ち、成年男性市民の全体集会である民会で、多数決により国家の政策を決定した。しかし、ペロポネソス戦争が起こり、ペリクレスが死去すると、民主政は煽動(扇動)政治家に指導される衆愚政治へと堕落することになった。

早慶の過去問からの発展・応用(ギリシア史)

【1】

早稲田大学 教育

次の古代ギリシアに関する文章を読み、下線部に関する問い(1)～(10)について、a～dの選択肢の中から解答を選べ。また、波線部に関する設問A、B、Cの解答を記入しなさい。

ギリシアの代表的ポリスのアテネでは、前6世紀初めに改革が行われた(1)。しかし、市民のなかに不満を持つ者も多く、これらを抱き込んで非合法的に独裁権を握る僭主が現れた(2)。前6世紀末には、僭主の出現を防ぐための制度Aが設けられるなど、民主政治の基礎が確立した。この頃アケメネス朝ペルシアの支配に対する、小アジアの植民市の反乱(3)を契機にペルシア戦争Bがはじまった。前490年アテネは独力でペルシアの侵入を撃退し、さらに前480年海戦で勝利し(4)、前479年にはスパルタと連合した戦いでペルシアを破り(5)、ギリシアに勝利をもたらした。戦後、軍艦のこぎ手として働いた無産市民の発言力が高まり、これを背景にアテネ民主政が完成された(6)。

ギリシア人たちは、独自の文化を花開かせ、その文学は神々と人間との関わりをうたったホメロスやヘシオドス(7)の叙事詩からはじまり、数多くの文学作品を生み出した(8)。他方で、自然現象を神話ではなく合理的根拠で説明しようとする自然哲学者たちが現れた(9)。また、民会や裁判所での弁論が重要になってくると、ことの真理にかかわらず相手をいかに説得するかを教える職業教師Cが登場した。これに対し真理の絶対性を説くソクラテスや、理想国家論を説くプラトン、さらにアリストテレス(10)など、後世に大きな影響を与える哲学者が活躍した。

(1) この改革に関して説明した次の各文で、正しいのはどれか。

- a 平民の負債を帳消しにして、債務奴隷を解放し、以後禁止した。
- b 500人評議会を創設した。
- c 血縁による4部族制を廃止し、地域的な10部族制に移行させた。
- d ポリスが武器や武具を整え、市民を重装歩兵として徴兵した。

(2) 次のうち、僭主はどれか。

- a ドラコン
- b **ペイシストラトス**
- c ペリクレス
- d リュクルゴス

(3) この植民市の所在地は次のなかのどれか。

- a アルカディア
- b **イオニア**
- c テッサリア
- d リディア

(4) この海戦を勝利に導いたのはどれか。

- a エパミノンダス
- b **テミストクレス**
- c ミルティアデス
- d レオニダス

(5) この戦いが行われた地名はどれか。

- a カイロネイア
- b テルモピレー
- c **プラタイア**
- d マラトン

(6) アテネ民主政に関する説明で、誤っているのはどれか。

- a 市民が民会を構成し、議決する直接民主政であった。
- b 参政権は成年の男性市民に限られた。
- c 役人や政治家の責任は弾劾裁判で追及された。
- d **将軍や財務官は抽選で任命された。**

(7) 彼の作品はどれか。

- a 『アガ멤ノン』
- b 『イリアス』
- c 『オデュッセイア』
- d 『労働と日々』

(8) ペロポネソス戦争中に反戦劇『女の平和』を書いた作家はだれか。

- a アイスキュロス
- b アリストファネス
- c エウリピデス
- d ソフォクレス

(9) 次の自然哲学者の主張として、正しいのはどれか。

- a タレスは、万物の根源は火であると主張した。
- b ヘラクレイトスは、「万物は流転する」という言葉を残した。
- c ピタゴラスは、原子に万物の根源を求めた。
- d デモクリトスは、万物が水からできていると主張した。

(10) 彼に関する説明で、誤っているのはどれか。

- a アカデミアでプラトンに学んだ。
- b 『政治学』や『形而上学』を著した。
- c 知徳合一を主張し、「無知の知」を説いた。
- d マケドニアのフィリッポス2世に招かれ、王子アレクサンドロスの教育係を務めた。

設問A この制度は何と呼ばれたか。 [オストラシズム [陶片追放]]

設問B この戦争を東西文明の衝突として物語風に叙述したのはだれか。 [ヘロドトス]

設問C この職業教師は何と呼ばれたか。 [ソフィスト]

【2】

早稲田大学 政治経済学部

A 次の文のなかで、誤りのないものを二つ選び、マークせよ。

イ 前594年にアルコンに就いたソロンは、土地財産の大小によってアテナイ市民を4つの等級に分け、その等級に応じて政治参加の資格を付与した。

ロ ソロンの改革後も貴族と平民の抗争が続いたアテナイでは、ペイシストラトスが民衆の支持を背景に権力を握り、小農民の育成や海外発展をはかった。

ハ ペイシストラトスを追放したクレイステネスは、部族制の改革、五百人評議会の設置、陶片追放の制度によって、アテナイの民主化を進めた。

ニ 小アジアのミレトスに生まれたヘロドトスは、エジプトやメソポタミアなどオリエント諸国を旅行し、その見聞を交えてペルシア戦争の歴史を書いた。

ホ アテナイの名門に生まれたペリクレスは、デロス同盟諸国をアテナイに従属化させる政策を推進し、ペロポネソス戦争を勝利に導いた。

【3】

慶應義塾大学 文

(A)

ギリシアは早くから古代オリエント世界と接触をもち、紀元前2000年紀前半にはすでにミケーネ文明を形成していた。前1200年頃ミケーネ文明が滅亡すると、しばらく暗黒時代を迎えるが、前8世紀頃には各地にポリスが作られ、古典文化を生み出すこととなった。当時ギリシア人はオリンポスの12神を中心とする多神教を信じていた。しかし、この文化は人間中心主義で合理性を重んじることに特徴があり、そのような哲学、歴史、文学、彫刻、建築などが発達した。前330年ギリシア北方にあったマケドニアの王アレクサンドロスがアケメネス朝ペルシアを滅ぼすと、このギリシア文化はオリエント世界にも浸透していき、ヘレニズム文化が形成されるようになった。

(1) ミケーネ文明崩壊後移動したギリシア人の中でトロイア周辺に定住した人々を何と呼ぶか。

[アイオリス人]

アイオリス人は小アジア西岸の古代ギリシア植民地中、最北の地域(現トルコ領)。まず前1130~1000年アイオリス方言を語るギリシア人はボイオチア、テッサリアを出てレスボス島、テネドス島およびトロイとイオニアの間の小アジア本土へ植民。さらに第2群が前7世紀に進出した。前6世紀末ダレイオス1世はアイオリスをアケメネス朝ペルシア帝国のサトラップ領(属州)の一つとした。

(2) ポリスで商工業が発達すると、豊かになった平民たちは自費で武具を調達し、ポリス防衛に加わるようになった。そのような兵士を何と呼ぶか。 [重装歩兵]

(3) ペルシア戦争などで用いられたギリシアの軍船で、その高速性で知られたものは何か。 [三段櫂船]

(4) アレクサンドロスが東方遠征からの帰還中に急死したユーフラテス川流域の都市はどこか。

[バビロン]

【4】

早稲田大学 政治経済

下記のAに答えよ。

A 次の問い1～7について、最も適切な答えをそれぞれイ～ニの中から一つ選び、その記号をマークせよ。

1 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ ミルティアデスの率いるアテネの重装歩兵軍は、マラトンに上陸したペルシア軍を破った。

ロ レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーに侵入してきたペルシア軍を撃退した。

ハ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で大艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。

ニ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイ(プラテーエ)の陸戦で破った。

2 いわゆるヘレニズム時代に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ マケドニアのアレクサンドロスは、イッソスの戦いでペルシアのダレイオス3世の軍を破った。

ロ アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイを自称する部将たちの間で抗争が起こった。

ハアレクサンドロス大王の部将の一人であるプトレマイオスは、エジプトに新たな王朝を開いた。

ニ この時代に彫刻家のフェイディアスが、「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン像」などの傑作を生み出した。 []

設問 テルモピュレーの陸戦やサラミスの海戦の時に、アケメネス朝ペルシアの王だったのは a である。 [a クセルクセス(1世)]

【5】

早稲田大学 人間科学

ヨーロッパの政治制度に関する次の文章1・2を読み、以下の設問X・Yに答えなさい。

1

紀元前8世紀頃、ギリシア世界では、ポリスとよばれる独立した都市国家が成立しはじめていた。多くのポリスには、①守護神を祀る神殿がおかれたアクロポリスとよばれる小高い丘があって、ここを中心に人々は集住(シノイクスモス)して、都市を形成した。また、ポリスの中心にはAという広場があり、政治上の集会や市場がひらかれ、市民の社交や議論の場となった。②ギリシア人は、共通の言語・文化をもち、民族としては一体であったが、独自性をもつポリスを多数つくりながら、③民主政を特徴とするギリシア特有の政治制度を発達させていった。

設問X 文中の空欄Aに入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

A a アポロン

b アゴラ

c キヴィタス

d コロッセウム

[]

設問Y 文中の下線部①～③に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

① ギリシアの宗教・神話・神殿について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。

a ヘシオドスは『神統記』で、天地や神々の誕生の神話を説いた。

b ホメロスは叙事詩『イリアス』で、トロイア戦争や英雄アキレウスの武勲を伝えた。

c ギリシア人の宗教は多神教で、ゼウスを主神としたオリンポス 12 神が万物を司るものとされた。

d アテネのアクロポリスの丘には、ペルシア戦争前にその戦勝を祈願して、パルテノン神殿が建てられた。 []

パルテノンアテネのアクロポリスにたてられた古代ギリシアの傑作神殿。ペルシア戦争に勝利したことを記念して、古代アテネの守護神、アテナ・パルテノスにささげられた。彫刻家フェイディアスを総監督として前 447 年に着工し、前 438 年ごろには完成をみた

② ギリシアの民族や文化について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。

a ギリシア人は自分たちをヘレネス、その国土をヘラスと呼び、異民族をバルバロイと呼んで区別した。

b ソクラテスは理想国家論を説き、その弟子プラトンは『政治学』・『ニコマコス倫理学』を著した。

アリストテレスは、師のプラトンと同じく多くの対話形式の著作をのこしたが、そのほとんどはうしなわれて現存しない。現在アリストテレス著作集としてつたわっているものは、うもれていた彼の膨大な講義ノートをロドス出身のアンドロニコスが前 1 世紀に整理し編纂したもので、そのテーマは学問と芸術のあらゆる分野におよぶ。まず論理学関係の著作があるが、これらは実証的な知識をうる手段を提供するところから、「オルガノン(道具)」と名づけられた。自然科学関係の研究は、「自然学(Physica)」の名でまとめられたが、そこには天文学、気象学、植物学、動物学に関する膨大な情報がふくまれている。存在するかぎりでのすべての存在者を考察することを、アリストテレス自身は「第一哲学」とよんでいたが、この分野の論稿群は、最初の出版時(前 60 年頃)にたまたま「自然学」の次に編纂された。日本では「形而上学」と訳される。あらゆる存在者をうごかす不動の第一動者に関する考察も、ここにふくまれる。倫理学書「ニコマコス倫理学」は、自分の息子ニコマコスにささげたもの。そのほかの重要な著作としては、「修辞学」「詩学」「政治学」などがある。

c ギリシア文化は東方にも波及し、土着文化からも影響を受けて、独特なヘレニズム文化が生まれた。

d ギリシア文化の中心となったエジプトのアレクサンドリアには、ムセイオンという王立研究所が建てられた。

③ ギリシアにおける民主政について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。

a 紀元前 7 世紀に、ドラコンは従来の慣習法を成文化して、貴族による法の独占を破った。

b 紀元前 6 世紀に、ソロンは貴族と平民の調停者として国政改革を断行した。

c スパルタの僭主ペイシストラトスは、平民層の支持を得て、中・小農民を保護・育成した。

d アテネのクレステネスは、陶片追放(オストラシズム)の制度をつくって、僭主の出現を防止した。 []

【6】 早稲田大学 文

次の文章を読んで、以下の間に答えなさい。設問 1 は所定欄に記しなさい。設問 2～5 は、解答を一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

ペリクレスは、Aペロポネソス 戦争の初年の戦没者に対する葬送演説の中で、東方の専制社会とは異質である市民的自由を享受するギリシアの中でも、アテナイは民主政のもと自由と平等が最も浸透したポリスであることを、兵営国家で鎖国的な^(a)スパルタを揶揄しながら強調した。市民的娯楽として、アテナイでは国家的行事として行われた^(b)悲劇・喜劇があった。悲劇は、民主政ポリスにふさわしく運命や宿命に耐えながら行動する人間としての個人の高貴さを表現した。喜劇は、好戦的扇動政治家やソ

フィストを批判しており、自由な批判精神が発揮された。

設問1 文中の空欄 **A** に最も適合する語句を入れなさい。

設問2 下線部(a)にある地名は、次の地図のア～エのどれに該当するか。

a ア b イ c ウ d エ

設問3 下線部(b)に関連して、これらの作者でないものは誰か。

a アリストファネス b エウリピデス
c ソフォクレス d **フェイディアス**



【7】

早稲田大学 商学部

次の文章を読み、下線部についての問に答えよ。解答は一つだけマークせよ。

ヨーロッパの都市は長い伝統をもっている。すでにA紀元前8世紀にはギリシア、小アジア地域にBポリス(polis)と称する都市国家が成立しており、村落に住んでいた地主が「集住」(シノイキスモス)し次第に人口が増していった。ポリスの全盛期は、その数が1,000以上にも上ったといわれるがその一つ一つが政治的、経済的単位を形成していた。なかでもCアテネは次第に他のポリスに対し指導的な地位を獲得し、またDアテネ市民の活発な政治参加はかれらの文化にも大きく影響するとともにE後年のイスラムやヨーロッパの思想も古代ギリシアの学問から多くのものを学んでいるのである。

問A 下線部Aに関して、紀元前8世紀におこったことはどれか。

1. ソロンの改革が実施された。前6c初
2. マガダ国がガンジス川流域を統一した。前4c
3. ペイシストラトスが僭主となって政権を握った。前6c半ば
4. **中国で春秋時代が始まった。前770年**
5. キュロス2世がアケメネス朝ペルシアを建国した。前6c半ば []

問B 下線部Bに関して、ポリスについて誤っているものはどれか。

1. デルフォイはポリスの一つで神殿があった。
2. コリントは東地中海と西地中海を結ぶ要地にあり商業が栄えたポリスである。
3. 多くのポリスは信仰の中心としてのアクロポリスなどの神殿をもっていた。
4. アゴラは市民の集会場として多くのポリスで重要視されていた。
5. **オリンピアの祭典はテーベによって廃止された。**

393年ローマ皇帝(テオドシウス)の勅令で廃止 []

問C 下線部C、アテネに関して誤っているものはどれか。

1. ソロンは、市民が身体を抵当に入れ奴隷化するのを防ごうとした。
2. ラウレイオン銀山は多くの富をアテネにもたらした。
3. クレイステネスは陶片追放の制度を始めたことで知られる。
4. ペリクレスは下層市民にも政治参加の道を開いた。
5. **デロス同盟はアテネのよびかけで結成されたが、各ポリスの対等の地位は保証された。** []

問D 下線部Dに関して誤っているものはどれか。

1. **クセノファネスはアテネの国制についての多くの著述で知られる。**

クセノファネスは前6世紀のギリシアの哲学者で、ピタゴラスと同時代人。「すべては一つである」という命題を初めて述べたといわれている。またミレトスの自然学的教養を身につけた彼は「唯一の神は神々や人間のなかで最も大きく、姿も考えも死すべきものとはいささかも似ていな

い」として人間的な神々を否定，ホメロスやヘシオドスを痛烈に非難した。主著は『自然について』。名が似ているギリシアの軍人，歴史家。ソクラテスの弟子であるクセノフォンは，ギリシア傭兵軍に加わってペルシアの内乱に参戦，彼が指導者として1万人のギリシア軍をバビロンに近い砂漠のなかから黒海南岸まで退却させた功績は，自著『アナバシス』に詳しい。その後スパルタに味方して祖国を追放され，オリンピアに近い田舎に住み，再び追われてコリントスに移住した。主な作品は，『ソクラテスの弁明』『ソクラテスの思い出』など。

2. ソフィストはしばしば詭弁家と評されるが実際には政治的な弁論を指導する役割をもっていたと考えられる。
3. プラトンは「国家」などで望ましいポリスのありかたについて論じた。
4. アリストテレスは「政治学」を著した。
5. アリストファネスは政治風刺で一時代を画した。 []

【8】

早稲田大学 文化構想

次の文章を読み，設問1～5に答えなさい。

ギリシア人とローマ人の国家は，現在のイランを中心とする地域に成立した大帝国と抗争を繰り返した。東西の国家の最初の大規模な衝突は，A ペルシア戦争であった。この戦争はアテネを中心とするギリシア人の都市国家とアケメネス朝ペルシアとの間で起こった。最終的にギリシア側の勝利で終わったこの戦争については，B ヘロドトスがその詳細を書き残している。マケドニアのアレクサンドロス大王は，東方大遠征を行い，アケメネス朝を滅ぼした。大王の死後，セレウコス朝が旧アケメネス朝の領土の大半を継承したが，やがて C パルティアによってユーフラテス川以東の領土を奪われた。パルティアは，ローマとアルメニアやメソポタミア地方を巡って争った。ローマ皇帝の中には，アレクサンドロス大王に憧れる者もあり，このことがローマのパルティア侵攻の原因ともなった。3世紀にパルティアを倒した D ササン朝もローマ帝国との戦争をたびたび行い，両者の争いは，ササン朝が642年に E の戦いでイスラーム勢力に事実上倒されるまで続いた。

設問1 下線部Aの戦争について述べた下記の文ア～エのうち，誤っているものを一つ選び，マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア マラトンの戦いでは，ギリシア側が勝利した。
- イ サラミスの海戦では，ギリシア側が勝利した。
- ウ マラトンの戦いでは，ミルティアデスがギリシア側を指揮した。
- エ サラミスの海戦では，ペイシストラトスがギリシア側を指揮した。

設問2 下線部Bの人物について述べた下記の文ア～エのうち，誤っているものを一つ選び，マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア 前5世紀の人である。
- イ ミレトス→ハルカリナッソスの出身である。
- ウ 物語風の歴史叙述を行った。
- エ 『歴史』を著した。

設問3 下線部Cの国家の中国史料での呼び名を漢字で記しなさい。 安息

設問4 下線部Dに関連して，260年にシャープール1世の捕虜となったローマ皇帝の名を記しなさい。
ウァレリアヌス

設問5 空欄Eにあてはまる地名として正しいものを一つ選び，マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ア アンカラ
- イ ザマ
- ウ ニハーヴァンド
- エ アルベラ

【9】

早稲田大学 文化構想

次の文章を読み、設問 1～5 に答えなさい。

古代においてギリシア人は、その居住地を著しく拡大させた。前 2000 年頃に A インド＝ヨーロッパ語族の一派ギリシア人は、北方からギリシアに侵入し、やがて B ミケーネ文明を興した。この文明は前 1200 年頃に突然崩壊し、ギリシアは暗黒時代に入るが、この暗黒時代においてギリシア人は、イオニア地方などに移住した。後にこのイオニア地方のギリシア人は、アケメネス朝ペルシアの第 3 代の王 C に対して反乱を起こし、ペルシア戦争のきっかけをつくった。前 8 世紀に入ると、ポリスが生まれ、ポリスは同世紀半ば頃から地中海や黒海の沿岸に植民市を建設することで、ギリシア人の居住地をさらに拡大させた。植民市は、西方では D イタリア半島南部やシチリア島を中心に数多く建設された。前 4 世紀に E アレクサンドロス大王が東方大遠征を行ったことから、ギリシア人の居住地は、シリア、メソポタミアを越えてアフガニスタンにまで広がった。

設問 1 下線部 A の語族に属さない言語を一つ選んで、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

ア アッカド語 イ ヒッタイト語 ウ サンスクリット語 エ ラテン語

設問 2 下線部 B の文明の中心地の一つミケーネを 1876 年から発掘した人物の名を記しなさい。

シュリーマン

設問 3 空欄 C にあてはまる人名を記しなさい。ダレイオス 1 世

設問 4 下線部 D の地域に建設されたギリシア人の植民市の名として正しいものを一つ選べ。

ア クノッソス イ シラクサ ウ ネアポリス エ マッサリア

設問 5 下線部 E の人物について述べた下記の文ア～エのうち、誤っているものを一つ選べ。

ア アテネに生まれた。 イ 父親はフィリッポス 2 世であった。
ウ エジプトにアレクサンドリアを建設した。 エ バビロンで没した。

【10】

早稲田大学 政治経済

以下の文章を読み、下記 A, B に答えよ。

数えあげると、アテナイではこれまで 11 回の体制の変化があった。最初の変化は、太古の時代にイオンとその仲間たちが、アテナイに集まり住むようになった時に起った。この時初めて、ひとびとは 4 つの部族に分けてまとめられ、それぞれに部族王が任命された。第二は、テセウスの時代の変化であり、かなり大きな国制の改革が行われ、本来の王制から少し外れていくことになった。その後、a の時代に、初めて法が成文化された。第三は、市民同士の騒乱の後に現れたソロンの体制であり、そこから初めて b 政治の端緒が開かれた。第四は、ペイシストラトスの c 政治の時代である。第五は、ペイシストラトスとその息子たちの c 政治が倒れた後の d による体制であり、ソロンの体制よりも b 的になった。第六は、ペルシア戦争後の体制であり、この時の改革はまだ f の監督のもとで行われた。第七の体制は、(中略)エフィアルテスがこの f から政治的実権を奪った政変の後の体制である。この体制のもとでアテナイは、g たちの活動によって、きわめて多くの政治的失策をおかすことになった。これには当時のアテナイが、海の支配を行っていたという原因もある。第八は、四百人の体制であり、これに次ぐ第九の体制として、ふたたび b 政治が行われた。(中略)第十一は、フェレーおよびペイライエウスからひとびとが帰還した後の体制である。それ以来、今日まで現在の体制が続いており、大衆がますます多くの職務や権限を手にするようになっていく。というのも、民衆はすべてに対する最終決定者となり、自らが実権を握る i の決議と民衆裁判所の判決によって、万事を取り仕切っているからである。(出典：アリストテレス『アテナイ人の国制』第 41 章より、一部改変)

A 下記の問い 1～5 について、最も適切な答えをイ～ニから一つ選び、マーク解答用紙にマークせよ。

1 空欄 a に当てはまる人名は何か。

イ リュクルゴス ロ レオニダス ハ ドラコン ニ ミノス

2 空欄 d に当てはまる人物が行ったことは何か。

イ 部族制の再編 ロ アルコン制の廃止 ハ 陶片追放制の廃止 ニ ファランクス戦法の開始

3 下線部 e 中に起った①～④の戦闘を時系列に並べるとすれば、適切なのはどれか。

① スパルタの将軍パウサニアスが指揮するギリシア連合軍が、プラタイアでペルシア軍を撃破した 4

② アテナイを中心とするギリシア連合軍の艦隊が、アテナイ西方の海峡(水道)でペルシア艦隊を撃破した。 3

③ ミルティアデスが指揮するアテナイの重装歩兵軍が、アテナイ北東の地に上陸したペルシア軍を破った。 1

④ テッサリアを南下し中部ギリシアへ向け進軍するペルシア軍が、ギリシア軍を破り、スパルタ王が戦死した。 2

イ ①→③→②→④ ロ ①→③→④→② ハ ②→③→④→① ニ ③→④→②→①

4 空欄 f に当てはまる語句は何か。

イ 五百人評議会 ロ アレオパゴス評議会 ハ ヘラス同盟 ニ 隣保同盟

アレオパゴスとは古代ギリシア、アテネのアクロポリス北西の丘であり、「アレイオスの丘」の意。そこで開かれたアレオパゴス会議は、王政時代においては長老会であったらしいが、貴族政時代以後、アルコン職を経た者が終身の成員となって政治の実権を掌握し、アルコンも選んでいたと考えられる。しかしソロン改革によってその権限は縮小され、前 462 年エフィアルテスが殺人罪などの裁判以外の諸権能を民会などに移行、またアルコンが一般市民から抽選で選出されるにいたって、アレオパゴス会議は権威を失った。50 年頃使徒パウロはこの丘でアテネ市民に説教したと『使徒行伝』に記されている。

5 下線部 h を成立させていた軍事同盟の金庫を前 454 年にアテナイへ移した政治家は誰か。

イ アナクレオン ロ キュロン ハ テミストクレス ニ ペリクレス

B 下記の問い 1～4 について、最も適切な答えを記述解答用紙に記せ。

1 空欄 b に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。民主

2 空欄 c に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。僭主

3 空欄 g に当てはまる語句をカタカナで記せ。デマゴーゴス

4 空欄 i に当てはまる語句を漢字二文字で記せ。民会

《出典》アリストテレス「『アテナイ人の国制』第 41 章」

【11】

早稲田大学 文

次の文章を読んで、設問 1～5 に答えなさい。マーク解答用紙の所定欄に一つだけマークすること。

□ A が率いるアテネは、□ B 戦争に勝利したのち、名実ともにギリシアのポリスの盟主となり、紀元前 447 年、アクロポリスの丘に、アテナ女神をまつるパルテノン神殿(図 1)再建に着手した。建築と彫刻の総指揮をとったのは、彫刻家□ C である。紀元後 6 世紀以降、パルテノン神殿は□ D 帝国の下で、キリスト教の教会となり、大理石に聖母マリアなどの壁画が描かれた。15 世紀以降オスマン帝国によって、パルテノン神殿は一時モスクとして使用され、ミナレットも増築された。17 世紀後半にアテネがヴェネツィア共和国から攻撃を受けた際、火薬庫として用いられていたパルテノンには砲撃を受け、屋根などが大破して、多くの彫刻も失われた。19 世紀初頭、イギリスの外交官であった□ E 卿はスルタンの許可を得て、パルテノンに付属する彫刻を大量に本国に持ち帰った。それらは今日「□ E ・マーブル」と呼ばれて、大英博物館の至宝となっている(図 2)。しかしオスマン帝国から独立を果たしたギリシアは、今日パルテノン彫刻の返還を強く訴えている。「□ E ・マーブル」問題は、ヨーロッパの博物館・美術館のありようを、私たちに考えさせるのである。



図1 アテネ、
パルテノン神殿

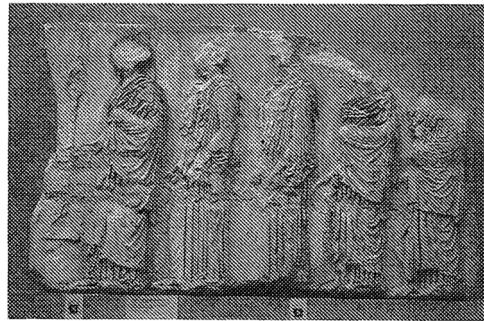


図2 ロンドン、
大英博物館、
パルテノン彫刻

設問1 に当てはまる人名を選びなさい。

イ テミストクレス **ロ ペリクレス** ハ クレイステネス ニ ペイシストラトス

設問2 に当てはまる語を選びなさい。

イ ペロポネソス ロ スパルタ ハ テルモピレー **ニ ペルシア**

設問3 に当てはまる人名を選びなさい。

イ プラクシテレス ロ エウリピデス **ハ フェイディアス** ニ ミュロン

設問4 に当てはまる語を選びなさい。

イ ラテン ロ 両シチリア **ハ ビザンツ** ニ 神聖ローマ

設問5 に当てはまる人名を選びなさい。

イ バイロン ロ ディケンズ ハ ワーズワース **ニ エルギン**

イギリスのエルギン伯ブルースがトルコ駐在イギリス公使の職にあった1799～1802年にかけて、ギリシアからイギリスに持運んだギリシア彫刻を「エルギン・マーブル」という。その大半はパルテノンの彫刻で、その他エレクトイオンのカリュアティド1本とその円柱1基、アテナ・ニケ神殿のフリーズ4板石、ペリクレスの胸像などが含まれている。16年イギリス政府が一括して彼から購入、以後大英博物館の所有となった。

演習追加問題(ローマ共和政)

【1】 中央大学 経済

以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

建国伝説によれば、⁽⁷⁾ローマ(き)は前753年にラテン人によってティベル河畔に建設された。当初は王政であり、初代のロムルス以降、7人の王によって統治されたという。だが、前509年に最後の王が追放され、ローマは共和政に移行した。初期の共和政ローマでは、貴族(パトリキ)と平民(プレブス)という身分の違いが存在していた。一般に、政治上の要職は貴族によって独占される傾向が強く、それに対する平民の不満が両者間の身分闘争の主要な原因となった。まず、前5世紀初頭に平民が組織的な市外退去を行ない、貴族側から譲歩を引き出すことに成功する。この結果、平民のみで構成される平民会の設置と、元老院やコンスルの決定に対して拒否権を発動できる護民官を平民から選ぶことが認められた。次に、前450年頃、従来の慣習法を初めて成文法の形で示した十二表法が制定・公開された。これは、それまで曖昧であった市民権の明確化と貴族による法の恣意的な運用の抑制をつうじて、平民の地位向上に役立った。さらに、前367年の(Aリキニウス・セクスティウス)法によって、公職の頂点をなすコンスルのうち1人は平民から選出されることになる。その後、前287年には(Bホルテンシウス)法が成立し、元老院の承認がなくても平民会の決議が国法となることが認められた。このような一連の成果によって政治的安定をひとまず実現すると、ローマは対外的な勢力拡大に乗り出す。前4世紀後半以降、ローマはラテン同盟戦争、サムニウム戦争を勝ち抜き、前272年にはギリシャ人の植民都市⁽⁸⁾タレントゥム(こ)を陥落させ、イタリア半島を統一した。半島の支配権を確立したローマは、次に地中海へ進出していく。前264年、ローマは地中海交易の拠点で穀物生産地としても重要であったシチリア島の支配をめぐる⁽⁹⁾カルタゴ(い)と衝突し、ポエニ戦争が勃発した。第2回ポエニ戦争では、冬のアルプスをこえて北イタリアに侵入したハンニバルに大敗を喫するなど、ローマは苦戦を強いられることもあった。だが、ローマは前202年の(Cザマ)の戦いで第2回ポエニ戦争に勝利し、第3回ポエニ戦争で最終的な勝利も収める。その結果、カルタゴは完全に破壊され、歴史上から姿を消すことになった。

ポエニ戦争と並行して、ローマはヘレニズム世界への侵攻も企てた。まず、第2回ポエニ戦争で一時カルタゴに味方した(Dマケドニア)王国と戦い、前168年に滅亡に追い込む。続いて、カルタゴを葬り去った同じ前146年、ローマはアカイア戦争にも勝利し、他のギリシャ都市への見せしめの意味も込めて、反抗したコリントスを徹底的に破壊した。さらに前133年には、王の遺言によって(Eペルガモン)王国がローマの領土に加えられることになった。

ところが、度重なる征服戦争は、ローマ社会内部に深刻な問題を生じさせることになる。一連の軍事的成功の結果、ローマはイタリア半島以外の征服地(属州)を次々に獲得した。これらの属州は、統治の責任者である総督や、属州民への徴税を請け負う騎士階層の搾取の対象とされ、彼らに莫大な富をもたらした。他方、長期間の従軍(しかも費用は自己負担)、戦争による農地の荒廃、属州からの安価な穀物の流入などによって、重装歩兵の担い手でローマ軍の要であった中小農民層が没落傾向を強めていく。困窮した彼らは土地を手放し、都市(特にローマ)に流入していった。彼らはそこで、一般に「パンと見せ物」を要求する無産市民となり、略奪機会が得られる征服戦争を望み、野心家の私兵と化したという。そして、売却された土地は富裕な市民たちが買い集め、彼らは征服に伴って生じた公有地を私有地化したうえで、多数の奴隷を酷使して果樹栽培を営む(Fラティフンディウム)を発達させた。

このような中小農民の没落に伴う軍事力低下に危機意識を強め、改革に着手したのがグラックス兄弟である。彼らは大土地所有を制限し、大土地所有者に返還させた土地を無産市民に分配しようとしたが、兄は反対派に殺害され、弟は自殺に追い込まれてしまう。以後、共和制ローマは⁽¹⁰⁾内乱の1世紀に突入していく。そして、この未曾有の混乱期をへて、ローマは帝政へと移行するのである。

問1 (ア)～(ウ)の都市は、地図中のどこに該当するか。もっとも適当な記号を地図中の(あ)～(こ)の中からそれぞれ選びなさい。



問2 空欄(A)～(F)に当てはまるもっとも適切な語句を記入しなさい。

問3 下線部(1)について、以下の(a)～(d)の出来事を歴史の古い順に並べなさい。

(a) カエサルの暗殺 3

(b) 同盟市戦争 1

(c) アクティウムの海戦 4

(d) スパルタクスの反乱 2

(b)→(d)→(a)→(c)

【2】明治大学 農

次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

ラテン人の一派によってティベル河畔に建設された都市国家ローマは、イタリア半島を統一したのち、西方と東方に勢力を拡大し、地中海を内海とする世界帝国を建設するにいたった。古代ローマ人は、この帝国支配をとおして⁽⁷⁾ギリシア・ローマの古典文化を地中海世界のすみずみにひろめた。

⁽⁴⁾共和政初期のローマでは、貴族(パトリキ)が中小農民を中核とする平民(プレブス)に対して政権を独占する政治状況にあった。しかし、彼ら中小農民は、重装歩兵として国防に重要な役割をはたすようになり、⁽⁷⁾貴族との同等な政治的権利をもとめて身分闘争を展開した。共和政ローマは、初期の征服戦争で⁽³⁾全イタリア半島を制覇するとともに、⁽⁴⁾三回にわたるポエニ戦争に勝利をおさめ、ついにはエジプトを併合し東方のヘレニズム世界をも支配するようになった。

だが、こうした征服戦争の拡大とともに、おおくの中小農民の没落と無産市民化が進行した。市民のあいだで貧富の格差がますますひろがった結果、市民の平等を原則とするローマの都市国家としての性格は変質し、共和政の土台は大きくゆらぎだしたのである。⁽⁸⁾大土地所有者の土地の没収とその無産市民への分配を企図したグラックス兄弟の改革があったものの、大地主の反対で失敗におわり、⁽⁴⁾ローマは「内乱の1世紀」に突入した。この混乱を武力によっておさめ、のちに独裁官(ディクタトル)として社会の安定化につとめたのは⁽¹⁾カエサルであった。前44年⁽¹⁾の暗殺後に政治はふたたび混乱したが、オクタウィアヌスによって全地中海域は平定され内乱は終わりをつげた。前27年彼は元老院から⁽²⁾アウグストゥスの称号を与えられ、自らは「市民のなかの第一人者」と称したが、事実上の皇帝として独裁政治をおこなった。これが帝政時代のはじまりとなり、⁽⁷⁾「ローマの平和」とよばれる空前の繁栄と平和の時代が約200年間つづいた。

問1 下線部(ア)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。

A ギリシアにはじまった弁論術はローマに継承され、キケロはローマ最大の弁論家といわれた。

B 十二表法を起源とするローマ法は、「ローマ法大全」に集大成された。

C 哲学者のセネカは、ギリシアのストア派の影響を強くうけた。

D エピクテトスが百科全書的な知識の集大成である「博物誌」を書いた。

エピクテトスはストア派の哲学者で、初めネロの重臣の奴隷であり、解放されてからローマで哲学を講じた。彼の学説は初期ストア派とほぼ同じで、人間として必要な哲学の意義を説き、人みな神の子という立場から博愛主義を唱えた。『博物誌』はローマの学者プリニウスの百科全書である。

- 問2 下線部(イ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A 当時の民会の議決は元老院の承認を得てはじめて国法として通用した。
 - B 元老院は任期10年の貴族300人で構成されたが定員はのちに増加した。
元老院は公職経験者の終身議員で構成するローマ再校の諮問機関です。
 - C 任期1年の最高官職であるコンスル(執政官)は貴族から選出された。
 - D 元老院によってコンスルのなかから任命されたディクタトル(独裁官)に非常時の全権が委任された。
- 問3 下線部(ウ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A 平民だけの民会である平民会が設けられた。
 - B 慣習法をはじめて成文化した十二表法が制定された。
 - C ホルテンシウス法によりコンスルのうち1名は平民から選ばれるようになった。
 - D 平民保護のための官職として護民官が設置された。
- 問4 下線部(エ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A ローマは前4→3世紀前半にイタリア半島全体を支配した。
 - B イタリア半島南部にはギリシア人の都市国家があった。
 - C イタリア半島北部にはエトルリア人の都市国家があった。
 - D 征服された諸都市は、分割統治の方法で支配された。
- 問5 下線部(オ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A ローマはフェニキア人植民市のカルタゴと西地中海の覇権をめぐって戦った。
 - B シチリア島がローマの最初の属州となった。
 - C カルタゴの名将ハンニバルは、カンネーの戦いでローマ軍に大打撃を与えた。
 - D ローマの将軍ハドリアヌス→スキピオが、ザマの戦いに大勝して第2回ポエニ戦争での勝利を決定づけた。
- 問6 下線部(カ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A 貴族や上層市民による公有地の私有化や農民からの土地買占めなどで大土地所有(ラティフンディア)が形成された。
 - B ラティフンディアは戦争捕虜を農業奴隷として使用した。
 - C ラティフンディアでは主に穀物→果樹栽培(オリーブ・ブドウ)が生産された。
 - D ラティフンディアは第2回ポエニ戦争以降急速に発達し、中小農民の没落を加速した。
- 問7 下線部(キ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A 平民派のマリウスは無産市民の志願者に武器を与えて軍団に取り込む軍政改革を行った。
 - B 閥族派のスラは、平民派を弾圧し、元老院と結んで無期限のディクタトルとなった。
 - C イタリア半島内の同盟市がローマ市民権をもとめて反乱を起こした。
 - D ポンペイウス→クラッススは、スパルタクスの反乱、ミトリダテスの反乱スラが鎮圧などを鎮圧したのち、パルティア遠征で戦死した。
- 問8 空欄(1)に最も適した人名を記入しなさい。カエサル [シーザー]
- 問9 空欄(2)に最も適した称号を下から一つ選び、解答番号(8)の記号にマークしなさい。
- A インペラトル B プリンケプス C アウグストゥス D ノビレス
- 問10 下線部(ク)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選べ。
- A トラヤヌス帝のときにローマ帝国の領土は最大となった。
 - B アントニヌス=ピウス帝→カラカラ帝はローマ帝国領内の全自由民にローマ市民権を与えた。
 - C ローマ帝国はアジアから絹・香辛料などを輸入し、ガラス器・ブドウ酒・金貨などを輸出した。
 - D 帝国内でローマ風の都市が多数建設され、都市文化が浸透した。

【3】 東京大学

歴史上、帝国と呼ばれた国家は、多民族、多人種、多宗教を包摂する大きな領域をその版図におさめている場合が多かった。それらの国家の繁栄と衰退、差異や共通性、内外の諸関係について、次の設問に答えなさい。

問(1) ローマはテヴェレ川のほとりに建設された都市国家にすぎなかったが、紀元前 6 世紀に、エトルリア人の王を追放して共和政となった。その後、周辺の都市国家を征服してイタリア半島全体を支配し、やがて地中海世界を手中におさめる大帝国となった。ローマが帝政に移行する紀元前後からおよそ 200 年にわたる時期はパクス＝ローマーナとたたえられ、平和が維持された。

(a) ローマの平和と繁栄を示す都市生活を支えていた公共施設について、2 行以内で説明しなさい。

ローマと各地を結ぶ道路網が整備され、水道橋も各地につくられた。また、円形闘技場や公共浴場が市民の娯楽施設として建設された。

(b) ローマの市民権の拡大について、2 行以内で説明しなさい。

前 1 世紀の同盟市戦争の結果、イタリア半島の全自由民に与えられ、3 世紀のカラカラ帝のアントニヌス勅令で帝国の全自由民に拡大した。

演習追加問題(ローマ帝政)

【4】 学習院大学 経済

次の文章を読み、それぞれ(1)～(10)の設問について〔 〕内の語句から最も適切と思われるものを選べ。

A アウグストゥスに始まるローマ帝政は、紀元後 3 世紀を境に大きく 2 つに分けられる。帝政前期の政治体制は、皇帝が(1)〔① 市民の第一人者 ② 市民の救済者 ③ 世界の救済者 ④ 世界の支配者〕を意味するプリンケプスと称したことからプリンキパトゥスと呼ばれ、この語は「元首政」と訳される。帝政後期の政治体制は臣下に対する皇帝の地位が奴隷に対する主人の如くなったため、主人を意味する(2)〔① エクィテス ② オプティマテス ③ ドミヌス ④ プブリカニ〕にちなんで名付けられ、日本語では「専制君主政」と訳されている。アウグストゥス帝から 2 世紀後半の五賢帝最後の皇帝(3)〔① アントニヌス＝ピウス ② ウェスパシアヌス (在位 69～79) は、騎士身分出身のたたき上げの軍人から登位し、ネロ帝没後の内乱を收拾してフラウィウス朝を開始した。③ ネルウァ ④ マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス〕までを「パックス＝ローマーナ(ローマの平和)」の時代と呼び、ローマ帝国は平和を享受していた。この時代のローマ帝国は、街道を整備し、各地に都市を建設してギリシアやローマ風の都市文明を帝国の隅々までひろめた。またローマ帝国の東方属州の商人たちは、季節風(モンスーン)を利用して(4)〔① インド ② オーストラリア ③ スカンジナビア ④ 中央アジア〕への貿易路を開拓した。ローマ帝国は、3 世紀に危機を迎えた。対外的には、北方からゴート人などのゲルマン諸族が侵入し、東方からは(5)〔① アルサケス ② アケメネス ③ クシャーナ ④ ササン〕朝が帝国の東方属州を脅かしたのである。対内的にも、外敵の侵入に動揺した帝国の辺境地方に駐屯していた軍隊が、それぞれの司令官を皇帝に擁立して争う内乱が起こった。これらの皇帝を軍人皇帝と呼ぶ。これらの危機の結果、帝国財政も悪化し、帝国政府は粗悪な貨幣への改鑄で対処したため、貨幣価値は急落してインフレーションが帝国を襲った。この危機を收拾して、ローマ帝国を再生させたのが、自らも軍人皇帝であった(6)〔① カラカラ ② ウァレリアヌス ③ シャープール ④ ディオクレティアヌス〕であった。(6)帝は、(7)〔① テトラルキア ② デモクラティア ③ ポプラレス ④ モナルキア〕と呼ばれる体制を樹立し、2 人の正帝(アウグストゥス)と 2 人の副帝(カエサル)が協力して帝国を統治し、外敵の侵入を防ぐようにした。また、(6)は最高価格令を發布して、インフレーションの沈静化を試みるなど帝国の安定化をはかった。(6)の引退後に再び皇帝たちの間に内乱が勃発したが、コンスタンティヌ

ス1世が帝国を再統一した。彼は、ソリドゥス金貨を発行して貨幣価値を安定させ、ヨーロッパとアジアの境に位置するギリシア人都市(8)〔① カルケドン ② ニコメディア ③ **ビザンティオン** ④ ミレトス〕をコンスタンティノポリスと改名し、ローマ帝国の新しい首都とするなど、後期帝政の体制を確立した。(6)帝は、帝国の混乱沈静化に際してローマの伝統的な宗教を利用したため、(9)〔① アウグストゥス ② **トラヤヌス** ③ **ネロ** ④ ハドリアヌス〕帝の最初の迫害以降、繰り返し迫害されていたキリスト教への圧迫を強め、303年に最後の大迫害を開始した。これに対して、313年に西の正帝であったコンスタンティヌス1世は、東の正帝と(10)〔① エフェソス ② ニケーア ③ **ミラノ** ④ ローマ〕において会見して勅令を発布し、キリスト教を公認した。これ以降、キリスト教は皇帝たちの庇護の下で信者の数を増やし、テオドシウス帝時代にはローマ帝国の国教となった。

【5】津田塾大学 学芸

次の文を読み、設問に答えなさい。

古代ローマの帝政時代は、**1 オクタウィアヌス**が元老院からアウグストゥス(尊厳者)の称号を与えられた前27年に始まる。彼は共和政の伝統と元老院の威光を尊重しながらも、万人にまさる権威をもつ**2 プリンケプス**の称号を用いてほとんどすべての要職を兼任し、全政治権力を手中に収めていた。続く約200年間の時代は**3 パックス＝ロマーナ [ローマの平和]**と呼ばれ、特に(A)五賢帝の時代には最盛期をむかえる。ローマ風の都市が道路や水道とともに国境近辺にまで建設され、**4 ローマ市民**権の対象範囲も徐々に拡大されて**5 カラカラ**帝のときには帝国の全自由人に与えられた。商業活動も繁栄し、インド洋の**6 季節風**を利用した**6 季節風**貿易によって中国・東南アジア・インドから絹や香辛料がもたらされた。その様子は、1世紀頃から2世紀頃に成立したとされる航海案内書『**7 エリュトゥラー海案内記**』に詳しく述べられている。ところが、帝国は次第に「3世紀の危機」と呼ばれる状況に陥っていく。特に**8 軍人**皇帝の時代とされる約50年間には、各属州の軍勢力を背景に皇帝が乱立し、帝位が頻繁に入れ替わった。内乱と異民族の侵入に対するために軍力が増強され、都市は重税を課されて経済的に弱っていった。上層民のなかには都市を去り、田園で下層民などを**9 コロヌス**として働かせ、大所領を経営するものも現れた。このような帝国の危機に対応するため**10 ディオクレティアヌス**帝は(B)テトラルキアという統治体制を導入することにより政治的秩序を回復した。なお**10 ディオクレティアヌス**帝以降の皇帝主導による強権的な政治体制は**11 専制君主政 [ドミナトゥス]**と呼ばれる。**10 ディオクレティアヌス**帝が退位すると帝位継承をめぐって争いが起こり、帝国は再び内乱状態に陥った。この内乱を収めて帝国を再統一したのは**12 コンスタンティヌス**帝である。**12 コンスタンティヌス**帝は帝国の統一を維持するため、官僚制を整備するとともに、(C)それまで迫害されてきたキリスト教を公認し、ソリドゥス金貨を発行して通貨を安定させ、**9 コロヌス**の移動を禁止して身分を固定化することで税収を確保した。また、新たな首都をビザンティウムに建設してこれを**13 コンスタンティノープル**と改称した。

ソリドゥス金貨はコンスタンティヌス1世(大帝)の通貨改革によってつくられた金貨で、ギリシア語名ノミスマ、のちにはヒュペルピュロンと呼ばれた。ビザンツ帝国での通貨制度の支柱であり、11世紀中頃までは国内はもとより、国外においても「中世のドル」といわれるほどの安定度を保った。

12 コンスタンティヌス帝の諸改革にもかかわらず、巨大な軍隊と官僚組織をささえるための重税は属州の反乱を招き、さらにゲルマン人の大移動により社会は混乱をきわめた。帝国の分裂は避けがたく、**14 テオドシウス**帝は帝国を東西に分割して2子に分け与えた。その後**13 コンスタンティノープル**を首都とする東ローマ帝国(ビザンツ帝国)は1000年以上存続することになるが、西ローマ帝国では混乱が続き、ついにゲルマン人傭兵隊長**15 オドアケル**によって皇帝が退位させられた。

問1 空欄**1**～**15**に最も適当と思われる語を入れなさい。

問2 下線部(A)について、

(1) 属州出身者として初めて皇帝となり、帝国の最大版図を実現したのは誰ですか。 **トラヤヌス**

(2) 先帝の対外積極策から内政整備と辺境防衛に転じ、ブリタニアに長城を築いた皇帝は誰ですか。

ハドリアヌス

(3) 『自省録』を著したストア派の哲人皇帝は誰ですか。マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス

(4) 北方の素朴で勇敢なゲルマン人の社会と、爛熟し退廃に向かいつつあるローマを対比した民族誌を著し、ローマ社会に警告を与えようとしたとされる歴史家は誰ですか。『ゲルマニア』 タキトゥス 共和派

問3 下線部(B)について、どのような統治体制か、簡潔に説明しなさい。

全領域を四分し、正帝2人と副帝2人で分担して統治する。

問4 下線部(C)について、

(1) 64年のローマ大火の責任をキリスト教徒に負わせ、信者を弾圧した皇帝は誰ですか。ネロ

(2) 3世紀半ば以降、皇帝が国家の方針としてキリスト教徒を弾圧した理由を、簡潔に述べなさい。

皇帝主催の共同祈願祭などの参加を拒否したため

(3) 増大するキリスト教徒を懐柔するために信教の自由を保障し、313年に発布したとされる勅令は、何という勅令ですか。ミラノ勅令

【6】青山学院大学 経済学部

次の文章を読んで下記の設問に答えなさい。答えは、各問末尾の選択肢 a～c から一つを選び、その記号をマークしなさい。ただし、a～c に正しいものが無い場合、あるいは二つ以上選択可能な場合は、d をマークすること。すべてマークすべき記号は一つである。二つ以上マークした場合は誤りとする。第2回(①三)頭政治崩壊後の内乱は、前31年の(② アクティウム)の海戦で終わった。その勝者オクタウィアヌスが帝政を開始する。前27年にアウグストゥスの称号を与えられたオクタウィアヌスは、共和政の伝統を尊重しながら独自の体制を作り上げる。この体制は、帝政後期の(③ ドミナートゥス)と区別して(④ プリンキパトゥス)と呼ばれる。以後、帝政前期にはパクス・ロマーナが実現され、帝国は繁栄した。ただし、ゲルマン人の征服は、後9年の(⑤ トイトブルク)の戦いの結果、失敗に終わった。また、アウグストゥスの治世には、ユダヤでイエスが生まれている。その弟子たちによってイエスをキリストと信じるキリスト教が広められたが、ローマでは、⑥ストア派の哲学者(⑦ セネカ)を師として成長したネロが帝位にある時代に迫害を受ける。この⑧ネロの迫害によって使徒ペテロ、パウロも殉教したと伝えられている。

2世紀に入るとローマ帝国は、いわゆる(⑨五)賢帝の下で最盛期を迎える。その一人、(⑩マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス)はストア派の哲学者としても有名であり、『自省録』を著している。この哲人皇帝もまた、キリスト教徒を迫害した。しかし、多くの殉教者を出しながらもその教えは広まり、やがて⑪『新約聖書』がまとめられ、正統派教会の原型が形成され始める。

3世紀には、ゲルマン人など異民族の侵入が激化し、軍人皇帝時代に突入したローマ帝国は混乱する。(⑫ディオクレティアヌス)が改革を断行し(⑬四)分統治を始め、内外の敵と戦い、一応混乱を治めた。これによって帝政は(③ドミナートゥス)へと移行する。帝国の精神的統一を目指した

(⑫ ディオクレティアヌス)は、キリスト教を厳しく迫害した。最大の、しかし最後の大迫害であった。他の分野では、ほぼ(⑫ディオクレティアヌス)の路線を継承発展させた(⑭コンスタンティヌス)が、宗教政策では大転換を行なったのである。後313年にキリスト教を公認し、教会を保護した。以後、帝国とキリスト教の結び付きが強まり、ついに後392年、(⑮ テオドシウス)によってカトリックが帝国の国教とされるのである。

問1 ①, ⑨, ⑬, に入るべき数字はどれか。

① a. 三 ⑬ b. 四 ⑨ c. 五

問2 ②, ⑤に入るべき地名はどれか。

⑤ a. トイトブルク ② b. アクティウム c. サラミス

問3 ③, ④に入るべき語句はどれか。

- a. コロナトゥス ④ b. プリンキパトゥス ③ c. ドミナートゥス

問4 ⑦, ⑩に入るべき人名はどれか。

- a. ハドリアヌス b. トラヤヌス
⑦ c. セネカ ⑩ d. マルクス=アウレリウス=アントニヌス

問5 ⑫, ⑭, ⑮に入るべき人名はどれか。

- ⑭ a. コンスタンティヌス ⑫ b. ディオクレティアヌス ⑮ c. テオドシウス

問6 下線⑥のストア派の説明文として正しいのはどれか。

- a. ヘレニズム時代に生まれた哲学である。ゼノンを祖として、コスモポリタニズムと個人主義、そして禁欲主義に特色がある。
- b. サモス島生まれのエピクロスが開いた学派で、人生の目的は心の平静を得ることだと説く。快楽主義の哲学と呼ばれる。エピクロス派
- c. プロティノスを開祖とする哲学。プラトン哲学を継承するが、神秘主義の傾向がかなり強い。キリスト教哲学に大きな影響を与えることになる。新プラトン主義

問7 下線⑧のネロの迫害の説明文として正しいのはどれか。

- a. ローマ支配に対してユダヤ人が大反乱を起こした。ネロはその徹底的な鎮圧を命じるが、その関連でローマ市内のユダヤ人、キリスト教徒も処刑されたのである。
- b. ネロは帝国全土に亘り、伝統的な神々に犠牲を捧げることを命じた。それを拒否したローマ市内のキリスト教徒が処刑されたのである。
- c. ローマ市で発生した大火の責任を、ネロはキリスト教徒に擦り付け、見世物として処刑し民衆に納得させようとしたのである。

問8 下線⑩の『新約聖書』の説明文として正しいのはどれか。

- a. 帝国の公用語であるラテン語で書かれている。
- b. 帝国東部で通用したギリシア語で書かれている。
- c. 27書からなるが、パウロの手紙が重要な位置を占めている。

『新約聖書』(キリスト教の経典)は旧約聖書とともに聖書(バイブル)と称す。全27巻。キリストの言行を記した福音書、初代教会の発展を記した使徒言行録、使徒たちの書簡およびヨハネの黙示録を含む。

新約とはイエス=キリストによる新たな救済の契約の意で、原文はヘレニズム時代のギリシア語(コイネー)で書かれた。キリスト教の正典としてまとめられたのは四世紀末である。まず冒頭にイエスの言行録を記すマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネによる4福音書が位置しているが、そのうちではマルコがもっとも古く、後65年ころに書かれたと考えられ、マタイとルカはほぼ確実にそのマルコ福音書を使用している。次に初代の使徒たちの宣教活動を記す《使徒行伝》が続くが、これは《ルカによる福音書》と同一の著者によって80-90年ころに執筆されている。次にパウロの13の手紙が含まれているが、そのうち大多数の学者によって疑いなくパウロの真正の手紙とみなされているものは、今日七つのみ(ローマ、第1と第2コリント、ガラテヤ、ピリピ、第1テサロニケ、ピレモン)であり、残りはパウロの弟子たちによるものと思われる。

ローマは、イタリア半島の小さな都市国家からその国の歴史を始めたが、次第に領土を拡大して、前1世紀後半にはついに地中海周辺地域のほとんどを領有する大国家となった。この過程で、ローマ国家は都市国家の体制から大きく変化した。前3世紀から前1世紀にかけて生じたローマ国家の軍隊と政治体制の最も重要な変化を、300字以内で説明せよ。解答にあたっては、下記の2つの語句を適切な箇所ですべて用い、用いた箇所には下線を施せ。また、句読点も字数に含めよ。

私兵

元老院

京大

重装歩兵として国防を担った平民は貴族に参政権を求めて身分闘争を展開し、ホルテンシウス法で法律上の平等を獲得したが、共和政期の政治は貴族と富裕な平民の一部が形成した新貴族により独占され、元老院の指導権も維持された。その後、ポエニ戦争などにより中小農民が没落し重装歩兵が弱体化すると、その再建を図ったグラックス兄弟の改革も失敗し、ローマは「内乱の1世紀」へ突入した。その最中、マリウスが無産市民の志願者を軍団に取り込む軍制改革を行い、軍隊は有力者の私兵となっていた。その後、ローマは三頭政治を経て、共和政の伝統を形式上尊重し、プリンケプスであるオクタウィアヌスが実権を掌握する元首政に移行した。

(別解)

共和政ローマでは貴族中心の元老院が大きな力を持っていた。中小農民を基盤とする重装歩兵の軍制は、半島統一後のカルタゴとのポエニ戦争後に崩れていった。それは長期の従軍によって中小農民が没落し、無産市民化したためであるが、これに対してグラックス兄弟が自作農の再建を試みたが失敗に終わった。以後の「内乱の1世紀」の過程で平民派のマリウスが無産市民を私兵とする軍政改革を行い、閥族派のスラと抗争した。その後の第一回三頭政治を経てカエサルが独裁権を獲得し、カエサル暗殺後の第二回三頭政治後、オクタウィアヌスが権力を握った。彼は元老院と共和政を尊重するという元首政を始めたが、実質上皇帝による帝政の始まりであった。

早慶の過去問からの発展・応用(ローマ史)

【1】 早稲田大学 法

西洋の各時代における政治制度や議会の歴史に関するA・Bの文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

A

紀元前1000年頃、ティベル河畔に建設された都市国家ローマは、先住民であるエトルリア人の支配を受け、最初王政をとっていたが、①前6世紀末に王を追放して共和政を築いた。しかし、貴族と平民さらに非自由民としての奴隷との身分差があるため、最高の官職である執政官は貴族から選ばれ、実質的な支配を握っていたのは、貴族の会議である元老院であった。したがって、共和政といっても実質上は貴族政であり、②この貴族支配に対して、前5世紀から平民を中心にした身分闘争が政治における平民と貴族との権利の平等が図られた。

その後、ローマの地中海征服や属州支配によって中小農民が没落する一方で、新たな富裕層として騎士階層が台頭し、市民の間の経済格差は広がった。この結果、政治家は、元老院の伝統を守ろうとする閥族派と、騎士や無産市民が支持する平民派に分裂して政治闘争を繰り返すようになった。グラックス兄弟の改革が失敗し、各地で反乱が起こるなど、ローマは内乱の時代に入るが、③前1世紀の2回にわたる三頭政治を経て、ようやく混乱に終止符がうたれた。権力の座についたオクタヴィアヌスは前27年、元老院からアウグストゥス(尊厳者)の称号を与えられ、市民の中の第一人者を自称したが、④事実上の皇帝独裁が開始された。

設問1 下線部①に関連して、同じ前6世紀頃、ギリシアでも民主政の改革が行われたが、これについて述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 ソロンが国制改革を実施し、財産額によって市民の参政権を定め、貴族と平民の調停を図ろうとした。
- 2 アテネの僭主ペイシストラトスは、中小農民の保護・育成に努め、平民層の力を向上させた。
- 3 アテネのクレステネスは、血縁による4部族制を、地域的な10部族制に改める改革を行い、民主政の基礎を固めた。

4 ペリクレスの指導の下で、アテネの民主政は完成に向かい、ペロポネソス同盟を結成して、ペルシア戦争を戦った。

設問2 下線部②に関連して、平民の地位向上に役立ったと考えられるローマの法律や議会について、古いものから時代順に正しく並んでいるのはどれか。次の1～4から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 リキニウス・セクスティウス法の制定 → 十二表法の制定 → 平民会の設置 → ホルテンシウス法の制定
- 2 ホルテンシウス法の制定 → 平民会の設置 → 十二表法の制定 → リキニウス・セクスティウス法の制定
- 3 平民会の設置 → 十二表法の制定 → リキニウス・セクスティウス法の制定 → ホルテンシウス法の制定
- 4 十二表法の制定 → ホルテンシウス法の制定 → リキニウス・セクスティウス法の制定 → 平民会の設置

設問3 下線部③について、三頭政治に関連して述べた次の1～4の説明の中から正しいものを一つ選びなさい。

- 1 閥族派のスラ、平民派のカエサル、騎士階層出身のクラッススによって、第1回三頭政治が前60年に始められた。
- 2 カエサルはインペラトルの称号をうけてガリアに遠征し、『ガリア戦記』を残した。
- 3 アントニウス、ポンペイウス、レピドゥスによって、第2回三頭政治が前43年に始められた。
- 4 オクタヴィアヌスはアクティウムの海戦で、アントニウス・クレオパトラ連合軍を破った。

設問4 下線部④に関連して、ローマの皇帝政治について述べた次の1～4の説明の中から誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 皇帝ネロは、キリスト教徒を迫害するなど残虐な政治を行い、追放されて自殺した。
- 2 五賢帝の最初の皇帝であるトラヤヌスのときに、ローマ帝国は最大の版図を実現した。
- 3 五賢帝の最後の皇帝マルクス=アウレリウス=アントニヌスは、『自省録』を著すなど、哲人皇帝と呼ばれる。
- 4 ディオクレティアヌス帝は、ローマ帝国を4分し、正帝と副帝を2人ずつたてる四分統治制をとった。

【2】 早稲田大学 政治経済

下記のAに答えよ。

A 次の問い1～7について、最も適切な答えをそれぞれイ～ニの中から一つ選べ。

1 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ ミルティアデスの率いるアテネの重装歩兵軍は、マラトンに上陸したペルシア軍を破った。

ロ レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーに侵入してきたペルシア軍を撃退した。

ハ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で大艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。

ニ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイ(プラテーエ)の陸戦で破った。

2 いわゆるヘレニズム時代に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ マケドニアのアレクサンドロスは、イッソスの戦いでペルシアのダレイオス3世の軍を破った。

ロ アレクサンドロス大王の死後、ディアドコイを自称する部将たちの間で抗争が起こった。

ハ アレクサンドロス大王の部将の一人であるプトレマイオスは、エジプトに新たな王朝を開いた。

ニ この時代に彫刻家のフェイディアスが、「ミロのヴィーナス」や「ラオコーン像」などの傑作を生み出した。

3 共和政時代のローマに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ 元老院は三つの民会の一つであり、コンスルを任命するなど、ローマでもっとも権威ある機関だった。

古代のローマ市民の集会である民会は、全市民が特定の日、前兆を占ってから開かれ、グループ単位で投票する。各グループ内の多数意見がそのグループの投票を決定。役人が議題を提出し、市民はそれを修正することが許されず、賛否のみを表わすことができる。決定が法的に有効とされるには元老院の承認を必要としたが、前4世紀には形式的なものになった。構成するグループにより、クリア(古代ローマ市民の区分単位。王政期から存在し、隣合った数家族から構成され、パトリキ(貴族)とプレプス(平民)を含む。)単位の民会、ケントゥリア(古代ローマの軍事組織の最小単位。百人隊。60ケントゥリアが1軍団を形成。前5世紀なかば頃、兵員会の投票単位として財産評価に従い定められた。)単位の兵員会、トリブス(都市国家古代ローマの住民の行政、財政、軍事の構成単位。起源は不明確だが最初期のローマはラムネス、チチエス、ルケレスの血縁的な3トリブスから成り、それぞれパトリキ(貴族)とプレプス(平民)を含む10クリアから成っていた。)単位の平民会などあり、特に平民会は前287年のホルテンシウス法により国政機関となった。

ロ ローマは西地中海の支配をめぐるカルタゴとたびたび戦い、(大)スキピオはザマの戦いでハンニバルを破った。

ハ 共和政末の内乱のなかで平民派のカエサルが頭角を現し、ポンペイウスを倒して、インペラトルの称号を手にした。

ニ カエサルの暗殺後、アクティウムの海戦で勝利したオクタヴィアヌスがアウグストゥスという称号を手にした。

4 ローマ帝国時代のキリスト教に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

イ パリサイ派のユダヤ教徒だったパウロは、回心してキリスト教徒になり、帝国各地に伝道を行った。

ロ ディオクレティアヌス帝は、帝国の統一のため皇帝に対する崇拜を強制し、キリスト教徒に対する迫害を行った。

ハ コンスタンティヌス帝は、キリスト教の信仰の自由を認めるとともに、ニケーア公会議で教義の統一を図った。

ニ テオドシウス帝は、エフェソスで公会議を開催し、三位一体説に反対するアリウス派を異端とする決定を行った。

エフェソス公会議はネストリウス問題の解決のために431年、小アジアのエフェソスで開催された公会議であり、皇帝テオドシウス2世が招集した

【3】早稲田大学 第一文学部

ローマは、図にあるように地中海沿岸を中心に広大な地域を支配した。図には幾つかの場所を示した。この図を見ながら、設問1～4に答えなさい。

設問1 地図上のDはギリシア植民地を起源とする都市であり、ローマ時代以降も地中海交易の拠点として栄えた。この都市の名をローマ時代の名称で答えなさい。

マッサリア [マッシリア]

設問2 ローマとカルタゴとの長い戦いの過程で、前216年に地図上のHにおいて史上まれに見る凄惨な会戦があった。勝者となった軍を率いたのは誰か。名前を答えなさい。

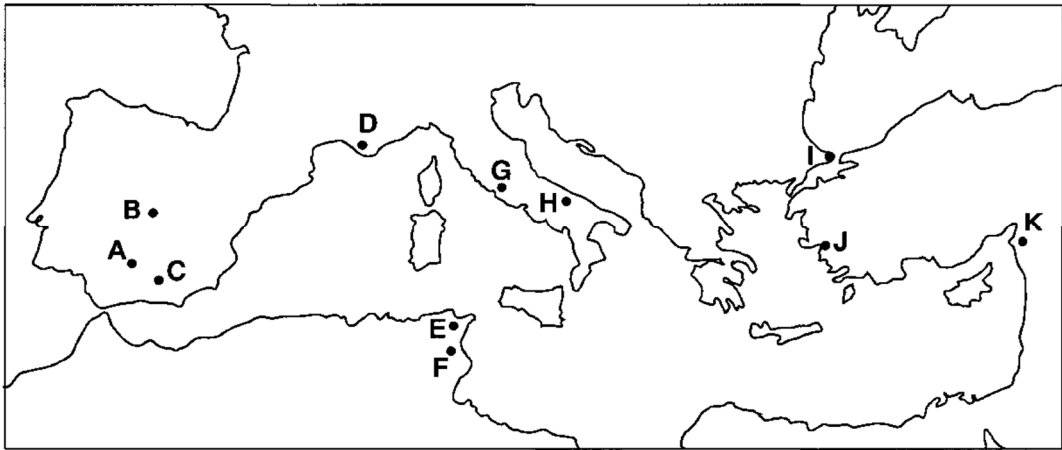
ハンニバル

設問3 キリスト教会の歴史は異端排除の一面を持つ。431年に地図上Jで開催された宗教会議では、ある有力な人物の説を異端として彼を追放した。彼の教えは後にシリア・ペルシアを中心に東方に広まった。この人物の名を答えなさい。

ネストリウス

設問4 起源がローマ時代にさかのぼるこの都市は、西ゴート王国の中心となり、中世を通じてイスラム文化とキリスト教文化の接点として重要な位置を占め、カスティリヤ王国の首都にもなった。この都市に該当する記号を地図から選び、答えなさい。さらに、この都市の名を現在名で答えなさい。

B, トレド



【4】 早稲田大学 教育学部

次のイベリア半島の歴史に関する文章を読み、下線部に関する問い(1)～(10)に答えなさい。また、波線部に関連する設問A、Bの解答を記入しなさい。

第1次ポエニ戦争後、カルタゴはイベリア半島の植民を強化した。ハンニバルが、イベリアの首都というべき植民市からイタリア遠征に出立した⁽¹⁾のは、その豊かな人的・経済的資源を用いたからである。ハンニバル軍はローマ直前まで迫った⁽²⁾が、カルタゴはイベリア半島と本国を攻められ、結局イベリア半島は勝利したローマの支配下に入った。その後、ローマ帝国の崩壊とともに、半島にゲルマン諸部族が侵入し、一部族は8世紀にイスラム教徒が侵入してくるまで王国を維持した⁽³⁾。

(1) この植民市は現在のどこか。

- a アリカンテ b カディス c **カルタヘナ** d バルセロナ

スペイン南東部、地中海沿岸の都市で地中海沿岸で最も重要な海軍基地でもある。温暖な地中海気候に恵まれ、都市周辺ではオレンジ、ブドウ、オリーブ栽培が盛んである。カルタヘナの名は、紀元前223年同市を植民化したカルタゴ人が命名したカルタゴ・ノウァ(新カルタゴ)の意)に由来。地中海交易活動の拠点であり、特にローマ時代に最も栄えたが、イスラーム支配の時代にはその役割をアルメリア港に譲った。

(2) ハンニバルがイタリア南東部でローマ軍を撃破した戦いはどれか。

- a カタラウヌム b **カンネー(カンナエ)** c ザマ d ピュドナ

(3) このゲルマン部族はどれか。

- a ヴァンダル b ブルグンド c ランゴバルド d **西ゴート**

【5】 早稲田大学 政治経済学部

次の1～4のそれぞれの文のなかで、誤りのないものを二つ選び、マークせよ。

イ エトルリア人の王を追放して共和政が樹立されたローマでは、統領や護民官など政務官が平民会の選挙によって選ばれた。

ロ 貴族と平民の身分闘争の過程でディクタトルとなったホルテンシウスは、平民からもひとりのコンスルを登用する改革をおこなった。

ハ **ポエニ戦争後のローマでは、元老院を中心とする門閥派と、平民会を中心とする平民派の対立が続き、平民派のマリウスと門閥派のスラが相次いで実権を握った。**

ニ マリウス→スラの後継者のポンペイウスは、元老院を抑えるために平民派のカエサルたちと第一回三頭政治を樹立したが、カエサルによって打倒された。

ホ **オクタヴィアヌスはプロトマイオス朝の女王と手を組んだアントニウスを打倒し、元老院からアウグストゥスの称号を与えられた。**

【6】 早稲田大学 商学部

次の文章を読み、下線部A～Lについての問に答えよ。解答は解答用紙に一つだけマークせよ。

ヨーロッパの都市は長い伝統をもっている。すでにA紀元前8世紀にはギリシア、小アジア地域にBポリス(polis)と称する都市国家が成立しており、村落に住んでいた地主が「集住」(シノイクスモス)し次第に人口が増していった。ポリスの全盛期は、その数が1,000以上にも上ったといわれるがその一つ一つが政治的、経済的単位を形成していた。なかでもCアテネは次第に他のポリスに対し指導的な地位を獲得し、またDアテネ市民の活発な政治参加はかれらの文化にも大きく影響するとともにE後年のイスラムやヨーロッパの思想も古代ギリシアの学問から多くのものを学んでいるのである。一方イタリアを中心に住んでいたFエトルリア人は紀元前9世紀ごろからいくつかの都市を作り、紀元前7世紀末にはローマをも支配しそこに都市国家を設けていた。ところがラテン人は次第にエトルリア人を圧倒し、紀元前509年、ラテン人はエトルリア王を追放して、都市国家を建設し貴族共和政といわれる政治体制をとった。この体制の中で平民は次第に貴族に対抗するようになるが、元老院の存在を始めとしてG共和政ローマはギリシア・アテネ市民による民主政とは当初から明らかに異質のものであった。そして紀元前27年Hオクタヴィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を受け、これを境にローマは共和政の伝統と決別しI皇帝による支配への道を歩むことになる。

問A 下線部Aに関して、紀元前8世紀におこったことはどれか。

1. ソロンの改革が実施された。前6世紀初期
2. マガダ国がガンジス川流域を統一した。前5世紀コーサラ国を併合
3. ペイストラトスが僭主となって政権を握った。前6世紀半ば
4. 中国で春秋時代が始まった。
5. キュロス2世がアケメネス朝ペルシアを建国した。前6世紀後半に新バビロニア滅亡(ハブライ人解放)

問B 下線部Bに関して、ポリスについて誤っているものはどれか。

1. デルフォイはポリスの一つで神殿があった。
2. コリントは東地中海と西地中海を結ぶ要地にあり商業が栄えたポリスである。
3. 多くのポリスは信仰の中心としてのアクロポリスなどの神殿をもっていた。
4. アゴラは市民の集会場として多くのポリスで重要視されていた。
5. オリンピアの祭典はテーベによって廃止された。393年ローマ皇帝テオドシウス1世により祭典禁止

問C 下線部C、アテネに関して誤っているものはどれか。

1. ソロンは、市民が身体を抵当に入れ奴隷化するのを防ごうとした。
2. ラウレイオン銀山は多くの富をアテネにもたらした。
3. クレイステネスは陶片追放の制度を始めたことで知られる。
4. ペリクレスは下層市民にも政治参加の道を開いた。
5. デロス同盟はアテネのよびかけで結成されたが、各ポリスの対等の地位は保証された。

問D 下線部Dに関して誤っているものはどれか。

1. クセノファネスはアテネの国制についての多くの著述で知られる。

クセノファネスは前6世紀のギリシアの詩人哲学者(生没年不詳)。ホメロスの擬人的な神々に痛烈な批判をあびせた啓蒙的知性の持ち主。彼自身は、人間のように動きまわることなく、しかも全宇宙を見通して支配する一なる神を想定した。

2. ソフィストはしばしば詭弁家と評されるが実際には政治的な弁論を指導する役割をもっていたと考えられる。
3. プラトンは「国家」などで望ましいポリスのありかたについて論じた。
4. アリストテレスは「政治学」を著した。
5. アリストファネスは政治風刺で一時代を画した。

問E 下線部Eに関して正しいものはどれか。

1. イブン=シーナーは主に政治学の分野で古代ギリシアの文化の継承、発展に努めた。
2. イブン=シーナーは主にプラトン哲学の紹介で知られる。

3. メディチ家は「プラトン＝アカデミー」を設け古典古代文化の吸収、発展に努めた。

4. マキアヴェリは主に古代ギリシア史の叙述でルネサンスを代表する史家となった。

マキアヴェリはイタリアの政治思想家で、1502年ボルジアのもとに派遣され、彼の政治活動をつぶさに観察して新時代の政治活動のあり方の着想を得た。フィレンツェの軍制改革に尽力、その後も神聖ローマ皇帝、フランス王への使節など軍事外交に活躍した。12年フィレンツェの支配者にメディチ家が復帰すると一切の官職を奪われて一時投獄された。釈放されたが居住地を制限され、13年からフィレンツェ近郊の寒村にこもって執筆活動に専念し、『君主論』（1532刊）を著わした。

5. ダンテの「神曲」は古代オリエントから題材をとったものである。

『神曲』はイタリアの詩人ダンテの叙事詩であり、「地獄編」「煉獄編」「天国編」の3部から構成される。1300年ダンテが35歳のとき、暗い森に迷い込み、聖金曜日から7日にわたって地獄、煉獄、天国の3界を、ウェルギリウス、ベアトリーチェを導き手として遍歴する体裁をとっている。いわゆるイタリア俗語を用い、天文学や数学にいたるまでの該博な知識を駆使し、中世キリスト教の世界観を集大成した作品である。

問F 下線部Fエトルリア人について誤ったものはどれか。

1. エトルリア人はギリシア、カルタゴなどと貿易を行った。
2. エトルリア人は主にイタリアのトスカナ地方に居住していた。
3. エトルリアの起源についてはなお不明のことが多い。
4. エトルリア人はとくに詩文などについて後世に大きな影響を与えた。土木技術や美術工芸品に優れた作品を残す
5. エトルリアのト占、官制などはローマに引き継がれた。

問G 下線部G共和政ローマについて正しいものはどれか。

1. 十二表法は主に貴族の特権擁護を目的としていた。
2. ホルテンシウス法により平民会の地位は向上した。
法的権利の平等であり、実質的に元老院に実権を掌握
3. 執政官(コンスル)は全市民の選挙により選出された。
4. ラティフンディアにより大土地所有者の地位は揺らいだ。
5. ギリシアと異なり重装歩兵の軍事的役割は小さかった。

問H 下線部Hオクタヴィアヌスについて誤っているものはどれか。

1. かれは執政官や護民官職には就いたが、ついに正式な皇帝の地位には就かなかった。
2. かれ自身は「第一人者」(プリンケプス)という呼称を好んだ。
3. オクタヴィアヌスの後継者は元老院と平民会による選挙で決定された。
養子としてティベリウスを後継者に指名
4. かれは娯楽や金品などを市民に与え人気の維持に努めた。
5. 属州の税収をわがものとするなど経済的な地位の強化を図った。

問I 下線部Iについて誤っているものはどれか。

1. 帝国政府はラテン語の普及に努めた。
2. ネロ帝時代に帝国の版図は最大となった。
3. パリ、ロンドンなどは帝国の軍団駐屯地から発展したものである。
4. 帝政の下で執政官は皇帝指名になり民主的性格は失われた。
5. 帝政時代、隊商貿易などで東方の文物が盛んに取り入れられた。

【7】 早稲田大学 社会科学部

次の文章を読み、問1～4については、該当するもっとも適切な語を記入し、問5～12については、該当するもっとも適切な解答をそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。

(イ) トロヤの英雄アエneasの末裔により建国されたといわれるローマは、イタリア中部ティベル河畔の小都市国家として出発し、建国以来王政の統治形態をとっていたが、前6世紀末に共和政へと移行したとされる。(ロ) 共和政の初期に、国政を独占していた貴族に対して平民は身分闘争を展開したが、前3世紀前半までに平民の参政権が認められるようになった。この頃までに、ローマは北のエトルリア人、山岳地帯のサムニウム人、中部のラテン人、(ハ) 南部のギリシア系の都市との抗争を勝ち抜いて、降伏した都市や征服の過程で建設した植民市を合わせた広大な同盟の盟主となり、イタリア半島内の支配権を確立した。さらに地中海への勢力拡大をはかるローマは、地中海の商業交易権をにぎっていたカルタゴと衝突して(ニ) 3度にわたるポエニ戦争を戦い、これに勝利してカルタゴを壊滅させた。一方、東地中海にも進出したローマは、ギリシアの都市国家や小アジアの王国を勢力下におさめ、前2世紀なかばには地中海全域を制覇するまでになった。

だが、急速に発展したローマ社会では、市民の間の階層差が拡大し、ローマは内乱の時代に入ることになった。その幕開けとなったのはグラックス兄弟の改革であった。大土地所有を制限して中小農民を救済しローマ市民軍を再建しようとした彼らの改革は、大土地所有者の反撃にあい挫折した。その後(ホ) 元老院の権威を重んじる閥族派と民会を基盤とする平民派の対立が激しくなり、また同盟市戦争や大規模な奴隷反乱などの混乱が続いたが、第1回三頭政治をへてカエサルによる独裁が実現し、ローマの共和政は事実上崩壊した。しかしカエサル暗殺後ローマの政治は再び混乱し、第2回三頭政治をへて、オクタヴィアヌスが(ヘ) アクティウムの海戦でエジプトのクレオパトラと結んだアントニウスを破り、100年にわたる内乱に終止符がうたれた。オクタヴィアヌスは元老院からアウグストゥスの称号を与えられ、共和政の伝統を尊重したプリンキパトゥスとよばれる政治をおこなったが、実際には帝政時代の始まりであった。(ニ) その後五賢帝時代が終わるまでの約200年間、広大な領土と属州支配に支えられ、「パックス＝ローマナ」とよばれる安定期が続いた。この時期に帝国内の道路網が整備され、経済活動も活発化し、(ロ) 貿易活動も地中海・紅海・ペルシア湾から南インドまで拡大した。

3世紀になると、(イ) カラカラ帝は帝国内の全自由民にローマ市民権を与える勅令を發布し、これによりローマ人と属州人の区別がなくなり、ローマ世界が広がった。しかし、東方のササン朝ペルシアや北方のゲルマン人の侵入が激化し、力をもった各地の軍団が次々に皇帝を擁立しては廃位させる(ロ) 軍人皇帝時代となり、ローマの政治は混乱した。しかし、3世紀末になると、ディオクレティアヌス帝がオリエント風の専制支配を開始し、帝国の4分割統治など帝国の再編を行い、ローマ世界には再び安定と繁栄の時代が訪れた。またコンスタンティヌス帝は、330年に帝国の首都を東部のビザンティウムの地に移し、官僚制度の確立、職業・身分の固定化、(ハ) キリスト教の公認などの改革により帝国の維持を図った。しかし帝国の解体は進み、395年にローマ帝国は東西に分裂した。その後、西方では(ロ) ゲルマン人の侵入を防ぐことはできなくなり、5世紀になると西ローマ帝国はますます衰退し、476年最後の皇帝が退位して西ローマ帝国は滅亡した。一方、東ローマ帝国は1453年にオスマン帝国によって滅ぼされるまで約1000年間存続した。

問1 下線部(イ)に関し、ローマ建国事情をえがいた叙事詩『アエネイス』の作者は誰か。もっとも適切な人名を解答用紙に記入せよ。

ヴェルギリウス

問2 下線部(ロ)に関し、前216年に行われた会戦でローマ軍はハンニバルがひきいるカルタゴ軍に包囲され大敗したが、この会戦が行われたイタリア半島南東の地はどこか。もっとも適切な地名を解答用紙に記入せよ。

カンネー

問3 下線部(ハ)に関し、この貿易を何というか。もっとも適切な語を解答用紙に記入せよ。

季節風貿易

問4 下線部(ニ)に関し、この勅令を何というか。もっとも適切な語を解答用紙に記入せよ。

アントニウス勅令

問5 下線部(A)に関し、ローマ共和政に関する記述のうち、誤っている記述を一つ選べ。

a. 護民官の定員は、設置当初は2名であったが、次第に増加して前5世紀なかばに10名となった。

b. 独裁官ホルテンシウスにより、平民会の議決が元老院の承認なしでも有効とする法律が制定された。

c. 前367年のリキニウス＝セクスティウス法により公有地の占有は原則として禁止されることになった。

コンスルの1名は平民より選出することより、富裕なプレプスがコンスル職に進出し、パトリキとともに新しい貴族集団(ノピレス)を形成するようになった。公有地の規定は有名無実化した。

d. 最高官職である定員2名の執政官には、それぞれ同僚の執政官の決定を拒否する権利が与えられていた。

e. 前 445 年に制定されたカヌレイウス法により、貴族と平民の結婚が認められるようになった。

問 6 下線部(B)に関し、前 272 年にローマとの戦いに敗れ占領されたイタリア半島南部のギリシア系都市はどれか。

a. レギウム b. ネアポリス c. ベネヴェントウム d. **タレントウム** e. ブルンディシウム

問 7 下線部(C)に関する記述のうち、誤っている記述を一つ選べ。

a. 平民派のマリウスは、執政官になってから兵制改革をおこない、無産化した市民を志願兵として採用した。

b. **第 1 回三頭政治のもとで、カエサルは帝国の西方全域を、ポンペイウスは東方を、クラッススはアフリカ北岸をそれぞれの勢力範囲とした。**

c. 前 91 年から前 88 年まで続いた同盟市戦争の結果、イタリア半島全体の自由民にローマ市民権が与えられることになった。

d. トラキア出身の剣奴スパルタクスのひきいる奴隷反乱は、前 71 年にクラッススとポンペイウスによって鎮圧された。

e. カエサルは、元老院と結んだポンペイウスを破ったのち独裁官となり、さらに前 44 年に終身独裁官となった。

問 8 下線部(D)に関し、この海戦が行われたのは何年のことか。

a. 前 33 年 b. **前 31 年** c. 前 38 年 d. 前 27 年 e. 前 35 年

問 9 下線部(E)に関し、この時代の皇帝に関連する記述のうち、もっとも適切な記述を一つ選べ。

a. スペイン出身のハドリアヌスは、最初の属州出身の皇帝となった。

b. 五賢帝時代の 5 人の皇帝はいずれも実子をもたなかったので、有能な貴族を養子にして後継者とした。

マルクス・アウレリウス・アントニヌスのみ実子（コンモドゥス）があり、後継者に指名した。

c. ドミティアヌス帝→ネロ帝は、ローマ大火の責任をキリスト教徒に負わせ、キリスト教を弾圧した。

d. ティベリウス帝はブリタニアを侵略し、この島の南部をローマの属州とした。

ブリタニアはこの島は前 1 世紀なかば、カエサルが 2 度侵入したのち、43 年ローマ皇帝クラウディウス 1 世によって征服され、2 世紀になって皇帝ハドリアヌスにより長城が築かれ、これがローマ帝国の領域の北限となった。

e. **ローマ市のコロッセウムの建設に着手したのはヴェスパシアヌス帝である。**

問 10 下線部(F)に関し、軍人皇帝のひとりで、260 年にササン朝ペルシアとの戦いに敗れて捕虜となったローマ皇帝は誰か。

a. ガリエヌス b. ユリアヌス c. **ヴァレリアヌス** d. マクシミヌス e. アウレリアヌス

問 11 下線部(G)に関し、ローマがキリスト教を公認してから、キリスト教の教義について審議する公会議がしばしば開かれ、さまざまな教説が異端とされるようになったが、431 年のエフェソス公会議で異端とされたキリスト教の一派はどれか。

a. アリウス派 b. グノーシス派 c. アタナシウス派 d. ベネディクト派 e. **ネストリウス派**

問 12 下線部(H)に関し、410 年にローマ市を一時占領して略奪をおこなった西ゴート族の王は誰か。

a. **アラリック** b. テオドリック c. オドアケル d. ステリコ e. ガイセリック

西ゴート王アラリック（1 世）（在位 395～409）は、ローマ軍のゴート人部隊の指揮官から、395 年西ゴート王に選ばれた。401 年イタリアに侵入したが西ローマ帝国の将軍スチリコに敗れ、ローマ国内に定着地を得て和平を結ぶことを求めたが、西ローマ皇帝ホノリウスに拒否された。スチリコの死後、再びイタリアに侵入、ローマ市を 3 日間略奪した（410）。アフリカに渡ろうとして、南イタリアで水難事故で死んだ。

演習追加問題(ユダヤ教とキリスト教)

【1】 東京大学

地中海東岸からアラビア半島にかけての地域で、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教という3つの一神教が誕生した。これらの宗教と西アジア・地中海沿岸地域の国家や社会は、密接な関わりを持った。このことに関連する以下の3つの問いに答えよ。

問(1) 新王国時代のエジプトから、ヘブライの民とよばれる人々は、モーセに率いられて脱出し、やがてパレスティナに定住の地を見出したという。前10世紀頃、ソロモン王の時代には栄華をきわめた。その後の数百年の間に、ヘブライ人は独自のユダヤ教を築きあげた。その成立過程について、彼らの王国の盛衰との関わりを考慮しながら、4行以内で説明せよ。

ソロモン王死後、王国は南北に分裂した。北のイスラエルはアッシリアに滅ぼされたが、南のユダが新バビロニアに滅ぼされた際にバビロン捕囚が起こった。アケメネス朝による解放後、帰国した住民がイェルサレムにヤハウエ神殿を再興し、前6世紀後半、ユダヤ教を確立した。

問(2) キリスト教世界は8世紀から11世紀にかけて東西の教会に二分された。その2つの教会のいずれか一方と関わりの深いビザンツ帝国と神聖ローマ帝国とでは、皇帝と教会指導者との関係が大きく異なっている。11世紀後半を念頭において、その違いを4行以内で説明せよ。

ビザンツ帝国では皇帝教皇主義のもと、皇帝が聖俗両権を握っていた。一方、皇帝権と教皇権が並立していた神聖ローマ帝国では、聖職者の任免などで教会を統治の手段に利用していた皇帝に対し、11世紀後半の叙任権闘争を通じて教皇権優位に移っていった。

【2】 立教大学 経済学科

次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。

ヘブライ人(イスラエル人)たちが¹⁾伝説的預言者モーセに率いられてエジプトを脱出した後、地中海東岸の南部地域カナーン(のちのパレスチナ)の地に定住したのは、紀元前13世紀頃であったとされる。王国は前10世紀のダヴィデ王、ソロモン王の時代には全盛期を迎えたが、ソロモンの死後、北部のイスラエル王国と南部の(イユダ)王国とに分裂した。イスラエル王国は前8世紀に滅亡した一方、(イユダ)王国は、前586年、²⁾新バビロニアによって滅ぼされた。よく知られるバビロン捕囚は、この時に起きたものである。その後、³⁾アケメネス朝が新バビロニアを征服したことで捕囚を解かれ、彼らの中には故国へ帰還する者も出た。帰国した者たちは、イェルサレムに神殿を再建した。こうして、律法を中心とする神殿体制が形成され、ユダヤ教が成立した。

他方、彼らは周辺国の圧迫のために、常に政治的・宗教的存亡の危機にさらされた。前2世紀にシリアの(ロセレウコス)朝との間で20年以上続いたマカベア戦争は、その一例である。この戦争によって、ユダヤ教徒たちは独立をいったん回復したものの、⁴⁾前63年にパレスチナはローマに征服された。彼らはローマからの独立を要求して⁵⁾2度にわたる戦争を起こしたが、いずれも敗北に終わった。祖国を失ったユダヤ教徒たちは、世界各地に離散していった。

A. 文中の空所(イ)～(ロ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～14)にそれぞれ対応する次の問1～14に答えよ。

1. シナイ山で彼に十戒を授けたとされる唯一神は何と呼ばれるか、その名をしるせ。ヤハウエ

2. この王国に関する記述として、正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その符号をマークせよ。
- a. 新バビロニアはアッシリアの首都ニネヴェを陥落させた
 - b. 新バビロニアは世界最初の貨幣をつくった
 - c. 新バビロニアはメソポタミアを支配したカルデア人の王国である
 - d. 新バビロニアはネブカドネザル 2 世のとき、シリアを併合した
3. この王朝によって滅ぼされた国でないものはどれか。次の a～d から 1 つ選べ。
- a. エジプト
 - b. マケドニア
 - c. メディア
 - d. リディア
4. この征服を指揮した当時のローマ将軍で、第 1 回三頭政治を行ない、後にカエサルと対立したのは誰か、その名をしるせ。ポンペイウス
5. 2 度目の戦争は紀元 132～35 年に生じ、第 2 次ユダヤ戦争と呼ばれた。この戦争中、ローマ皇帝であったのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その符号をマークせよ。
- a. アントニヌス=ピウス
 - b. トラヤヌス
 - c. ネロ
 - d. ハドリアヌス

【3】同志社大学

以下の文章を読み、下線部(ア)～(テ)に関する設問Aに対する答えとして最も適当な人名・地名を〔語群〕から選べ。また、波線(あ)～(え)に関する設問Bに対する答えとして最も適切な語句を記入しなさい。

キリスト教は 1 世紀にローマ支配下のパレスチナからうまれた。(ア)この地にうまれたイエスは、権威主義と戒律主義におちいついていた(イ)ユダヤ教を批判し、神の愛と隣人愛を説いて、神の国の到来が近いことを唱えた。このため彼はユダヤ教の祭司らによってローマに対する反逆者として訴えられ、属州総督によって十字架刑に処せられた。しかしその死後、(ウ)弟子たちのあいだにイエスが復活したとの信仰が生まれ、これを中心に(あ)キリスト教が成立した。

当時のローマの国家は多神教で、皇帝も神の一人とされた。唯一絶対神を信じるキリスト教徒は皇帝礼拝をこぼんだため、たびたび(カ)迫害を受けた。だがキリスト教は帝国全体に拡大を続け、ついにはこれを禁じれば帝国の統一が維持されることが明らかになったため、コンスタンティヌス帝は(キ)313 年の勅令でキリスト教を公認した。

当時、キリスト教会では教義をめぐる論争がおこっていた。それを收拾するために 325 年に(ク)公会議が召集された。会議は、(ケ)神としてのイエスを認める説を正統とみなし、(コ)人間としてのイエスを唱える説を異端と断じた。その後、(カ)異教復興による混乱もみられたが、392 年にさまざまな異教はすべて厳禁され、キリスト教は国教となった。その後 431 年の(ク)公会議で同じく(カ)異端とされた一派は、(コ)ササン朝をへて(イ)中国に伝わった。

キリスト教を公認することで帝国の統一をはかったコンスタンティヌス帝は、また軍隊を増強して帝国支配を安定させようとした。さらに財政基盤を整備するため(イ)小作人を土地にしばりつけて税収入を確保し、下層民の身分や職業を世襲化した。彼は 330 年に(カ)遷都するとともに、巨大な官僚体制をきずいた。官吏の力は強大となり、皇帝が官吏を使って帝国を専制支配する体制ができあがった。

こうしたコンスタンティヌス帝の改革にもかかわらず、膨大な軍隊と官僚を支えるための重税は、あいつぐ属州の反乱をまねいた。さらに(イ)375 年にはじまるゲルマン人の大移動によって帝国内部は混乱したため、帝国の分裂を防ぐことは困難となり、395 年に(カ)東西に分割された。(イ)東ローマ帝国は都市経済が比較的健在で、(イ)その後 1453 年まで続いた。だが(イ)西ローマ帝国はゲルマン人の侵入で混乱をきわめ、ついには 476 年(イ)ゲルマン人傭兵隊長によって西ローマ皇帝が退位させられ、ここに西ローマ帝国は滅亡した。西ローマ帝国滅亡後、ローマ帝政末期の五本山とよばれるキリスト教会のうち、ローマ教会は独自の活動を強め、(イ)ゲルマン人への布教を熱心におこない、西ヨーロッパ全体に大きな権威をおよぼすことになる。

設問A

- (ア) イエスが生まれたとされる時代のローマ皇帝は誰か。12. オクタヴィアヌス
- (イ) ユダヤ教の唯一神は何と呼ばれるか。37. ヤハウェ
- (ウ) そのうち、後にローマカトリック教会の初代の教皇と位置づけられたのは誰か。31. ペテロ
- (エ) 64年の迫害の時の皇帝は誰か。26. ネロ
- (オ) この勅令が発せられたのはどこか。34. ミラノ
- (カ) この公会議が開かれたのはどこか。23. ニケーア
- (キ) この説を唱えたのは何という派か。1. アタナシウス
- (ク) この説を唱えたのは何という派か。6. アリウス
- (ケ) 4世紀後半に異教復興をくわだてた皇帝は誰か。39. ユリアヌス
- (コ) この公会議が開かれたのはどこか。11. エフェソス
- (サ) この一派は何という派か。24. ネストリウス
- (シ) ササン朝の首都はどこか。14. クテシフォン
- (ス) 遷都先の都市はこれ以前は何と呼ばれていたか。30. ビザンティウム
- (セ) この時の皇帝は誰か。20. テオドシウス
- (ソ) この東ローマ帝国の首都は、オスマン帝国による占領後、何と呼ばれるようになったか。
9. イスタンブル
- (タ) その間6世紀に地中海のほぼ全域にローマ帝国を復活させた大帝は誰か。38. ユスティニアヌス
- (チ) 西ローマ帝国の最初の首都はどこか。34. ミラノ
- (ツ) この傭兵隊長の名前は何か。13. オドアケル
- (テ) 6世紀末にゲルマン人への布教を熱心におこなったローマ教皇は誰か。15. グレゴリウス1世

〔語群〕

- | | | | |
|------------------------|-------------|----------------|--------------|
| 1. アタナシウス | 2. アッティラ | 3. アッラー | 4. アテネ |
| 5. アフラ=マズダ | 6. アリウス | 7. アンカラ | 8. アントニウス |
| 9. イスタンブル | 10. ヴェネツィア | 11. エフェソス | 12. オクタヴィアヌス |
| 13. オドアケル | 14. クテシフォン | 15. グレゴリウス1世 | 16. グレゴリウス7世 |
| 17. サマルカンド | 18. ダマスクス | 19. ディオクレティアヌス | 20. テオドシウス |
| 21. テオドリック | 22. トラヤヌス | 23. ニケーア | 24. ネストリウス |
| 25. ネルヴァ | 26. ネロ | 27. パウロ | 28. ハドリアヌス |
| 29. バビロン | 30. ビザンティウム | 31. ペテロ | 32. ペルセポリス |
| 33. マルクス=アウレリウス=アントニヌス | 34. ミラノ | 35. メッカ | |
| 36. メディア | 37. ヤハウェ | 38. ユスティニアヌス | 39. ユリアヌス |
| 40. ヨハネ | 41. ローマ | | |

- 設問B (あ) ヘレニズム世界の共通語コイネーで書かれたキリスト教の教典は何か。新約聖書
- (い) この派の中国での呼び名は何か。景教
- (う) こうした土地にしばりつけられた小作人は何と呼ばれていたか。コロヌス
- (え) この年南下をはじめ、ローマ帝国に侵入したゲルマン人の一派は何か。西ゴート族

早慶の過去問からの発展・応用(ユダヤ教とキリスト教)

【1】 慶應義塾大学 文学部

次の文章を読み、文中の空欄(A)～(J)に最も適切な語句あるいは数字を記入しなさい。

イスラエル人は、キリスト教、ユダヤ教、イスラーム教の基礎となった聖書を生み出し、その後の世界の思想、文化、社会制度に大きな影響を与えた民族として知られている。この民族の起源はいまだに議論の対象となっているが、聖書によるとメソポタミア地方からパレスチナに移り住んできた遊牧民の族長アブラハムが父祖だとされている。時代的には、一般に紀元前2000年期の前半と考えられている。当時北メソポタミアでは(A **アムル**)人の活動が活発であり、ハンムラビ法典で有名なバビロン第一王朝も彼らが建てた。アブラハムの移住もこの民族の活動の一環と考えられることが多い。アブラハムの孫ヤコブは別名をイスラエルと言い、その12人の息子たちがイスラエル12部族の先祖となった。彼らは飢饉を避けエジプトに下るが、聖書はそこで下から2番目の息子ヨセフが宰相に上りつめたと語っている。この時代はエジプトの第二中間期にあたり、ヤコブと同じセム系の人々(ヒクソス)の支配下にあったので、ヨセフの出世もこれと関係していたと思われる。その後エジプトの状況が変わり、イスラエル人が奴隷におとしめられると、彼らはモーセに率いられてエジプトを脱出し、途上で十戒を受け取り、ヤハウェ信仰を中心とする民族へと発展した。パレスチナに戻ってきたイスラエル人たちは、しばらく地元のカナン人やちょうど同じ頃地中海世界から移住してきた「(B **「海の民」**)」の1つペリシテ人などと抗争を続け、不安定な時期を経験した。しかし、前1000年頃、ベツレヘム出身の戦士ダヴィデがペリシテ人に決定的な勝利を収め、イスラエル12部族を統一した王国を確立する。ダヴィデはイェルサレムを攻め取り、この国の首都とした。ダヴィデの息子ソロモンは、「ソロモンの栄華」と呼ばれるようにその富と知恵によって知られ、イェルサレムに神殿を建てた。ソロモンはシドンを中心とする(C **フェニキア**)人と協力して紅海などで海洋貿易を行い、国は経済的に繁栄した。シバの女王の訪問もこれと関係していると思われる。また、(C **フェニキア**)人は、イェルサレム神殿の工芸技術者としても活躍した。2人の偉大な王の下で絶頂期を誇ったイスラエル王国も、ソロモンが死ぬと内乱が起こり、南北に分裂した。北王国イスラエルには10の部族が付き、面積も大きく、港や耕地にも恵まれていたが、近隣のアラム人やメソポタミアで再び力をつけつつあったアッシリア帝国からの圧力に疲弊し、結局前722年にアッシリアによって滅ぼされることとなった。一方、地理的、経済的条件に恵まれていなかった南王国ユダには、ダヴィデ王朝が継続し、イェルサレム神殿が残ったので政治的に安定した。しかし、こちらも前586年新バビロニアの王(D **ネブカドネザル2**)によって滅ぼされ、人々は連れ去られて捕囚の身とされた。

この時期メソポタミアでは巨大国家が次々と交代し、アッシリア、新バビロニアについてアケメネス朝ペルシアが覇権を握った。前(E **538**)年には、ペルシアの王キュロスが勅令を出し、帝国内の捕囚民たちに母国に帰る道を開いた。イスラエル人の中には自分たちが国を失ったのは、ヤハウェ信仰に忠実でなかったからだとして反省する動きがあり、特に信仰的な人々が帰還をし、イェルサレム神殿を再建することをめざした。また、エズラ、ネヘミヤといった指導者によって聖書を軸とした信仰共同体が形成された。この帰還民の中心はユダ族だったので、彼らは後にユダヤ人と呼ばれるようになった。

しかし、この帰還の共同体もほどなくペルシア帝国を滅ぼしたアレクサンドロスの東征の影響を受けるようになり、ヘレニズム思想が導入された。特に(F **セレウコス**)朝時代には多神教が強要され、ユダヤ人の伝統的習慣の多くが禁止されるようになった。ユダヤ人は自分たちの信仰を守るためにマカベヤ家を中心に独立戦争を行い、一時成功するが、これもすぐ利権で腐敗してしまう。理想と現実の狭間でユダヤ人たちはさまざまなグループに分かれた。現実追認型の祭司たちは(G **サドカイ**)派、聖書の律法に厳格な一般市民はパリサイ派、さらに自分たちの清さを求めて死海のほとりに隠遁し死海文書を残した人々はエッセネ派として知られている。マカベヤ家によるユダヤ人の独立も長くは続かず、前63年には将軍(H **ポンペイウス**)によってパレスチナはローマの支配下に入ることとなった。

ポンペイウスは同盟市戦争に参加、内乱時にはスラを支持。その義子となり、シチリア、アフリカに転戦、前79年凱旋式を行なった。前77～71年ヒスパニアのセルトリウスの乱をせずめ、帰還後スパルタクスの乱の残党を討ち、再び凱旋式を行なった。絶大な人気を得て前70年執政官(コンスル)となり、前66～61年ポントスのミトラダテス6世と戦い、東方を制圧。シリア、パレスチナにローマの支配権を確立。前61年3度目の凱旋式を行なったが元老院から警戒され、政治的に孤立。カエサル、クラッスとともに前60年第一回三頭政治を起し、カエサルの娘ユリアと結婚。前55年再度執政官就任と同時にヒスパニアの総督職を得た。前53年元老院派と結んでカエサルと対立したが、前49年カエサルの

- (5) 中世ヨーロッパのユダヤ人について述べた次の各文のうち、正しい説明はどれか。
- a 各都市で商人ギルド・同職ギルドへの加入を認められたが、大多数が高利貸を職業とした。
 - b 封建的土地所有を認められ、騎士や農民として農村に入り込んだ。
 - c クレルモン宗教会議で、キリスト教徒との混住が禁止された。
 - d 14世紀半ばのペスト流行時に迫害された。 []
- (6) 19世紀末に対独スパイ容疑で逮捕されたユダヤ系フランス人大尉と、彼の無実を訴えた作家の組合せのうち、正しいものはどれか。
- a ブーランジェ — ゴッテ
 - b **ドレフェス — ゴッテ**
 - c ブーランジェ — モーパッサン
 - d ドレフェス — モーパッサン []
- (7) 第一次世界大戦前後のパレスチナ問題に関する次の各文のうち、正しい説明はどれか。
- a ドイツを攻撃するため、アメリカのユダヤ人財閥からの資金援助を欲したイギリス首相(→外相)バルフォアは、ユダヤ人の建国支持を表明した。
 - b シリア駐在(→エジプト)のイギリス高等弁務官マクマホンは、シリアの指導者フサインと第一次世界大戦後のアラブ人によるパレスチナ国家建設を認める協定を結んだ。
 - c 第一次世界大戦後、パレスチナはアメリカ(→イギリス)の委任統治領とされ、多くのユダヤ人がパレスチナへの移住を開始した。
 - d **パレスチナ回帰の運動をシオニズム運動と呼ぶのは、ユダヤ人たちが思いをはせた祖国の丘シオンに由来する。** []
- (8) ナチスによる、1938年のユダヤ人商店打壊しとユダヤ人虐殺事件を何と呼ぶか。
- a **クリスタルナハト(水晶の夜)**
 - b ゲシュタポ
 - c ミュンヘン一揆
 - d レーム事件 []

クリスタル＝ナハト（水晶の夜）とは、1938年11月9日、ドイツ全土でナチスが突撃隊などを使ってユダヤ人商店、家屋とシナゴグを破壊した事件である。砕けたガラスの破片を水晶にたとえてこの名がついた。ユダヤ人900人以上が殺され、2万6000人が強制収容所に送られた。この事件を機にナチスのユダヤ人攻撃が本格化した。

- (9) 『アンネの日記』の作者アンネ＝フランクが隠れ住んだ都市はどこか。
- a **アムステルダム**
 - b パリ
 - c ベルリン
 - d ロンドン []
- (10) 1960～90年代のパレスチナをめぐる次の出来事のうち、正しい順番はどれか。
- a エジプト・イスラエル平和条約—シナイ半島・ゴラン高原占領—シナイ半島返還—パレスチナ暫定自治樹立
 - b シナイ半島・ゴラン高原占領—エジプト・イスラエル平和条約—パレスチナ暫定自治樹立—シナイ半島返還
 - c **シナイ半島・ゴラン高原占領 1967年、第3次中東戦争**
—エジプト・イスラエル平和条約 1979年、平和条約を締結。(1981年サダト暗殺)
—シナイ半島返還 82年4月25日にシナイ半島はエジプトに返還された。
—パレスチナ暫定自治樹立
1993年、パレスチナ暫定自治協定 {ガザ・ヨルダン川西岸(イエリコ)＝先行自治}
 - d エジプト・イスラエル平和条約—シナイ半島・ゴラン高原占領—パレスチナ暫定自治樹立—シナイ半島返還
- 設問① モーセがシナイ山で神より授かったとされるユダヤ教律法は何と呼ばれているか。漢字二文字で記せ。
[**十戒**]
- 設問② ロシア革命において世界革命論を唱え、後に亡命先のメキシコで暗殺されたユダヤ系ロシア人は誰か。
[**トロツキー**]
- 設問③ ユダヤ人としてドイツに生まれたが、少年の頃ナチスの迫害を逃れてアメリカに渡り、後に1969年アメリカ大統領特別補佐官、1973年国務長官となったのは誰か。
[**キッシンジャー**]

【3】 早稲田大学 社会科学部

次の文章を読み、問1～3については、適切な語を記入し、問4～10については、選択肢の中から適切な解答をそれぞれ一つ選び、その記号をマークせよ。

セム系遊牧民を祖先とするヘブライ人は、前1500年ごろパレスチナ地方に定住し、前1000年ごろに王国を打ち立てた。この王国は、イスラエル王国とユダ王国に分裂したが、前者は(イ)アッシリアに滅ぼされ、後者も征服された。前538年にペルシア人によって解放されると、ヘブライ人はエルサレムに(1)ヤハウェの神殿を再興し、ユダヤ教を確立する。

(2)バビロン捕囚以後のヘブライ人は、一般的に「ユダヤ人」と呼ばれる。

しかしながら、パレスチナは、前1世紀にはローマの支配するところとなった。ユダヤ人たちは、ローマによる過酷な支配に対して反乱を起こしたが、ローマ軍によって鎮圧されるとともに、エルサレムから追放されて各地に離散していくことになる。キリスト教は、こうしたローマ支配下のパレスチナにおいて生まれた。(A)元来ユダヤ教の一派であったキリスト教は、熱心な伝道活動によってローマの支配に苦しむ下層民や奴隷のあいだに浸透し、やがて上層民にも広がった。ローマ帝国において、キリスト教ははじめ迫害を受けたが、4世紀には公認され国教となった。

ローマ帝国におけるキリスト教の国教化は、ユダヤ教徒の境遇を大きく変え、ユダヤ人は迫害を受けることとなった。この動きは、特に十字軍の時代以降顕著となる。中世から近代初頭にかけてのヨーロッパにおいては、いくつかの国がユダヤ人を国外追放にしたり、ユダヤ人に特別な記章をつけることを強制したり、ユダヤ人を「(3)ゲッター」と呼ばれる一定の狭い地域に押し込めたりした。(B)ユダヤ人は、土地所有が禁じられ、ギルドからも閉め出されたので、行商や金融業に就くほかはなくなっていく。

啓蒙思想の広がりや自由主義運動の高まりの中で、19世紀以降、ユダヤ教徒にもキリスト教徒と同様の公民権がしだいに認められるようになる。しかしながら、その一方で、例えば(C)ドレフュス事件に見られるように、反ユダヤ主義も根強く残り、(D)20世紀はじめのロシアではしばしばユダヤ人に対する無差別襲撃が行われた。かつての故郷であるパレスチナにユダヤ人国家をつくらうとする(E)シオニズム運動は、こうした反ユダヤ主義に対抗して19世紀末に始まった。ユダヤ人のパレスチナへの植民が本格化するのには、第一次世界大戦後のことである。第一次世界大戦において、イギリスは、ユダヤ人資本家の協力を得るためにこの運動とユダヤ人国家の設立を支持し、第一次世界大戦後にはパレスチナを(F)セーヴル条約によって委任統治領とした。

問1 空欄(イ)に入るべき国名として最も適切な語を記入せよ。

問2 空欄(ロ)に入るべき最も適切な語を記入せよ。

問3 空欄(ハ)に入るべき最も適切な語を記入せよ。

問4 空欄(1)(2)(3)に入るべき最も適切な語の組み合わせを一つ選べ。

- | | | | |
|----|-----------|------------|-----------|
| a. | (1) ヤハウェ | (2) ユダヤ戦争 | |
| | (3) ゲッター | | |
| b. | (1) モーセ | (2) バビロン捕囚 | |
| | (3) ゲッター | | |
| c. | (1) モーセ | (2) ユダヤ戦争 | |
| | (3) シナゴーク | | |
| d. | (1) ヤハウェ | (2) バビロン捕囚 | |
| | (3) ゲッター | | |
| e. | (1) ヤハウェ | (2) ユダヤ戦争 | (3) シナゴーク |

問5 下線部(A)に関連して、キリスト教の伝道活動に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

- a. パウロは、はじめパリサイ派に属し、キリスト教徒を迫害した。
- b. 『新約聖書』のうち、ペテロとパウロの伝道を記述した部分を「福音書」と呼ぶ。

福音書は神からの喜ばしい救いの知らせをもたらした神の子イエス・キリストの教えと生涯についての人々の証言の記録。中核となるテーマは、イエス・キリストの十字架上の死とその復活である。新約聖書正典であるマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネのいわゆる4福音書は1世紀後半から

2 世紀にかけてマルコ、マタイ、ルカ、ヨハネの順で成立したものとみられ、2 世紀後半以来正典として認められるようになった。

- c. ペテロ(→パウロ)は、ユダヤ人以外の民族への伝道を積極的に行い「異邦人の使徒」と呼ばれる。
- d. 『新約聖書』は『旧約聖書』と同様、ヘブライ語で書かれた。

『新約聖書』はヘレニズム時代に一般に用いられたコイネー・ギリシア語で書かれている。

- e. パウロは、ヤコブやヨハネなどイエスの 12 人の直弟子の一人であった。

イエスはイスラエルの 12 部族にならい、十二使徒をえらんだ。これは、キリスト者の共同体が神のイスラエルになることをしめしているペトロ、アンデレ、大ヤコブ(ゼベダイの子ヤコブ)、ヨハネ、フィリポ、バルトロマイ、トマス、マタイ、小ヤコブ(アルファイの子ヤコブ)、タダイ、熱心党のシモン、イスカリオテのユダである。パウロは初めユダヤ教による厳格な教育を受け、パリサイ主義を至上のものと信じキリスト教会を迫害した。キリスト教徒弾圧のためエルサレムからダマスカスへ赴く途中、天からの(イエスの)声を聞いて回心し、洗礼を受けた。この回心を契機として伝道者としての生活に入り、特に異邦人への布教を使命として小アジア、マケドニアなどへ数回に及ぶ大伝道旅行を行なった。

問6 下線部(B)に関連して、キリスト教徒のユダヤ人に対する典型的なイメージが描かれた文学作品として最も適切なものを一つ選べ。

- a. 虚栄の市 b. ヴェニスの商人 c. 居酒屋 d. 罪と罰 e. オリヴァー・ツイスト

『ヴェニスの商人』はイギリスの劇作家シェークスピアの喜劇。ヴェニスの商人バサーニオはベルモントの佳人ポーシアに求婚するため友人アントニオに借金を申込む。アントニオはユダヤ人の金貸しシャイロックから胸の肉 1 ポンドをかたに金を借りる。アントニオは期日がきても金を返せず殺されかけるが、ポーシアが法学者に変装して肉は切取っても血を流してはならぬという裁きを下し、シャイロックは財産を没収される。ユダヤ人金貸しの強欲さが近代で強調された。

問7 下線部(C)に関して、この事件が起こった 1890 年代当時のフランスに関連する出来事として、次の記述のうちから適切ではないものを一つ選べ。

- a. フランス最大の労働組合連合となる労働総同盟が結成され、社会革命を目指すサンディカルズムが推進された。
- b. フランス国内では、共和制擁護派と、軍部・右翼等の保守勢力とに国論が二分された。
- c. ドイツ、ロシア、オーストリアが三帝同盟を締結し、フランスの国際的な孤立化が図られた。

三帝同盟は 1873 年 10 月、ドイツ、オーストリア、ロシアの 3 国皇帝間で結ばれた同盟であり、フランスの孤立化をはかるビスマルクの同盟外交の一環として、締結された。ベルリン会議後ロシア、オーストリアの対立で解体したため、81 年 6 月新三帝同盟を結成、84 年 3 月さらに 3 年間の延長を決定したが、87 年最終的に崩壊した。

- d. アフリカ進出政策においてフランスとイギリスは対立し、ファショダ事件が起こった。
- e. 遼東半島を領有した日本に対して、フランスは返還を要求した。

問8 下線部(D)に関し、これを表す語として最も適切なものを一つ選べ。

- a. ディアスポラ b. ホロコースト
- c. アシュケナジム d. **ポグロム** 集団的な略奪、虐殺、破壊行為を意味する語。
- e. インティファーダ

【4】 早稲田大学 人間科学部

次の問題文を読んで、設問X、Yの答えを所定欄にマークしなさい。正答はそれぞれ1つである。

前 1500 年ごろパレスチナに定住したヘブライ(イスラエル)人は、①アラム文字から派生したとされる文字を用いて独特の文化を築き、紀元前 11 世紀末にはエルサレムを都とする王国を建設した。この王国は、ダヴィデと(A)両王のもとで繁栄を享受したが、やがてその国は北のイスラエルと南のユダとに分裂し、前者は(B)に滅ぼされ、後者は新バビロニアに蹂躪されて、その民はバビロンに連れ去られた。②いわゆる「バビロン捕囚」である。のちに彼らは、③ゾロアスター教を奉じる

アケメネス朝の王により解放されるが、こうした苦難に耐えながら唯一絶対の神ヤハウェへの信仰を強め、この神との契約のもとで、ユダヤ人、すなわち旧ユダ王国の人々のみが救われるという(C)やメシア(救世主)待望を特色とするユダヤ教を成立させた。預言者モーセがシナイ山で神から授かったとされる(D)は、ユダヤ教の倫理的基盤をなす。だが、イェルサレム神殿を中心的かつ象徴的な聖地とし、サドカイ派やパリサイ派を指導層とするユダヤ教の信仰は、やがて形式化していく。それを打破して新しい教えを広めたのが、神の絶対愛や隣人愛などを唱えたイエスだった。そのためイエスは、ローマへの逆逆者として告発され、総督ピラトの命により、十字架にかけられてしまう。紀元(E)のことである。しかし、ユダヤ教の聖典である旧約聖書は、キリスト教の聖典である新約聖書ともども、ユダヤ=キリスト教文化の宗教的・思想的・芸術的源泉となり、この文化が、④アレクサンドロス後のヘレニズム文化やより後発のイスラーム文化などととも、のちのヨーロッパ文化に決定的に重要な影響を及ぼすようになる。

設問X 問題文中の(A)～(E)に入る語を選びなさい。

- (A) a マヌ b **ソロモン** c アメンホテプ d ラメス []
- (B) a **アッシリア** b ミタンニ c リディア d メディア []
- (C) a ディアスポラ b **選民思想** c グノーシス思想 d シオニズム運動 []
- (D) a 十二表法 b **十戒** c アヴェスタ d リグ=ヴェーダ []
- (E) a 10年ごろ b 20年ごろ c **30年ごろ** d 40年ごろ []

設問Y 問題文中、下線部の①～④に関する問いの答えを選びなさい。

① アラム文字から派生したとされる文字として正しい組み合わせはどれか。

- a **アラビア文字——ソグド文字——突厥文字** b ウイグル文字——満州文字——フェニキア文字
- c モンゴル文字——ケルト文字——ギリシア文字 d ラテン文字——シリア文字——スラヴ文字
- []

② 「バビロン捕囚」の期間はいつか。

- a 前960年～前922年 b 前605年～前562年 c **前586年～前538年** d 前522年～前486年 []

③ ゴロアスター教に関する説明として、正しい記述はどれか。

- a この世界は、メソポタミア起源の善(光明)神アフラ=マズダとインド起源の悪(暗黒)神アグニ→アーリマンとの長い闘争の場であり、前者が勝利し、善行を積んだ人間が救われると説いた。

アグニとは〈火〉を神格化した古代インドの神。

- b **パルティアに代わってイラン高原南部に覇を唱えたササン朝は、ゴロアスター教を国教と定めた。この王朝は、東西貿易路をおさえて6世紀に全盛期を迎えたが、7世紀にアラビア半島から進攻したイスラーム勢力に滅ぼされた。**

- c **ボゴミル派やカタリ派など、中世キリスト教の異端信仰にも影響を与えたゴロアスター教は、宋代→唐代に中国に入り、祆教と呼ばれた。**

- d **ミケランジェロの祭壇画で有名な「最後の審判」は、キリスト教の教義のひとつとして広く知られているが、もともとは聖職者階級のバラモン→マグを頂点とするゴロアスター教の教義に組み込まれていたものである。**

ゴロアスター教ではその聖職者階級をマグ(中世語形でモウベド)と称した。

④ ヘレニズム文化の説明として、誤りを含む記述はどれか。

- a **東地中海から西アジアにかけて、ギリシア文化とオリエント文化が混淆して生まれた文化で、その中心的都市のひとつに、大図書館やムセイオンを擁していたアレクサンドリアがある。**

- b **国際的な交易網が発展したのに伴って、ポリス主義をこえた世界市民主義(コスモポリタニズム)の傾向が強まり、コイナーと呼ばれるギリシア語が域内の共通語となった。**

- c **自然科学や人文科学が発展し、平面幾何学を大成したエウクレイデス(ユークリッド)や、浮体の原理を発見したアルキメデス、禁欲を説いたストア派のゼノン、快樂説を唱えたエピクロスなどが活躍した。**

- d **「ミロのヴィーナス」像などで知られるヘレニズム文化は、バクトリアを経て遠くパキスタン北部からインド西北部にまで伝わって仏教文化と融合し、マウリヤ朝(→クシャーナ朝)において仏像彫刻を代表とするいわゆるガンダーラ美術を発展させた。**

【5】 早稲田大学 教育

次の文章を読み、下線部(1)～(10)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から適切なものを選び、その記号を所定欄にマークしなさい。また、波線部に関する設問A、Bの解答を記入しなさい。

コンスタンティヌス帝は、313年にキリスト教を公認した(1)。その後、テオドシウス帝は、381年に二回目の公会議を開催し(2)、改めてアリウス派を異端とした。さらに、392年にはすべての異教を禁止して、アタナシウス派キリスト教をローマ帝国の国教とした。これらはローマ＝カトリック教会Aにとって大いに歓迎すべきことであったが、しかしその後の道のりは決して平坦なものではなかった。5世紀にはいると(3)、ゲルマン人(4)の大移動が本格化し、西ゴート人やヴァンダル人(5)が都市ローマを略奪した。

(1) この勅令は西の正帝コンスタンティヌスと東の正帝の二人の連名で発せられたが、東の正帝は誰か。

- | | |
|----------|----------------|
| a マクシミヌス | b ユリアヌス |
| c ネルウァ | d リキニウス |

(2) この公会議が開催された都市はどこか。

- | | |
|---------|----------------------|
| a ニケーア | b カルケドン |
| c エフェソス | d コンスタンティノーブル |

※431年エフェソス公会議 (テオドシウス2世)

※451年、カルケドン公会議 (マルキアヌス)

(3) このころ活躍したキリスト教の教父アウグスティヌスの著作はどれか。

- | | |
|-----------------|---------|
| a 『三位一体』 | b 『教会史』 |
| c 『神学大全』 | d 『自省録』 |

アウグスティヌスは教会の指導と修道士の教育のほか、『三位一体論』『ヨハネ福音書講解』など、神学と聖書研究にいとまがなかったが、さらにマニ教などとの多年にわたる論争があり、その徹底した論議を通じてキリスト教の理解を深めていった。410年アラリックのローマ侵入を機に大著『神の国』の執筆を始め、ほぼ13年かかってこれを完成した。

(4) ゲルマン人の存在はかなり以前からローマ人に知られていたが、『ゲルマニア』を著してゲルマン人の習俗を記述した人物は誰か。

- | | | | |
|---------|----------------|---------|--------|
| a リウィウス | b タキトゥス | c ストラボン | d カエサル |
|---------|----------------|---------|--------|

(5) ヴァンダル人についての説明で正しいものはどれか。

- a **ヴァンダル人がローマを略奪したとき、ローマ教皇はレオ1世であった。**

レオ1世(在位440～461) = 5世紀半ばヴァンダルのローマ略奪時の教皇

- b アドリアノーブルの戦いで、ローマ皇帝ヴァレンスを破った。

378年のアドリアノーブルの戦いでヴァレンス帝にひきいられたローマ軍はゴート族にやぶれた。

- c 西ローマ帝国やフランク人と同盟して、フン人と戦った。

カタラウヌムの戦い(451年6月20日)は、アッティラ王(在位434～453)にひきいられた中央アジア起源の遊牧騎馬民族フンが、ガリアのローマ人勢力と西ゴート族を主力とし、フランク族、ブルグント族などほかのゲルマン諸族もくわえた連合軍によって撃退された戦いである。

- d フランク人の王クローヴィスに敗れた後、イベリア半島に移動した。

ヴァンダル族は429年にガイゼリックに率いられてアフリカに渡り、カルタゴを中心に建国、ローマに対抗し、455年にはローマ市を荒した。彼によって王朝が確立され、官僚制が整えられた。またヴァンダルはヒスパニアにいた頃アリウス派に改宗し、以後しばしばカトリック教徒を弾圧した。ビザンツ帝国のユスティニアヌス1世と対立、534年ビザンツ将軍ベリサリウスによって滅ぼされた。初代のフランク王クローヴィス1世(在位481～511)と時代の整理を確実に。

【6】 早稲田大学 文

次のAとBの文章を読み、設問に答えなさい。1～3, 7, 9, 10は所定欄に一つだけマークし、4～6, 8は所定欄に記しなさい。

A

古代から現代にいたるまで、聖なる土地を訪れる巡礼という行為は、多くの人々の心をとらえてきた。キリスト教下の中世ヨーロッパでもっとも人気のあった巡礼地、スペインのサンチャゴ＝デ＝コンポステラは、イエスの弟子 **a ヤコブ** の遺骸(聖遺物)が安置される場所と信じられた。イスラーム教徒にとっては、始祖ムハンマドの生誕地である **b メッカ** と、墓のある **c メディナ** が二大巡礼地とされた。ユダヤ教の預言者 **d モーセ** が神の声を聞き、十戒を授かったとされる **e シナイ山** は、ユダヤ教徒に限らず、キリスト教徒、イスラーム教徒の巡礼も集めた。

設問1 **a**に入る人名を次の中から選びなさい。

ア ペテロ イ パウロ ウ ヤコブ エ ヨハネ

設問2 **b**に入る地名を次の中から選びなさい。

ア メッカ イ ダマスカス ウ メディナ エ バグダード

設問3 **c**に入る地名を次の中から選びなさい。

ア メッカ イ ダマスカス ウ メディナ エ バグダード

設問4 **d**に入る人名を記しなさい。

設問5 **e**に入る地名を記しなさい。

B

ドーム(半球形の天井, 円蓋)は、その形状から天を象徴するとされ、多くの宗教建造物に用いられた。図1はキリスト教のギリシア正教を信じるビザンツ帝国の首都に、6世紀に建てられた **f ハギア＝ソフィア** 大聖堂で、これを建立した皇帝 **g ユスティニアヌス** の治世に、ビザンツ帝国は最大の版図を誇った。図2はキリスト教カトリックの総本山、ヴァチカンの **h サン＝ピエトロ** 大聖堂で、そのドームは、ルネサンスを代表する彫刻家でもあった **i ミケランジェロ** の設計による。図3はイスラーム教の始祖ムハンマドが「夜の旅」に旅立ったとされる場所に建てられた「岩のドーム」で、ここにはかつてソロモンの神殿があったと伝えられる。

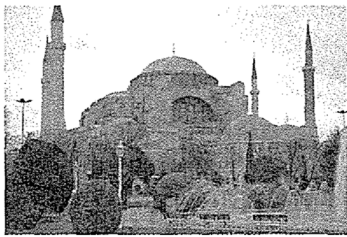


図1

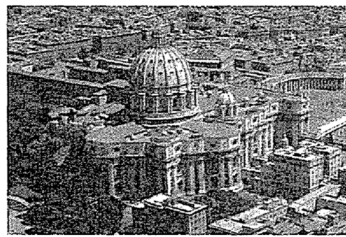


図2

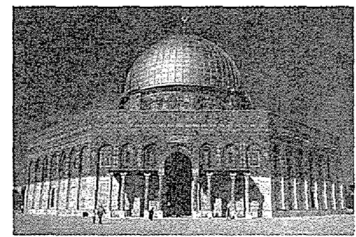


図3

設問6 **f**に入る固有名詞を記しなさい。

設問7 **g**に入る人名を次の中から選びなさい。

ア コンスタンティヌス イ テオドシウス
ウ ユスティニアヌス エ ヘラクレイオス

設問8 **h**に入る固有名詞を記しなさい。

設問9 **i**に入る人名を次の中から選びなさい。

ア レオナルド＝ダ＝ヴィンチ イ ミケランジェロ
ウ ラファエロ エ ベルニーニ

設問10 下線部 j がある都市名を次の中から選びなさい。

ア グラナダ イ イェルサレム ウ コルドバ エ カイロ